

データ集

計画策定に向けて実施した調査結果について

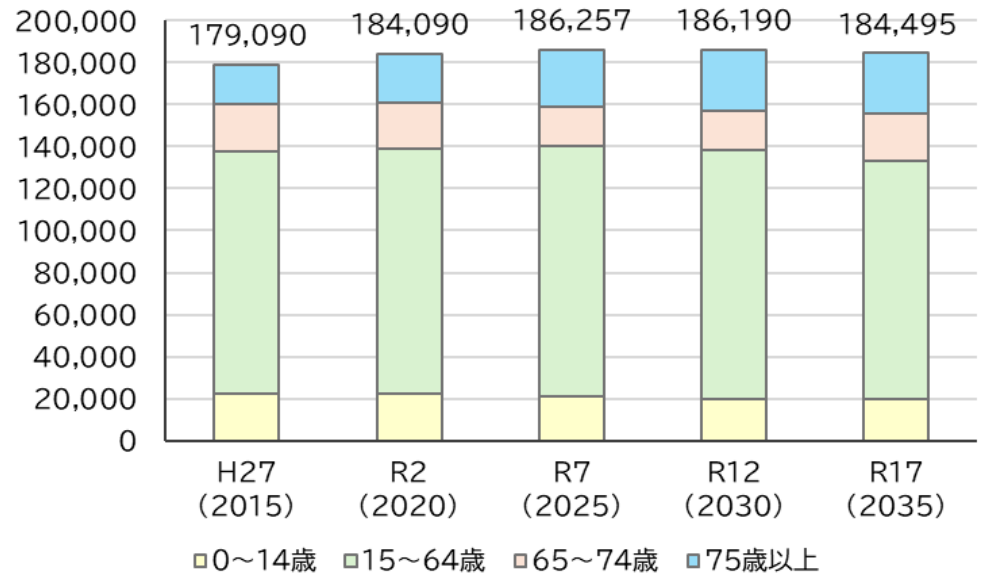
- (1) 立川市の現状 参考データ
- (2) 市民アンケート 単純集計結果
- (3) ワークショップ いただいたご意見(※模造紙の写真)
- (4) バス利用者アンケート 調査票・主な調査結果
- (5) 立川市来街者意向調査 既存調査結果のレビュー
- (6) ヒアリング調査 調査概要・主な結果
- (7) 位置情報ビッグデータ 分析データ概要・分析結果

計画策定に向けて実施した 調査結果について

(1)立川市の現状 参考データ（人口の推移・推計）

■ 人口推計

- 令和7（2025）年1月1日現在の立川市の総人口は、186,257人。令和5（2023）年1月1日現在の住民基本台帳登録人口を基準人口とし、コーホート要因法を用いて将来人口の推計を行った。総人口は、令和10（2028）年の186,390人をピークに減少していき、目標年次である令和16（2034）年度（令和17（2035）年1月1日）の総人口は、184,495人となり、1,762人の減少となる見通し。



人口 (人)	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)
0～14歳	22,423	22,154	20,941	20,042	19,542
15～64歳	115,525	116,768	119,234	117,989	113,571
65～74歳	22,408	21,686	18,708	19,074	22,914
75歳以上	18,734	23,482	27,374	29,085	28,468
合計	179,090	184,090	186,257	186,190	184,495

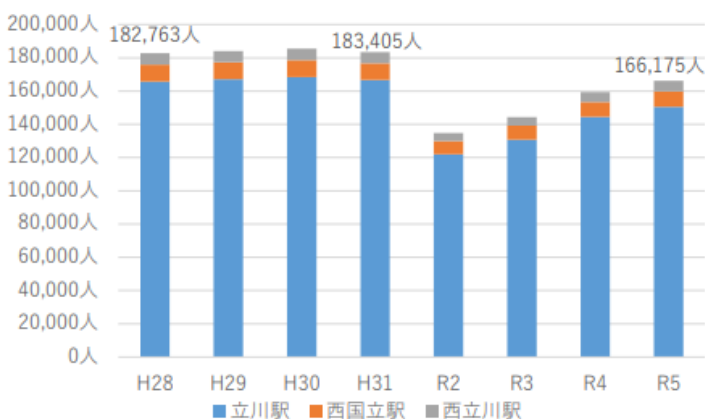
出典：立川市第5次長期総合計画基本構想

(1)立川市の現状 参考データ（公共交通利用者数の推移）

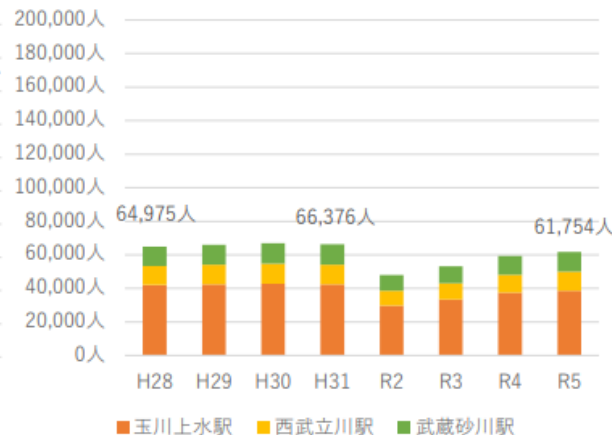
■ 鉄道・モノレール

- 乗降客数（乗車数）※の推移は、平成31（2019）年度までは増加傾向。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和2（2020）年度に大きく減少。
- 令和3年度以降は回復傾向にあるが、令和5年度においても平成31（2019）年度と比較して9割程度となっている。

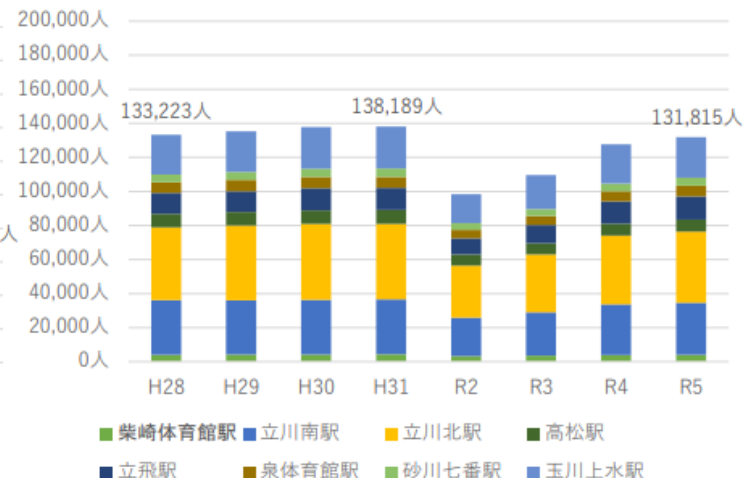
【JR東日本】乗車人員の推移



【西武鉄道】乗降客数の推移



【多摩都市モノレール】乗降客数の推移



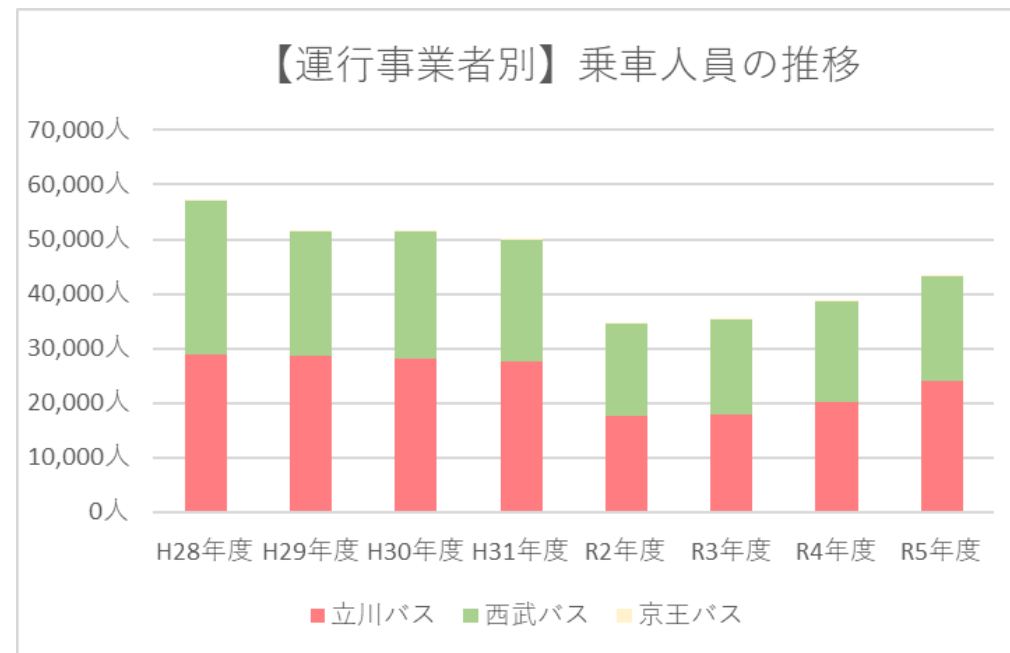
※JR東日本のみ乗車人数、他は乗降客数
※各社とも一日平均人数

出典：統計年報（立川市）、各事業者HP

(1)立川市の現状 参考データ（公共交通利用者数の推移）

■ 路線バス

- 路線バスの乗車人数の推移は、平成31年度にかけて減少傾向。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、令和2年度に大きく減少。
- 令和3年度以降は回復傾向にあるものの、令和5年度においても平成31年度の8割程度の数値に止まっている。



	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
立川バス	28,943人	28,602人	28,054人	27,705人	17,637人	17,880人	20,129人	23,981人
西武バス	28,162人	22,947人	23,306人	22,261人	17,022人	17,319人	18,467人	19,149人
京王バス	111人	115人	114人	43人	56人	67人	71人	62人

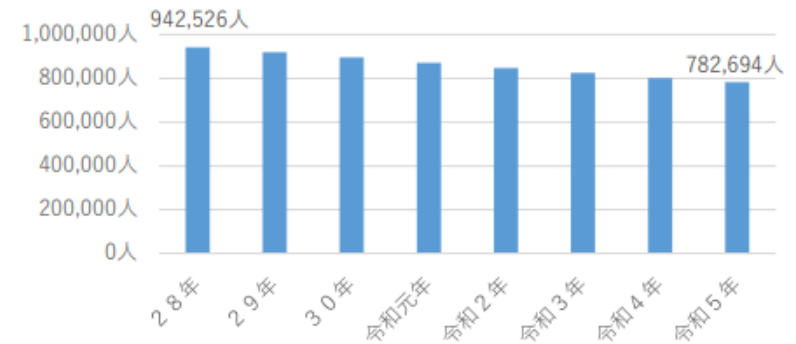
出典：立川市統計年報

(1)立川市の現状 参考データ (公共交通の運転者数の推移)

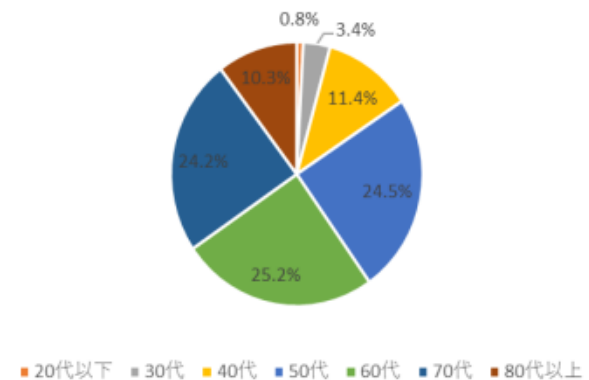
■ 大型二種免許保有者の推移

- 大型二種免許保有者の数は令和5年にかけて減少傾向。
- 平成28年と令和5年を比較すると約17%減少。
- 大型二種免許の保有比率では、全体の約60%が60代以上となっている（50代以上は約84%）。

大型二種免許保有者の推移 (全国)



令和5年 大型二種免許年代別保有比率



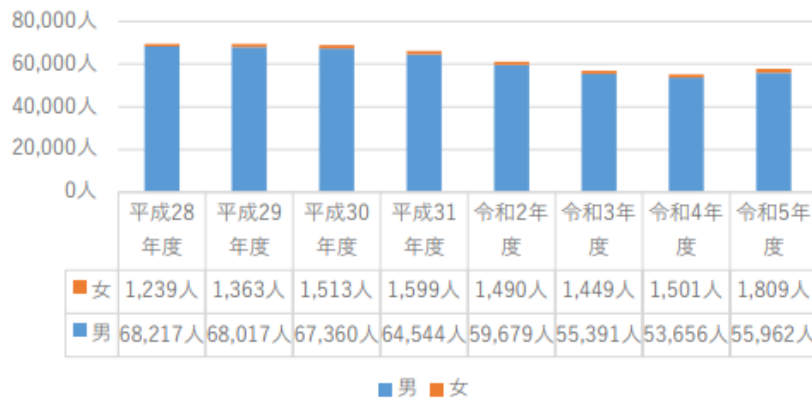
出典：運転免許統計令和5年版 (警察庁)

(1)立川市の現状 参考データ (公共交通の運転者数の推移)

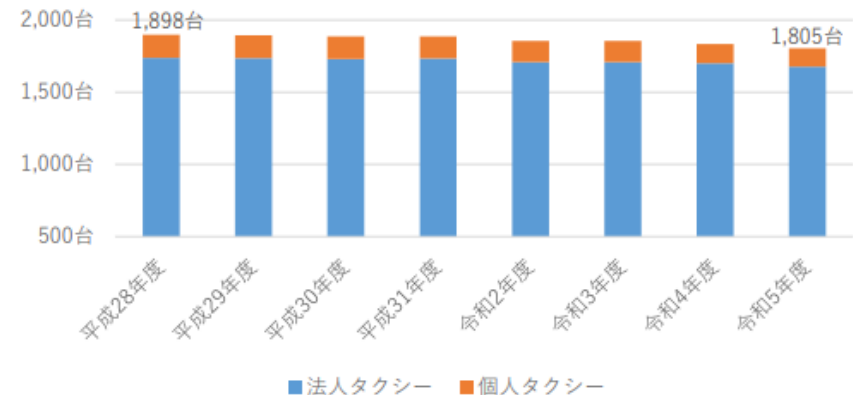
■ タクシー

- 乗務員数は平成28年度から令和4年度にかけて14,000人以上減少。令和4年度から令和5年度にかけては若干増加。
- 女性の乗務員数は、コロナ過で一時期減少したものの、増加傾向。
- 車両台数は平成28年度から令和5年度にかけて緩やかに減少。

タクシー乗務員 (運転者証交付数の推移)



タクシー台数の推移 (北多摩地区)



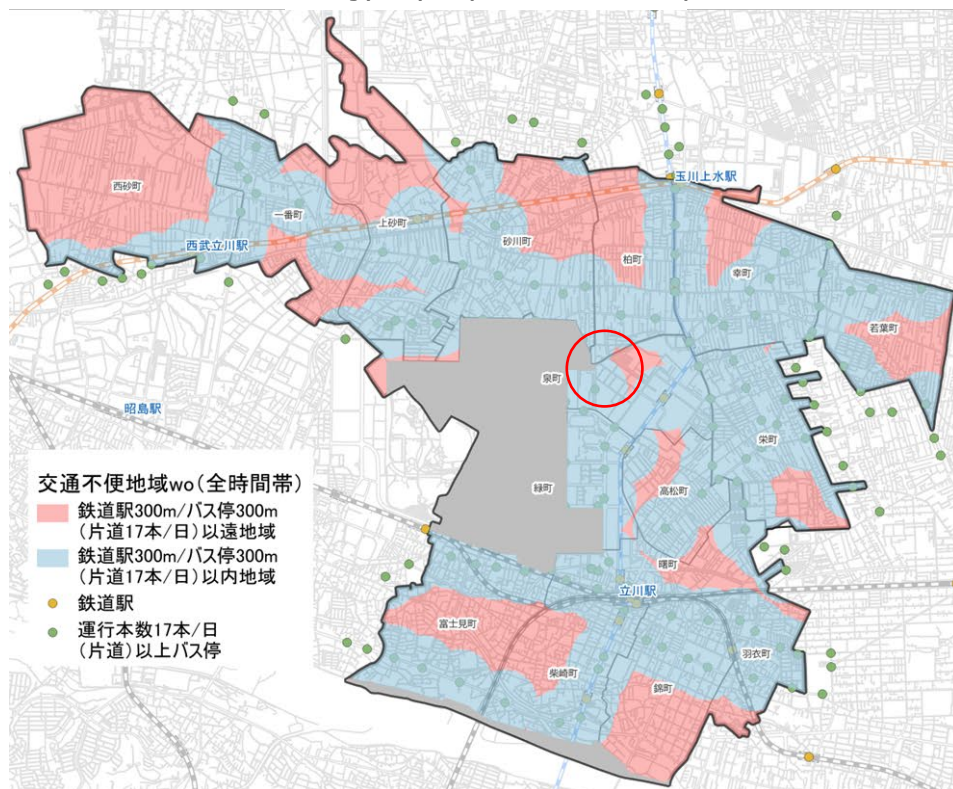
出典：東京のタクシー (東京ハイヤータクシー協会)

(1)立川市の現状 参考データ (交通不便地域)

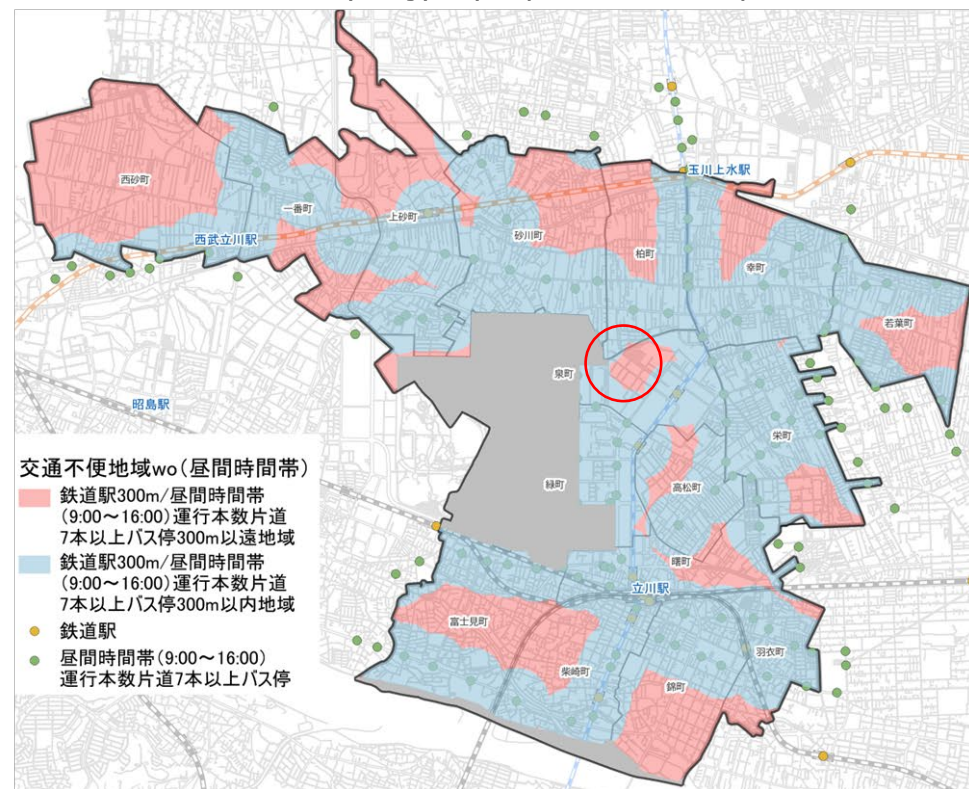
■ 交通不便地域の検討 (※バス停は路線バス停留所のみを対象=くるりんバス等のコミュニティバスは対象外)

- 全時間帯 (7:00~23:00) と昼間時間帯(9:00~16:00)における交通不便地域を以下に示す。
- 比較の結果、昼間時間帯 (9:00~16:00) の基準を片道運行本数7本以上と定義した場合、時間帯による交通不便地域の差異は、図の赤枠箇所(泉町住宅モノレール本社前)のみであった。

全時間帯 (7:00~23:00)



昼間時間帯 (9:00~16:00)



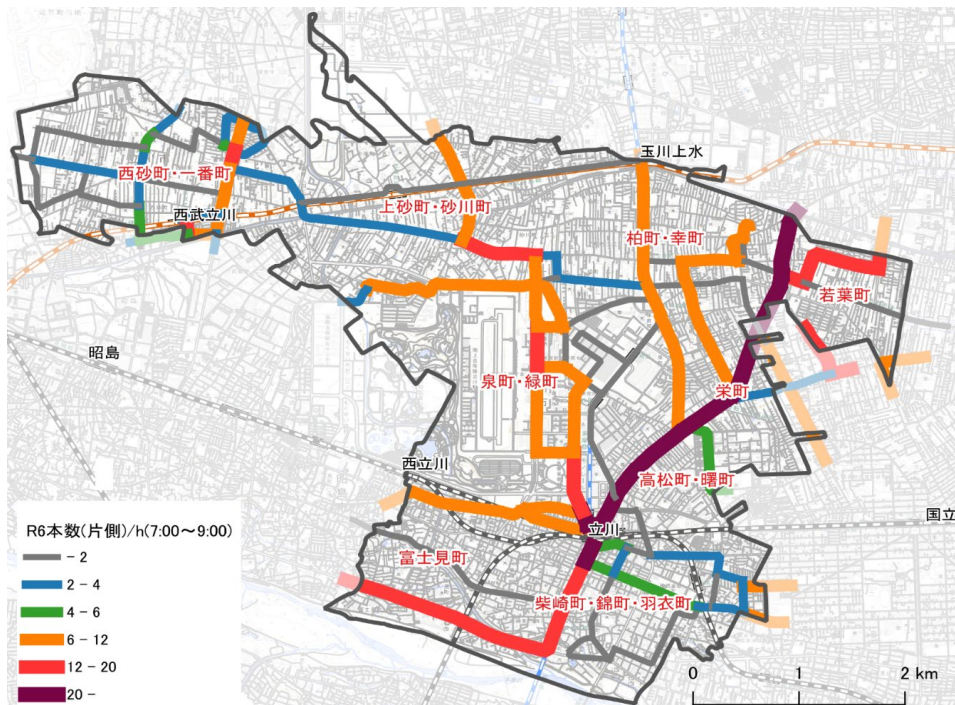
参考：各バス事業者時刻表、国土数値情報、国土地理院地図を加工して作成

(1)立川市の現状 参考データ (バスの運行状況)

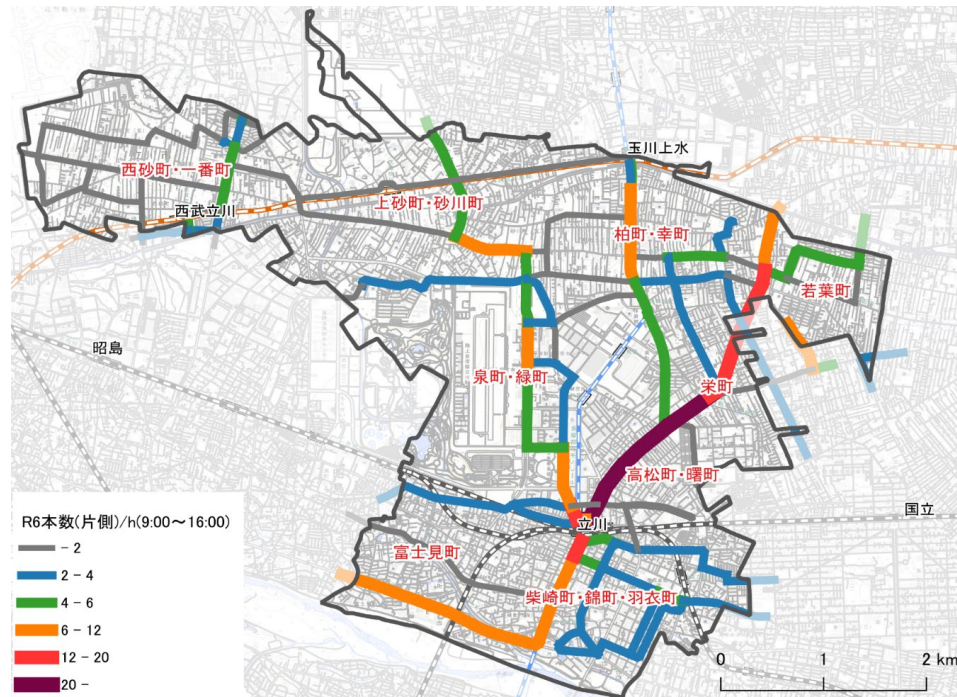
■ 市内のバスの運行本数

- 通勤通学のピークが考えられる朝の時間帯 (7:00~9:00) と日中の買い物などのお出かけが考えられるお昼の時間帯 (9:00~16:00) の運行本数を調査し、1時間当たりの運行本数を算出。

1時間あたりの運行本数 (7:00~9:00)



1時間あたりの運行本数 (9:00~16:00)



参考：各バス事業者時刻表、国土数値情報、国土地理院地図を加工して作成

図：時間帯別運行本数(R6) (※コミュニティバス含む)

(1)立川市の現状 参考データ (市民の移動実態)

■市民の移動実態

- 市の中で完結する移動、市外への移動、市外からの移動の総量を集計。
- また上記の移動を代表交通手段別に集計すると、市内から市外、市外から市内への移動の約40%を鉄道が占める。

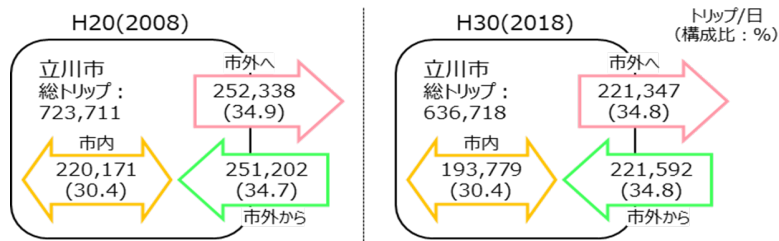


図:市内々・内外・外内のトリップ総量の経年変化

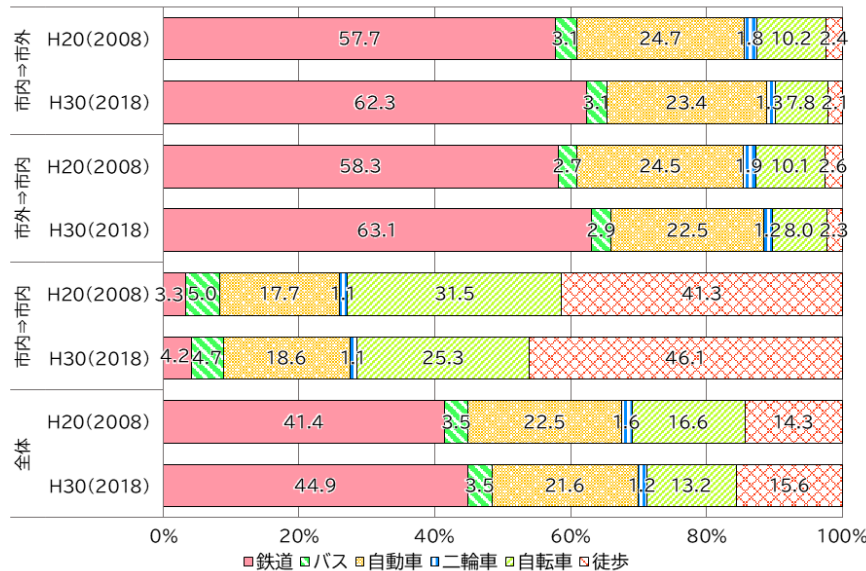


図:立川市内を発地もしくは着地とする移動の代表交通手段分担率

【市内⇒市内】

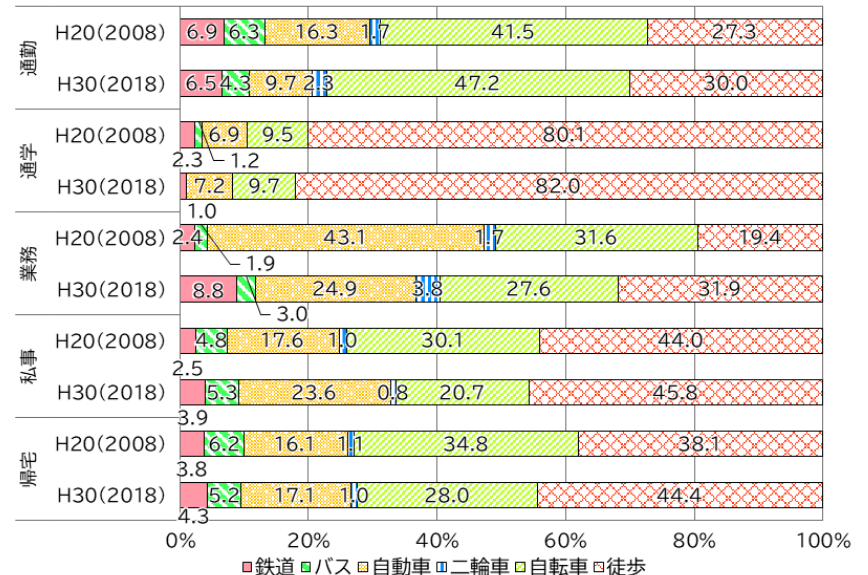


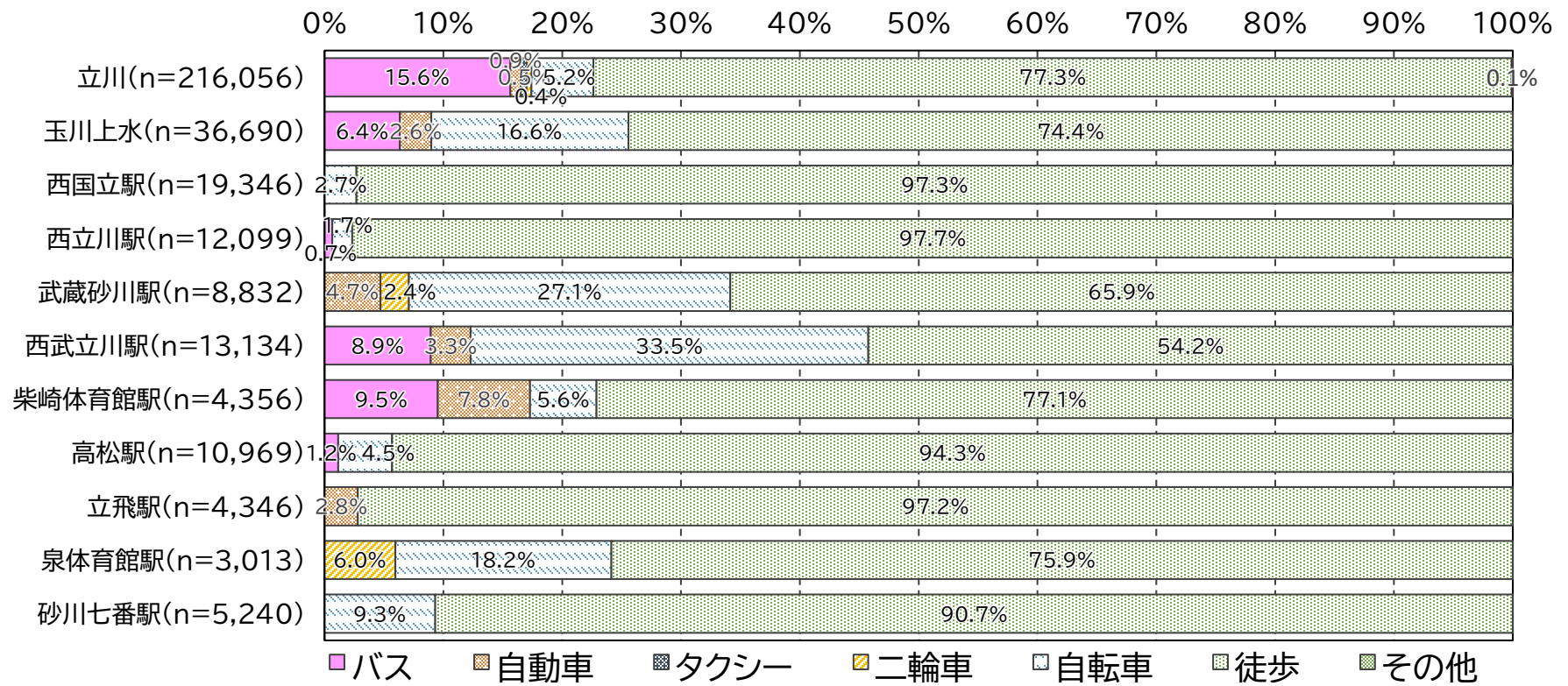
図:目的・代表交通手段別市内々移動の実態

出典:東京都市圏パーソントリップ調査(平成20、平成30年)より作成

(1)立川市の現状 参考データ (市民の移動実態)

■ 乗降駅別端末交通手段分担率

- 立川駅と柴崎体育館駅は、徒歩に次いでバスの分担率が高い。
- 立川市北部に位置する駅（武蔵砂川駅や西武立川駅等）では、市南部の駅に比べ、自転車の分担率が高い。



※立川：JR、多摩都市モノレール（立川北、立川南）の合算値
 ※玉川上水：西武鉄道、多摩都市モノレールの合算値

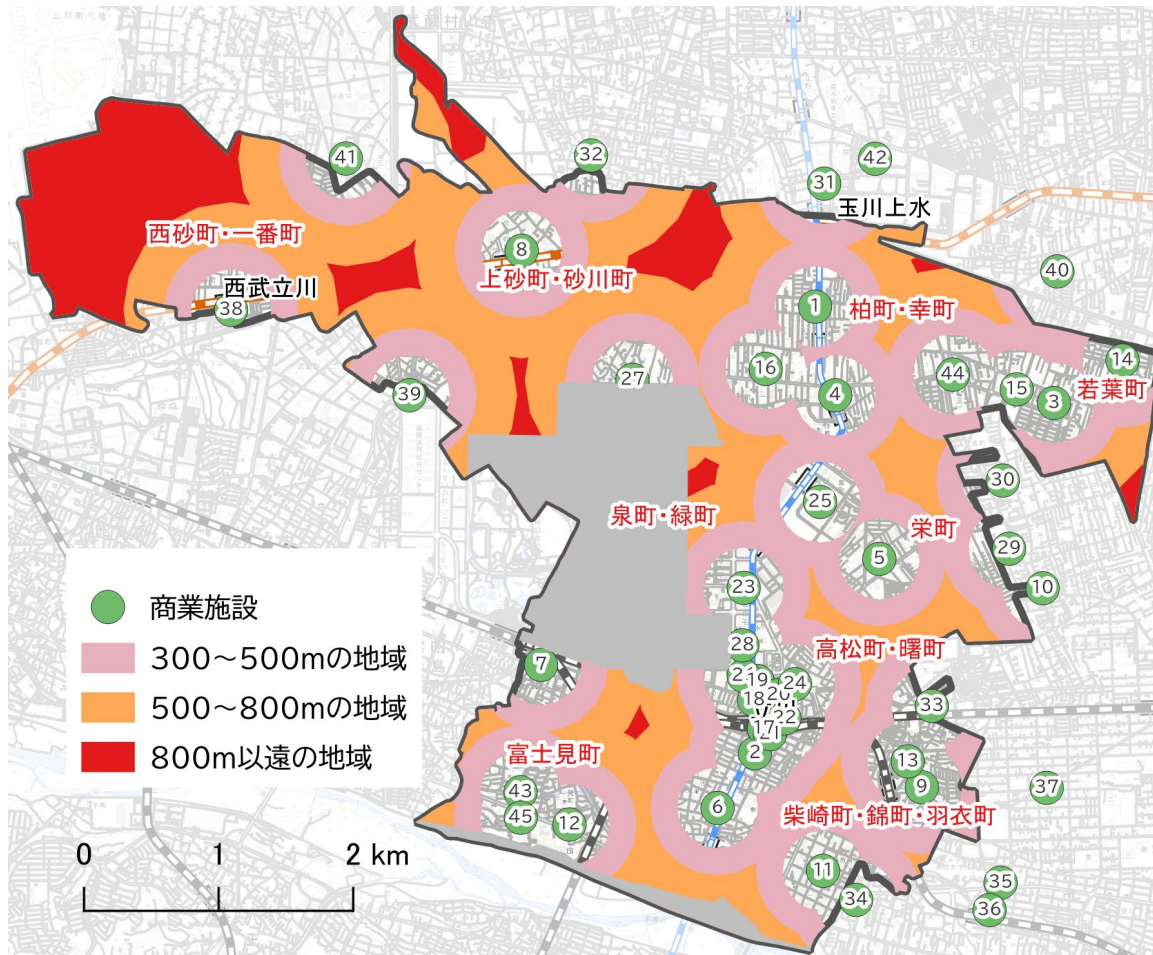
出典：東京都市圏パーソントリップ調査（平成30年）より

図 市内の乗降駅別端末交通手段分担率

(1)立川市の現状 参考データ (商業圏域)

■ 商業圏域

- 市内もしくは市境付近にある商業施設（主にスーパーマーケット）から300～500mの地域、500～800mの地域、800m以遠の地域とその地域に居住する人口は以下のとおり。



No.	施設名	No.	施設名
1	ピーコックストア玉川上水店	24	MEGA ドン・キホーテ立川店
2	東急ストア立川駅南口店	25	ららぽーと立川立飛
3	ヤオコー若葉町店	26	パークアベニュー
4	いなげや立川幸店	27	ファーマーズセンターみのーれ立川
5	いなげや立川栄町店	28	GREENSPRINGS
6	キッチンコート立川店	29	業務スーパー国立弁天通り店
7	さえき西立食品館	30	コープ弁天通り店
8	マルエツ武蔵砂川店	31	いなげやina21玉川上水駅前店
9	西友西国立店	32	フーズマーケットさえき大南店
10	ピーコックストア国立弁天通り	33	Olympic国立店
11	業務スーパー立川錦町店	34	西友青柳店
12	ミニコープ立川店	35	フーズマーケットさえき国立さくら通り店
13	サミットストア羽衣いちょう通り店	36	いなげやina21国立矢川駅前店
14	グルメシティ立川若葉店	37	ミニコープ国立西店
15	オーケー立川若葉町店	38	ヤオコー西武立川駅前店
16	フーズマーケットさえき柏町店	39	エコスタIRAYA中神店
17	エキュート立川	40	いなげや小平小川橋店
18	伊勢丹立川店	41	ダイエー武蔵村山店
19	立川高島屋S.C.	42	イトーヨーカドー東大和店
20	フロム中武	43	ビックエー立川富士見町店
21	グランデュオ立川店	44	ダイレックス立川幸町店
22	ルミネ立川	45	オーケー立川富士見町店
23	IKEA立川		

圏域	居住人口(高齢者数)	市全域人口に占める割合
～300mの地域	約6.4万人(約1.6万人)	約35%
300～500mの地域	約6.3万人(約1.5万人)	約34%
500～800mの地域	約4.6万人(約1.1万人)	約25%
800m以遠の地域	約1.3万人(約0.3万人)	約7%

※R5立川市人口：185,483人

図 主要商業施設の商業圏域

出典：市HP、国勢調査、地理院地図より作成

(2)市民アンケート（実施概要）

市民アンケート調査の概要

■市民アンケート調査の目的

- 市民の日常生活における生活や移動実態、現状の課題認識、意向を把握すること。

■市民アンケート調査の実施概要

	市民アンケート(生産年齢:15歳～64歳)	市民アンケート(高齢者:65歳以上)
調査対象者	立川市在住の15歳以上64歳以下の市民 (立川市に住民票を有する、令和6年10月1日現在で15歳以上64歳以下の男女)	立川市在住の65歳以上の市民 (立川市に住民票を有する、令和6年10月1日現在で65歳以上の男女)
抽出方法	1,400人	1,600人
回収目標	420票(回収率30%想定)	560票(回収率35%想定)
調査方法	郵送配布・郵送回収/web回収	同左
調査期間	令和6年10月10日から10月31日まで	同左

■回答数

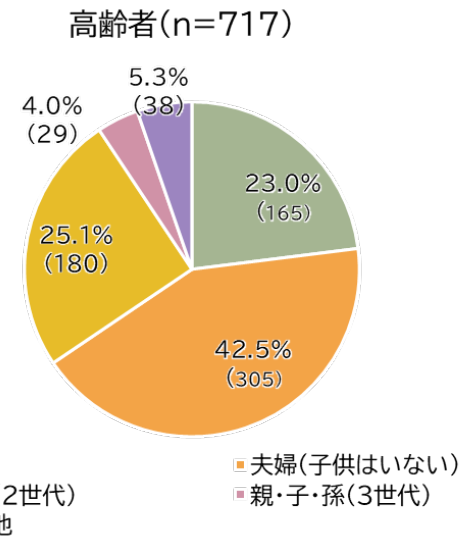
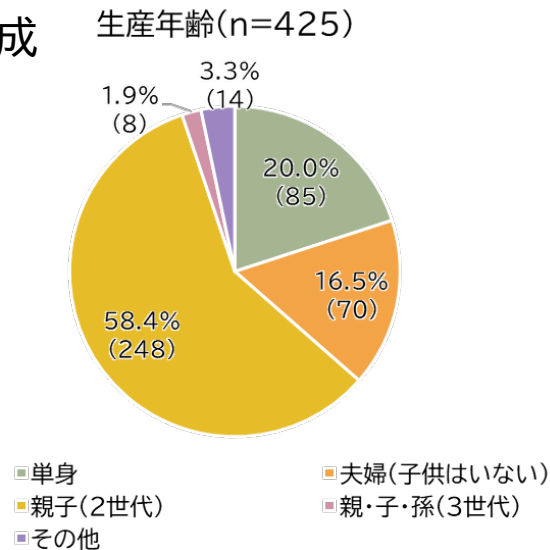
	市民アンケート (生産年齢:15歳～64歳)	市民アンケート (高齢者:65歳以上)
回答数	※1153(郵送:937,web:216)	
	426	721

※1153票の内、6票は年齢未回答
※12月15日時点で到着していた回答を分析の対象

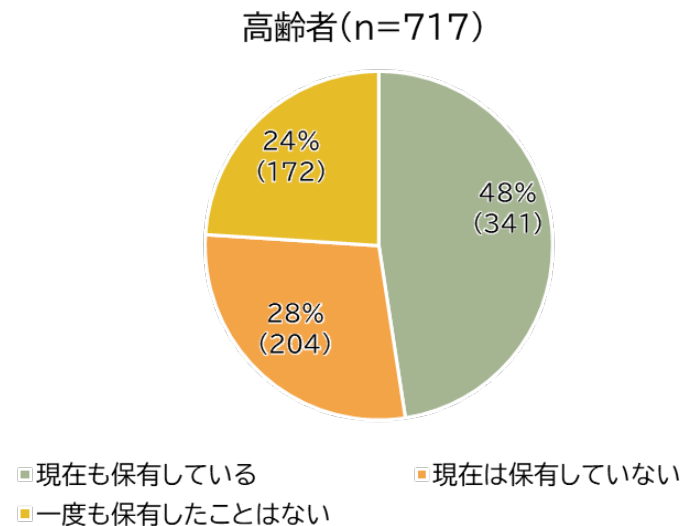
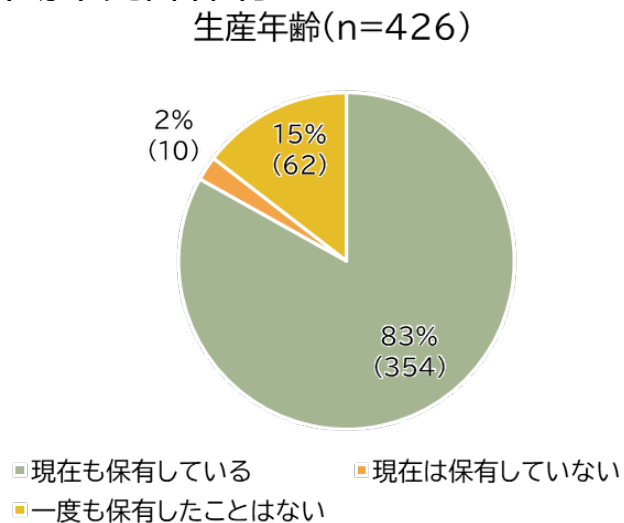
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問1

• 1-3 世帯構成



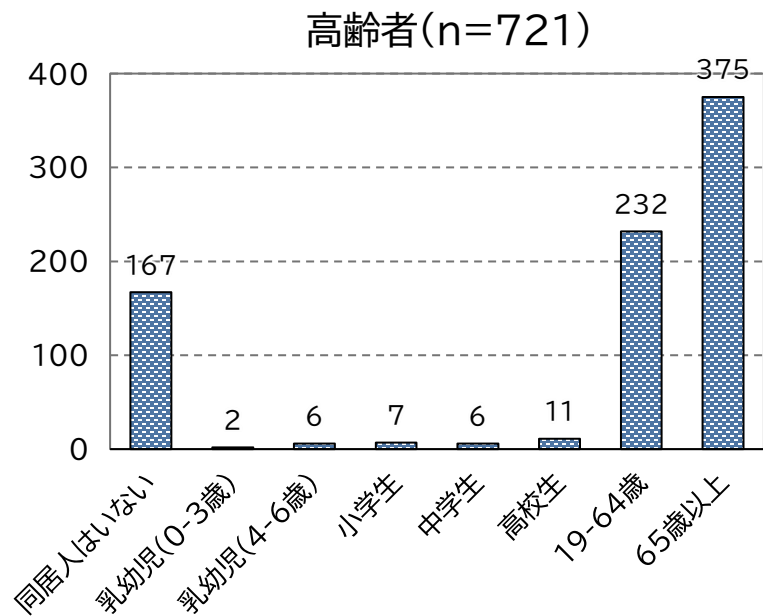
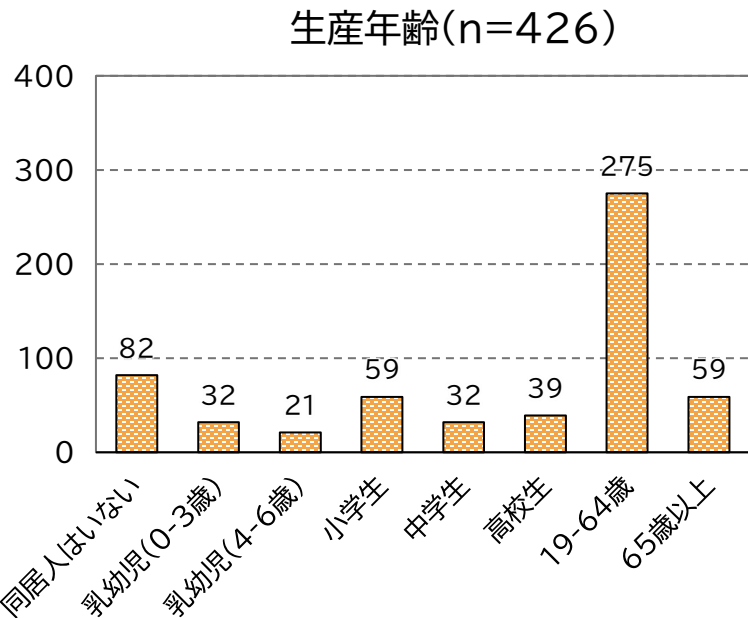
• 1-5 自動車免許保有



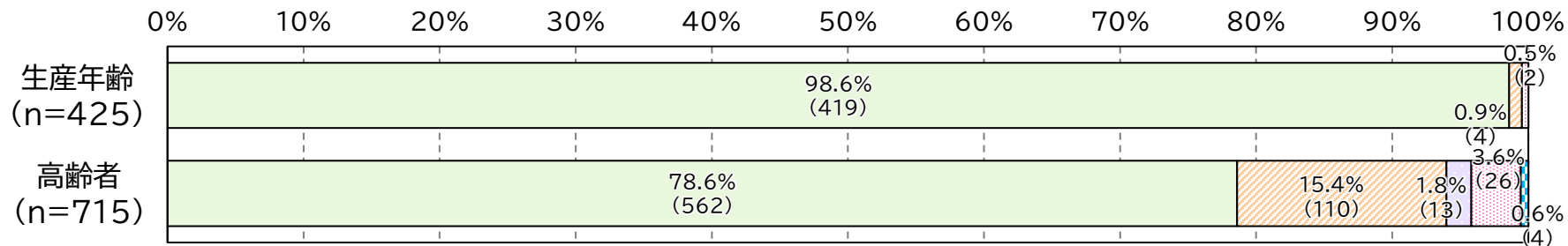
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問1

- 1-4 同居家族の年齢（複数回答可）



- 1-11 外出に関する身体的な困難さ

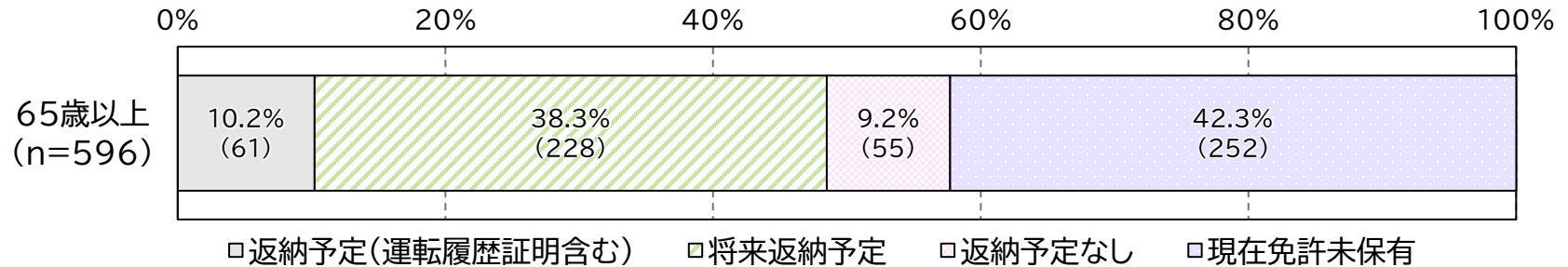


□ 困難ではない □ 多少困難はあるが、一人で外出する □ 一部で介助が必要 □ 常に介助が必要 ■ 基本的に外出できない

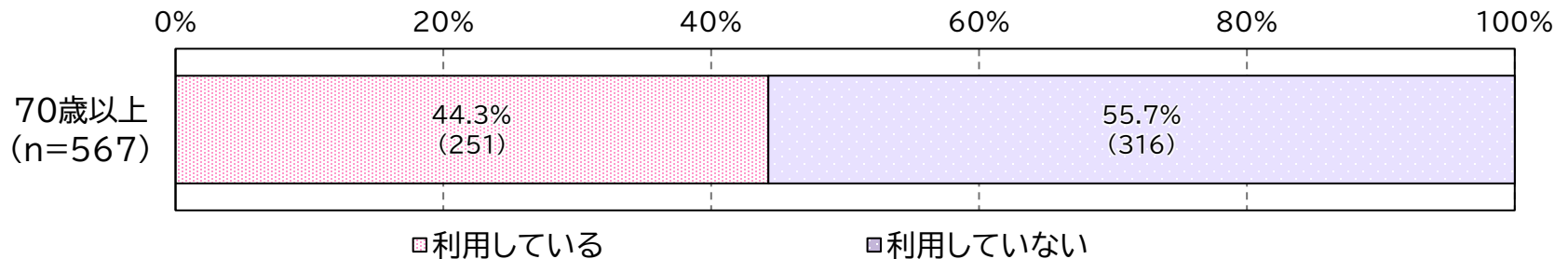
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問1

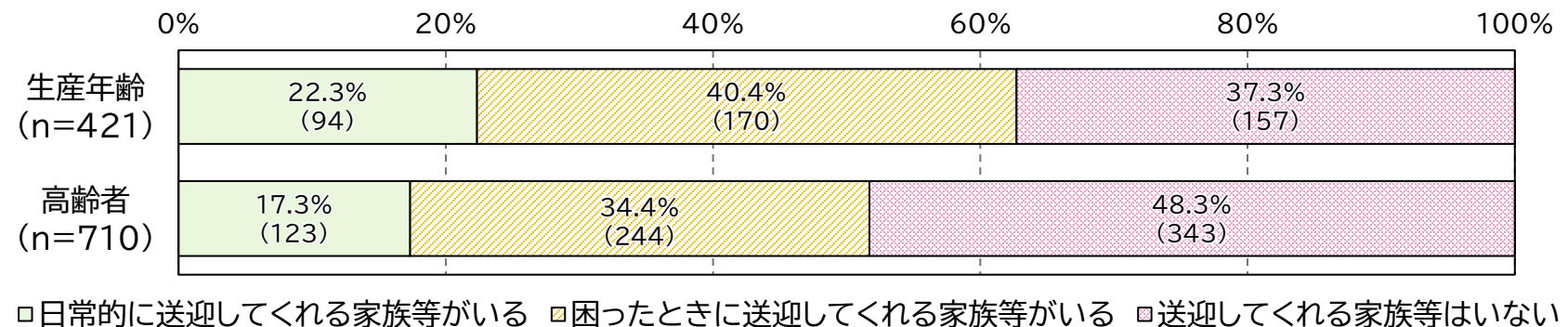
• 1-6 免許返納意向（65歳以上）



• 1-7 東京都シルバーパスの利用（70歳以上）



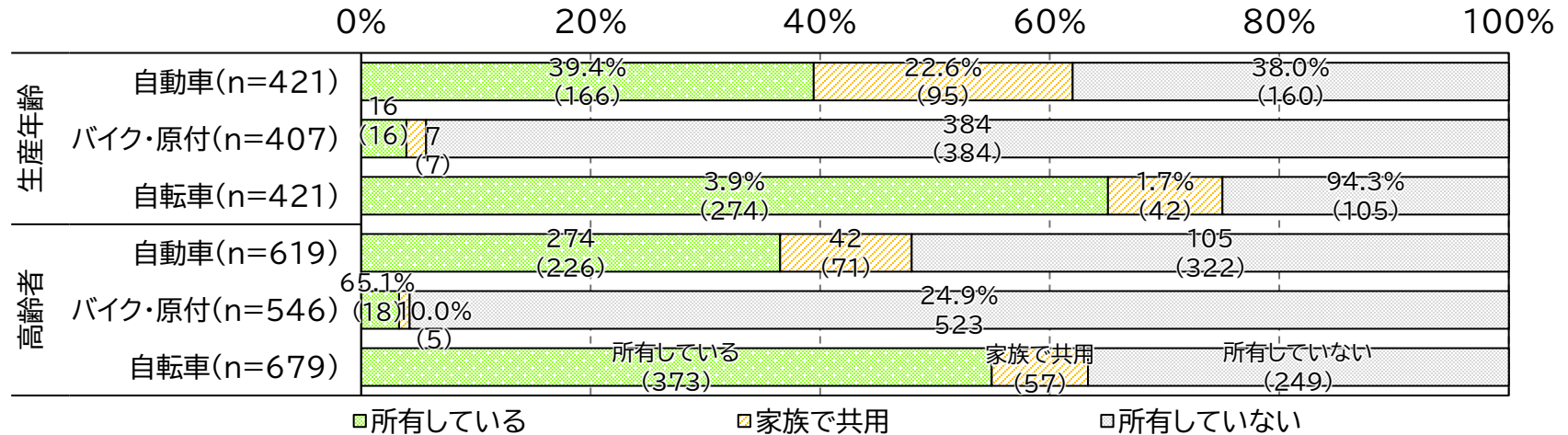
• 1-8 自家用車で送迎してくれる家族等（親族・知人）の有無



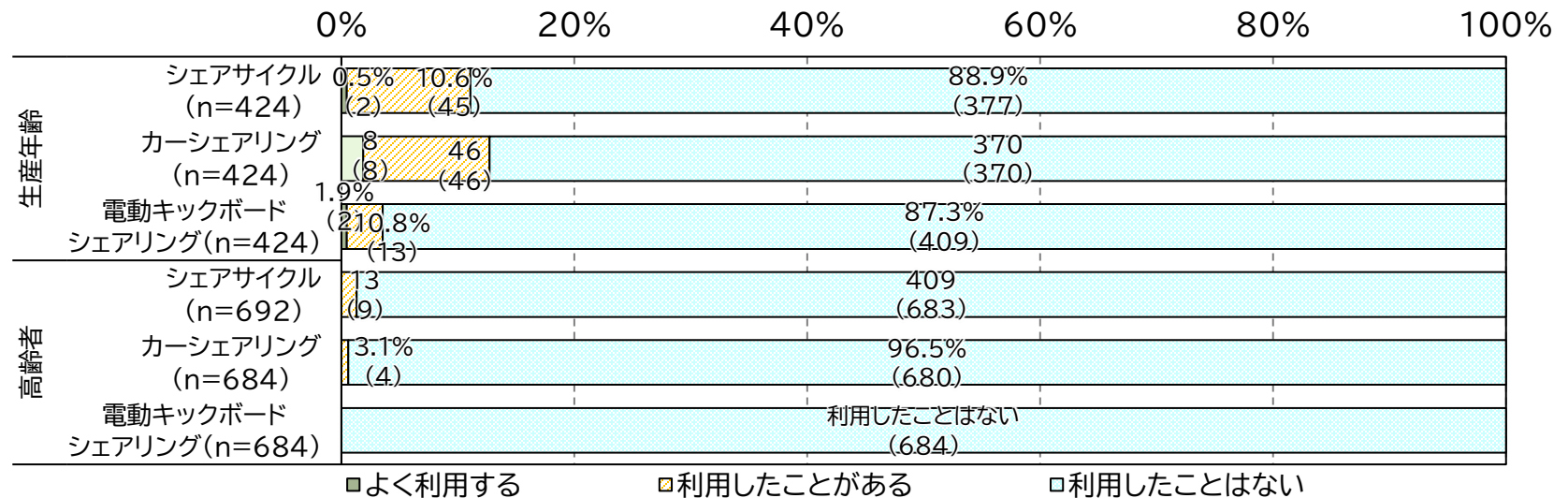
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問1

- 1-9 所有している自動車、バイク・原付、自転車の有無



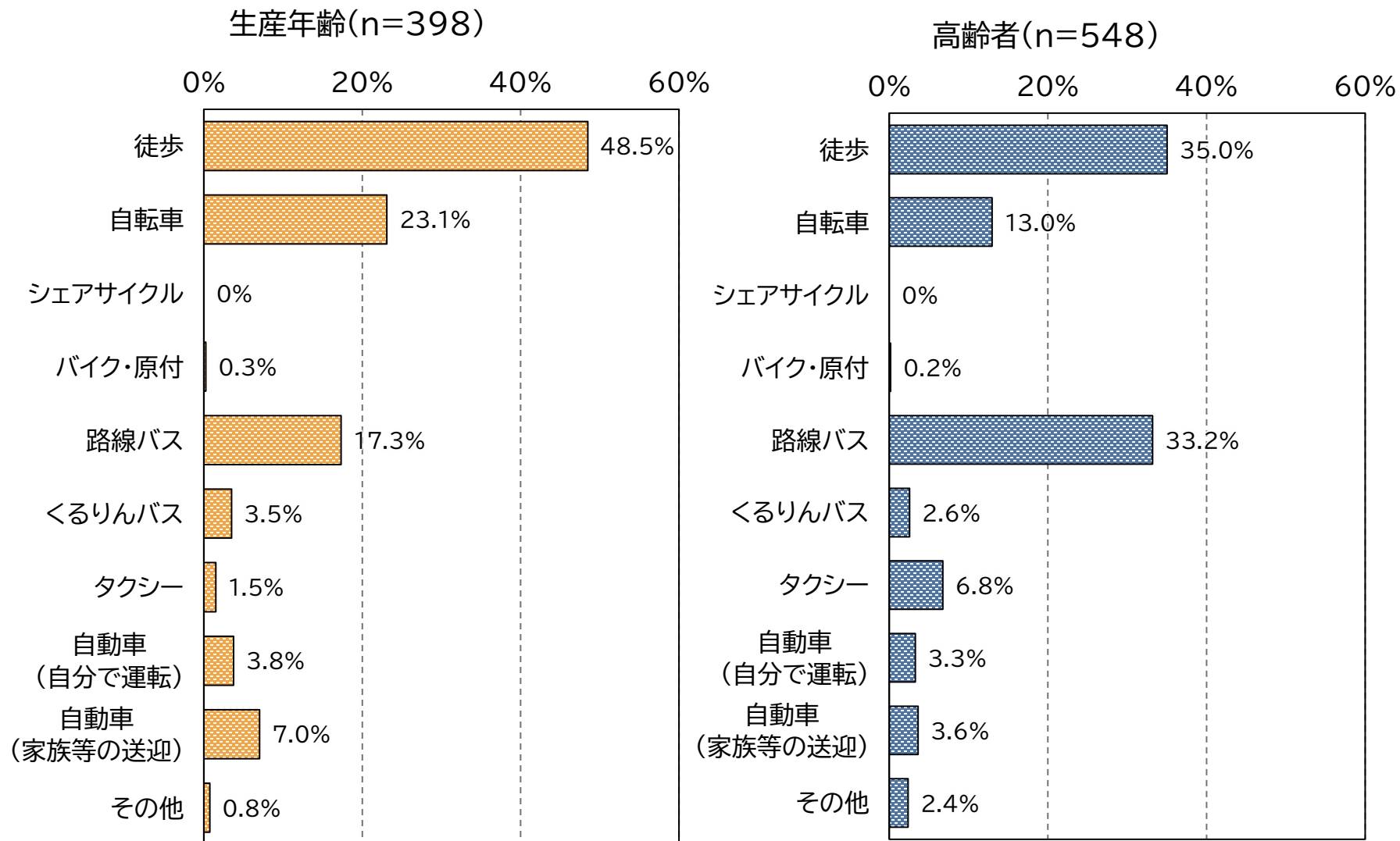
- 1-10 シェアリングサービスの利用有無



(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問1

- 1-12 -②自宅から最初に利用する駅までの交通手段（複数回答可）

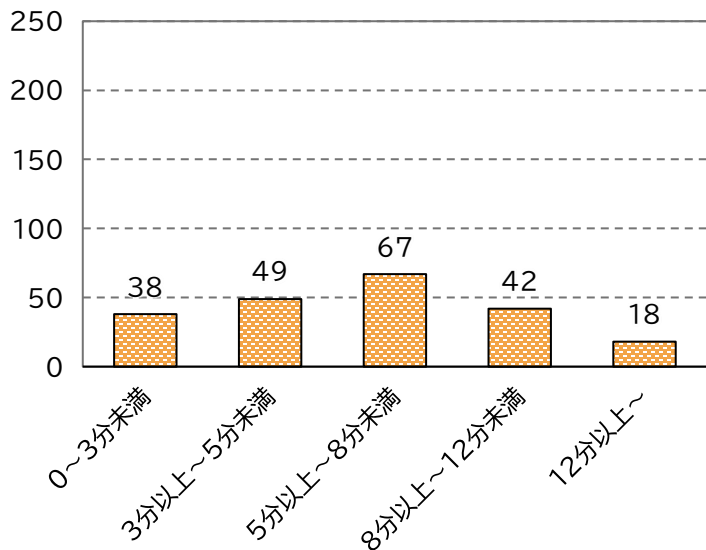


(2)市民アンケート（単純集計結果）

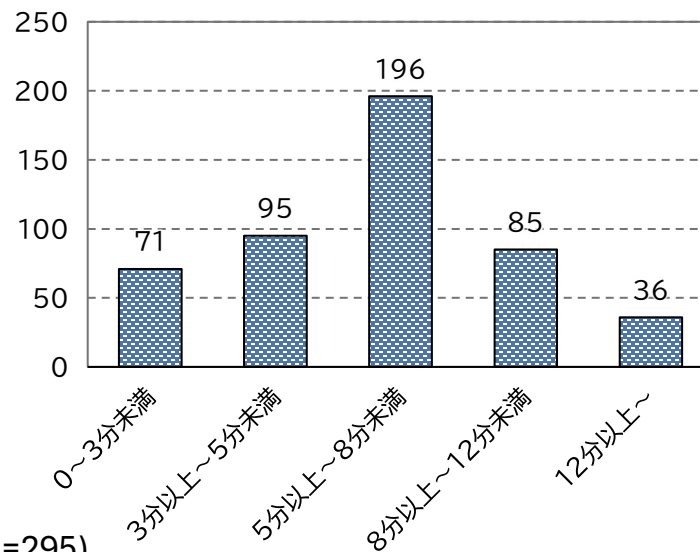
■ 大問1

- 1-13 -②自宅から最初に利用するバス停までの所要時間（徒歩）

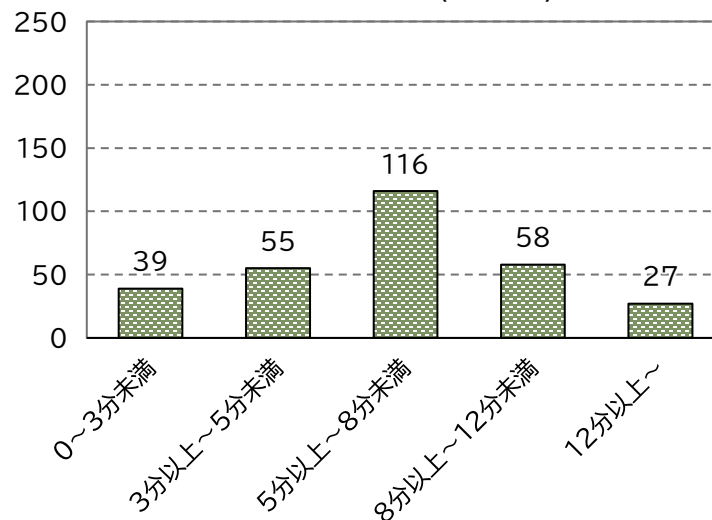
生産年齢(n=214)



高齢者(n=483)



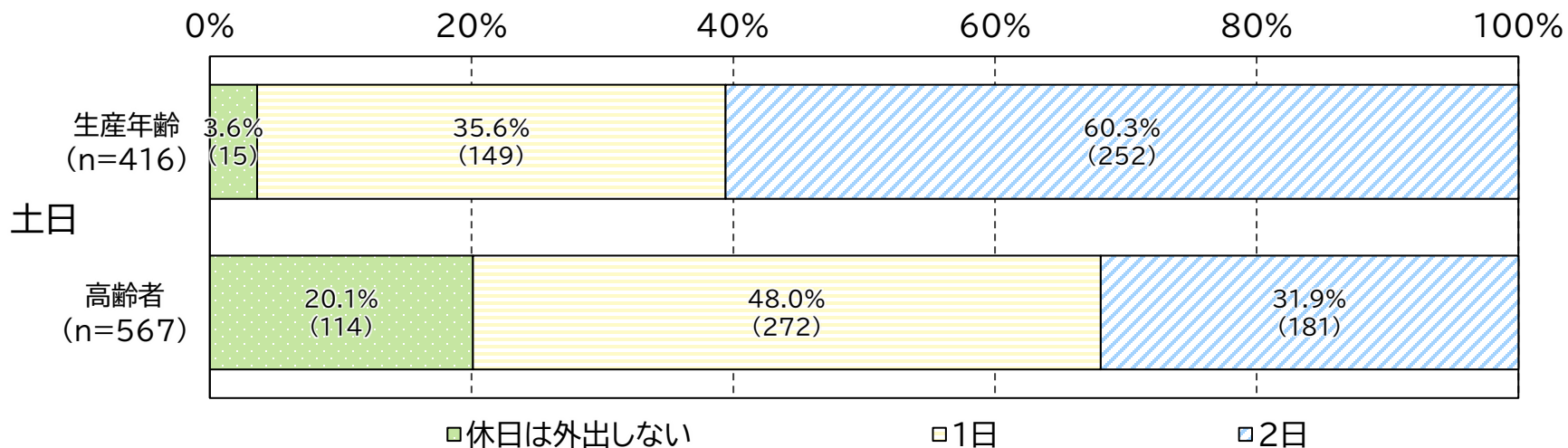
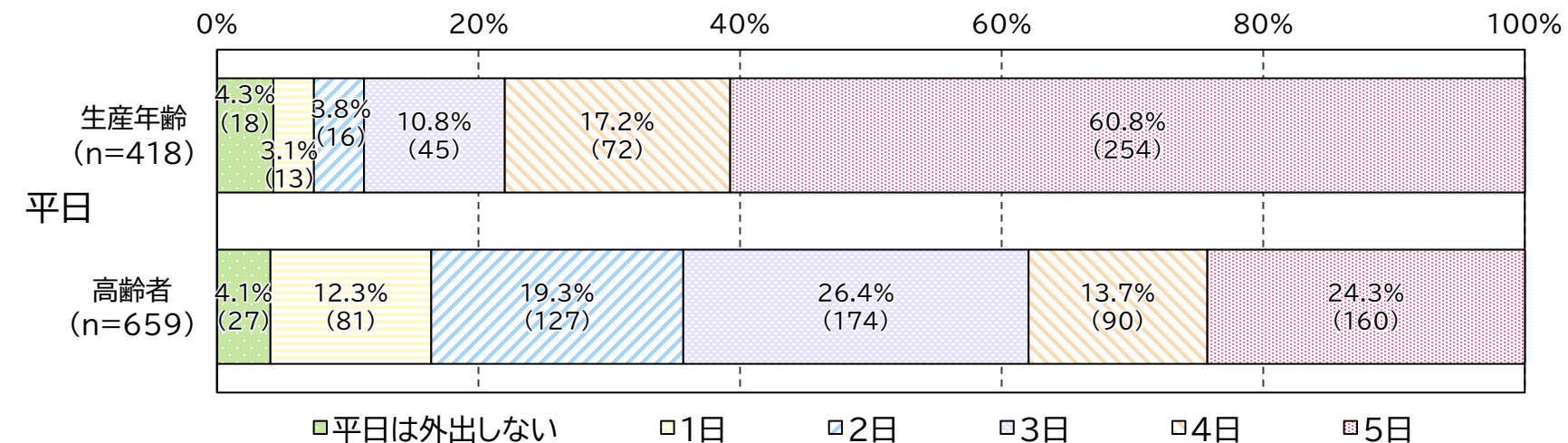
75歳以上(n=295)



(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問1

- 1-14 普段の1週間の外出頻度

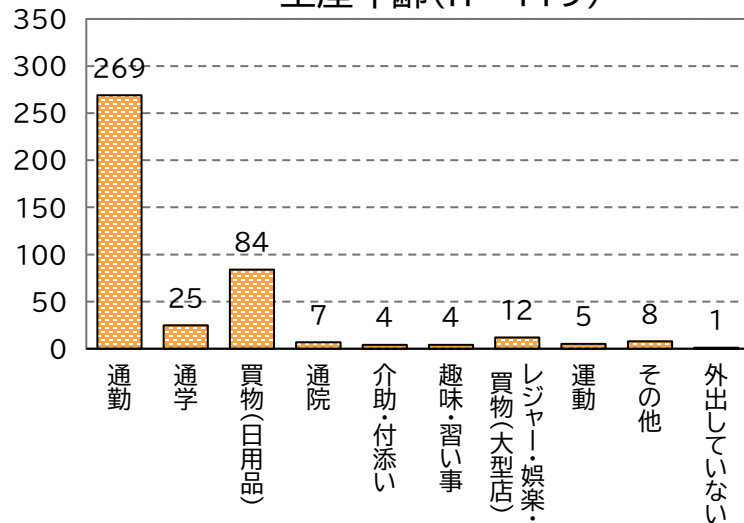


(2)市民アンケート（単純集計結果）

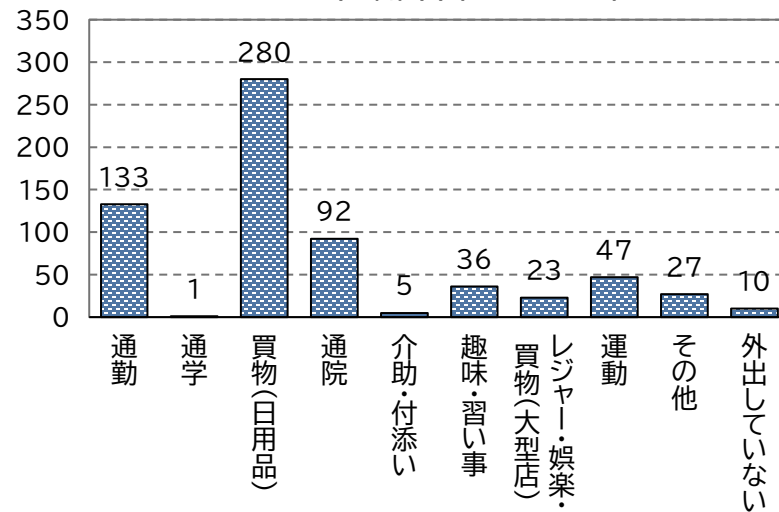
■ 大問2

• 2-1-①最もよく出かけた目的

生産年齢(n=419)

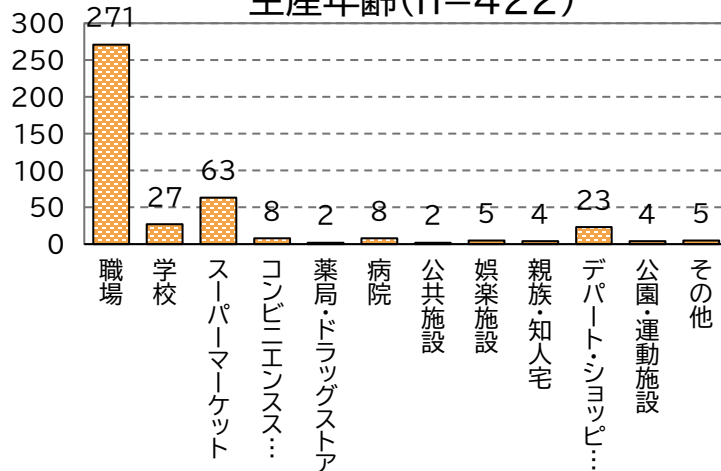


高齢者(n=654)

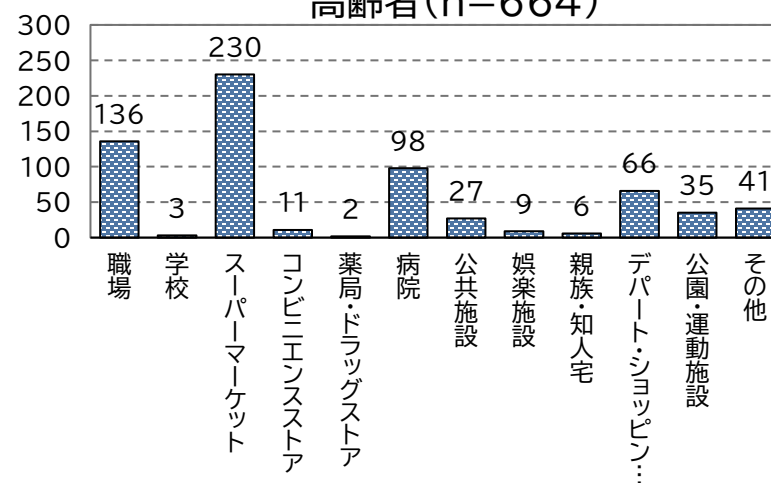


• 2-1-②【最もよく出かけた目的】行先の施設区分

生産年齢(n=422)



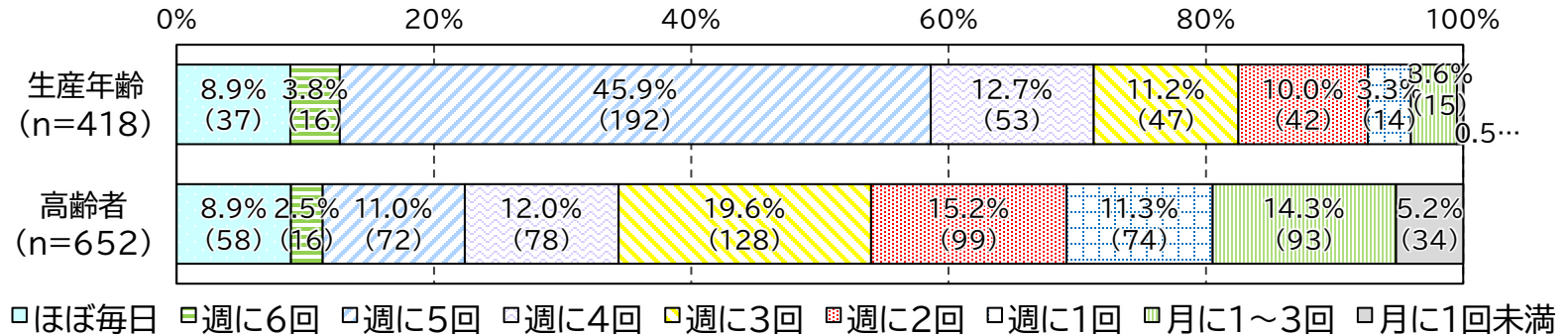
高齢者(n=664)



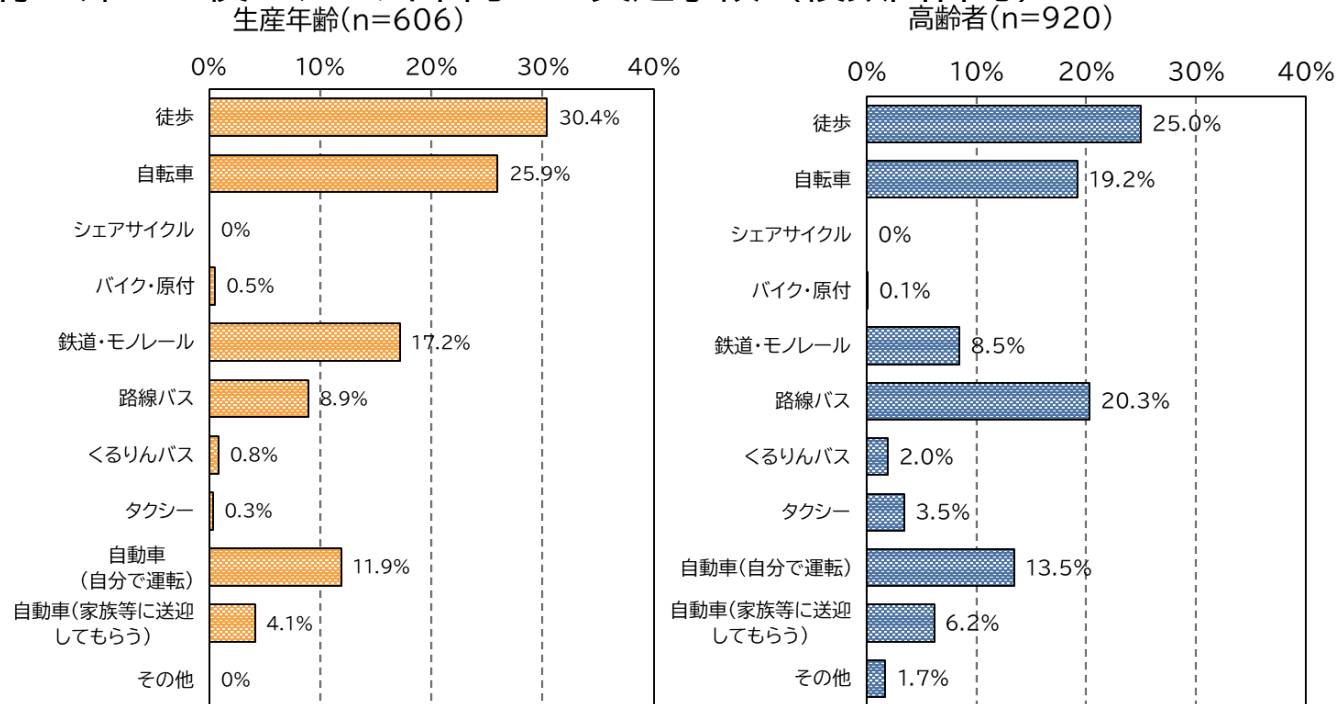
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

・ 2-1-③最もよく出かけた行き先への頻度



・ 2-1-④行き帰りに使う、立川市内での交通手段（複数回答可）

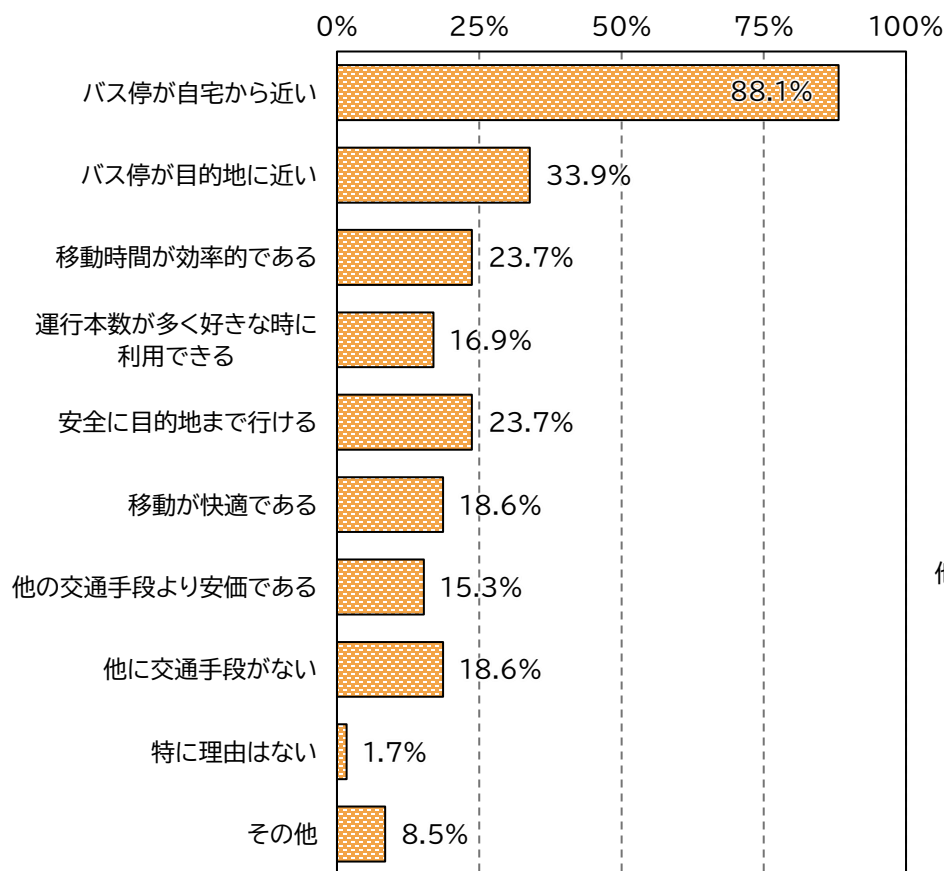


(2)市民アンケート（単純集計結果）

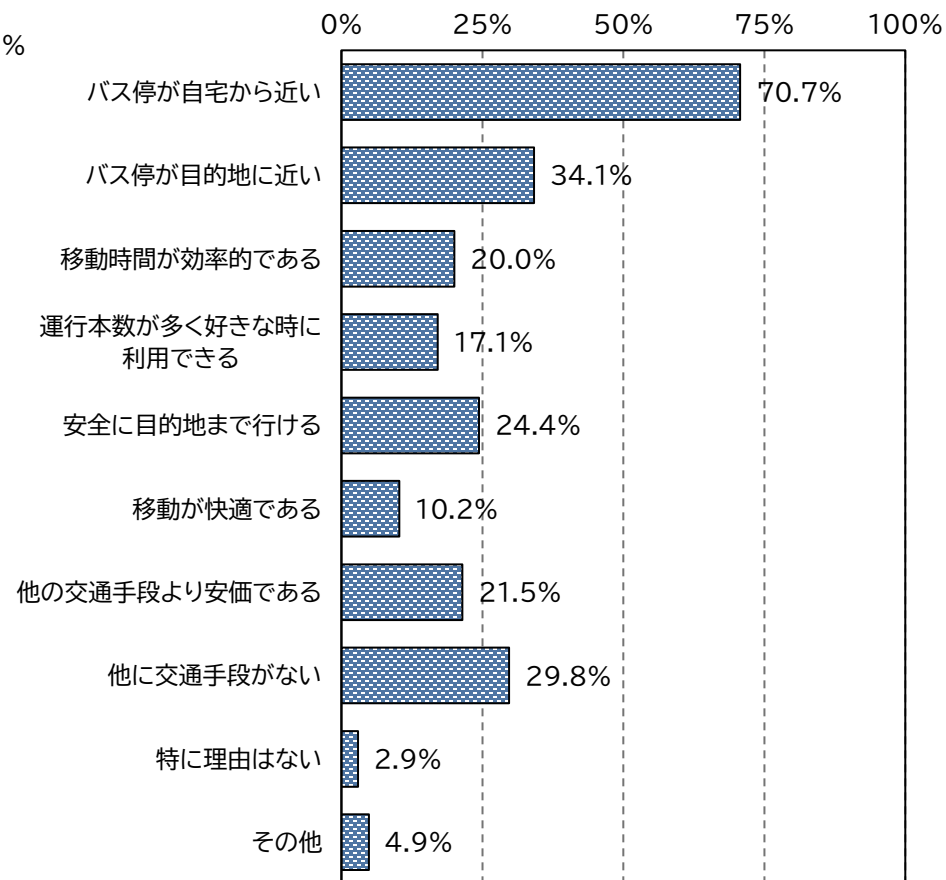
■ 大問2

- 2-1-⑥「6.路線バス」「7.くるりんバス」を選んだ人のうち
交通手段としてバスを選択した理由（最もよく出かけた行き先）（複数回答可）

生産年齢(n=59)



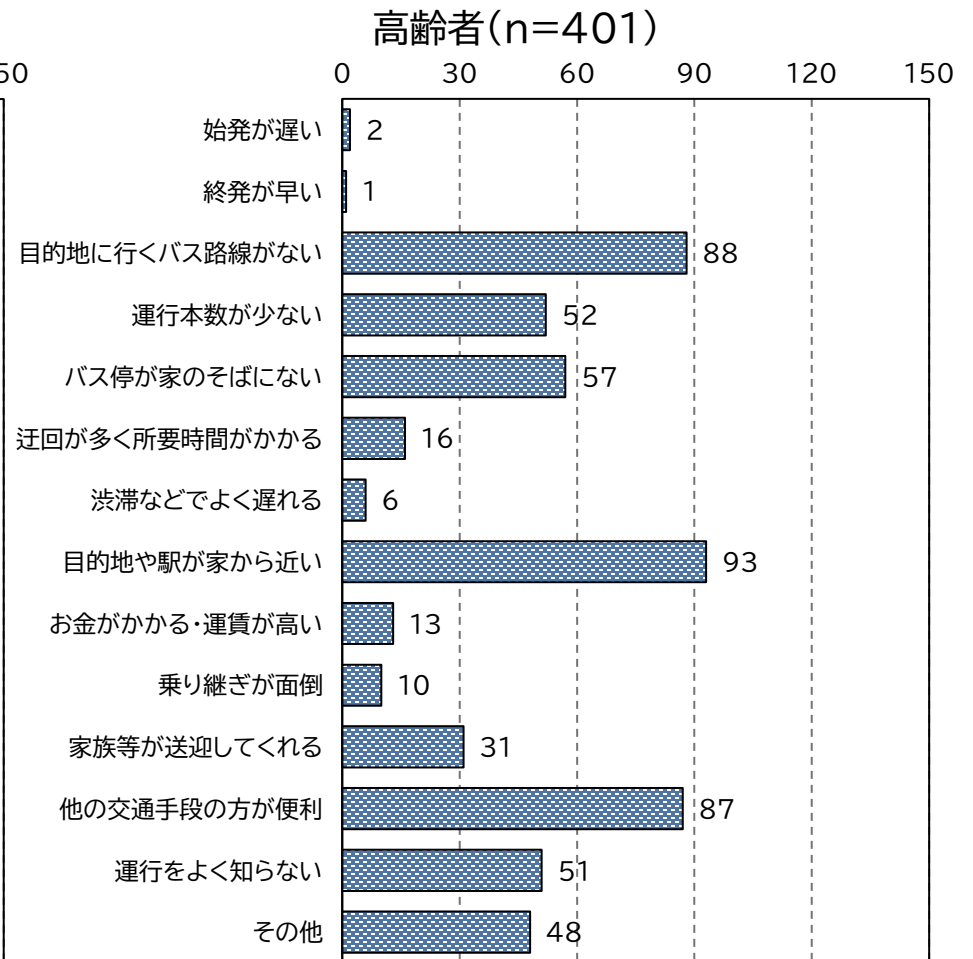
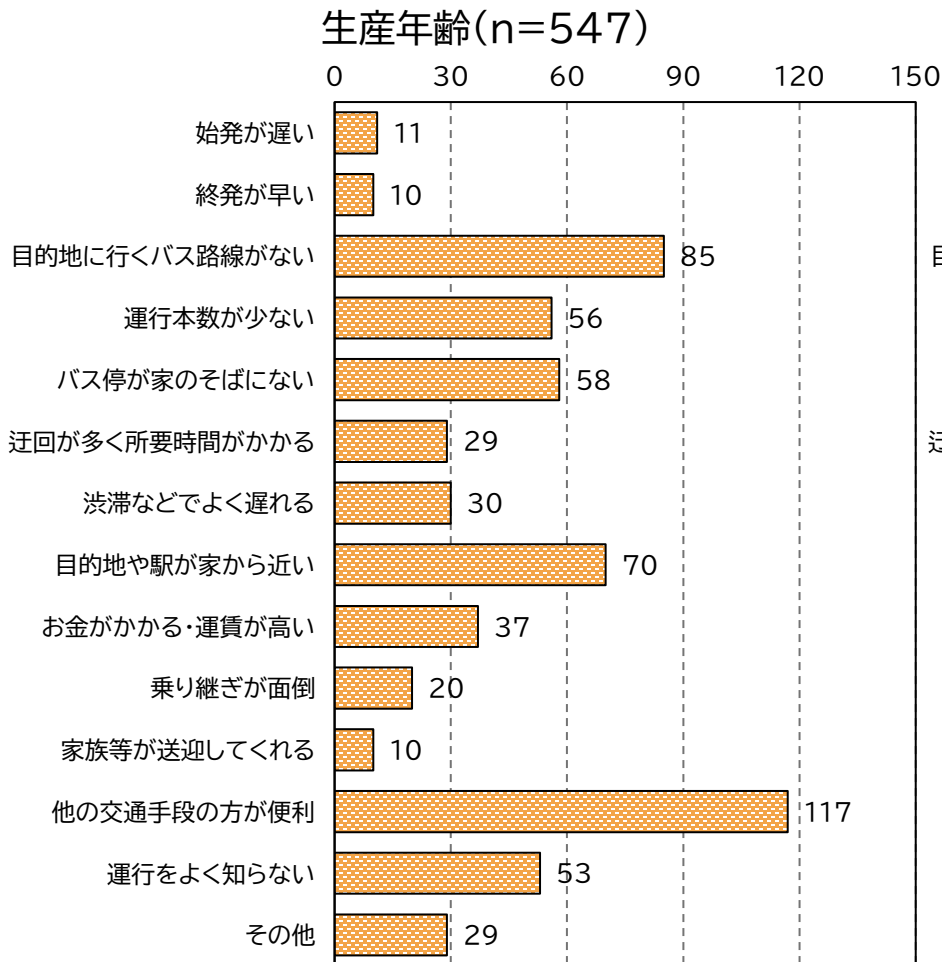
高齢者(n=205)



(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

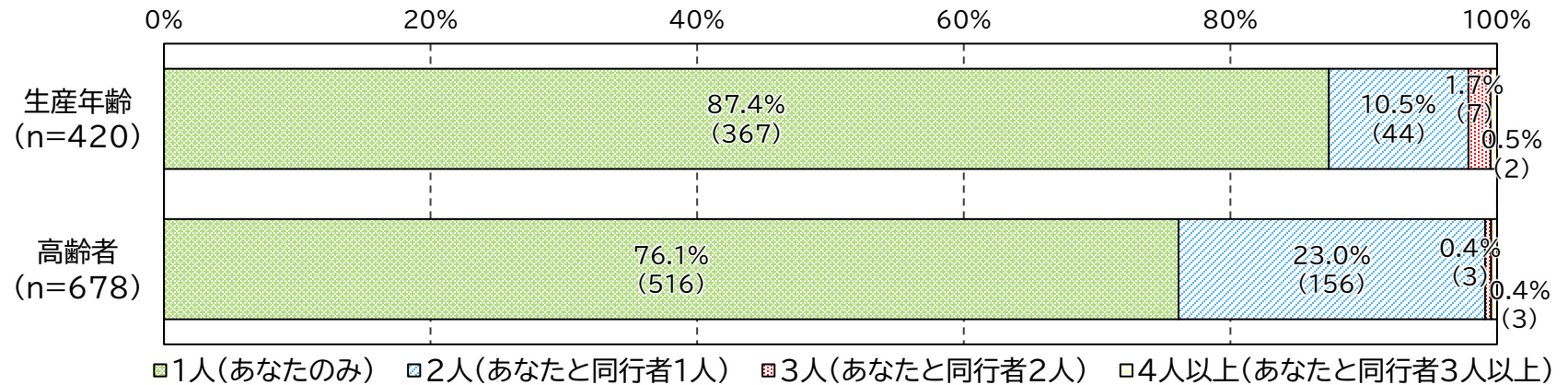
- 2-1-⑦「6.路線バス」「7.くるりんバス」を選ばなかった人のうちバスを利用しなかった理由（最もよく出かけた行き先）（複数回答可）



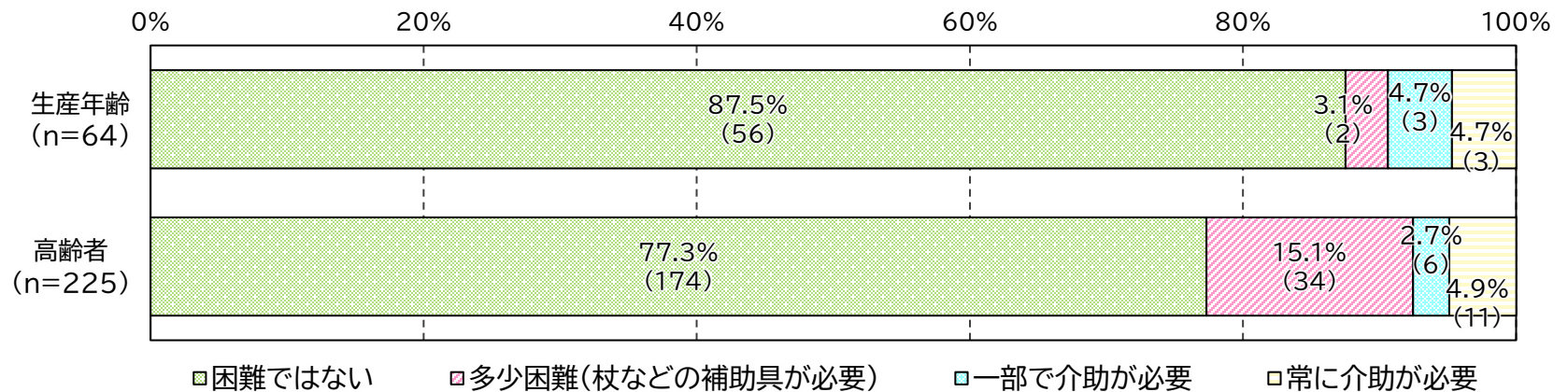
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

• 2-1-⑧主な外出人数（最もよく出かけた行き先）



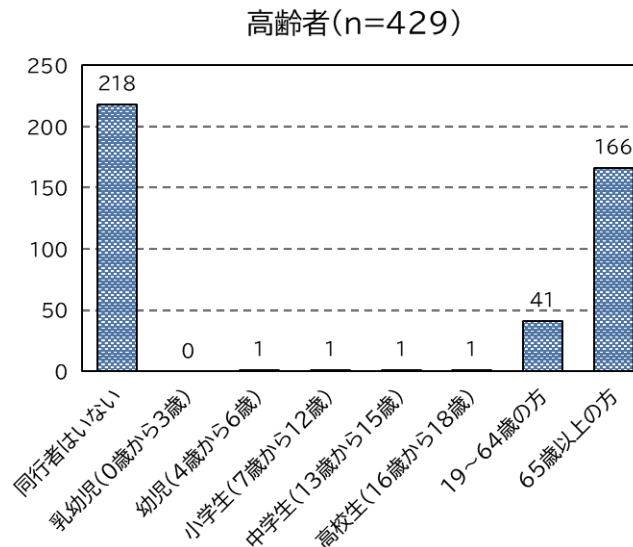
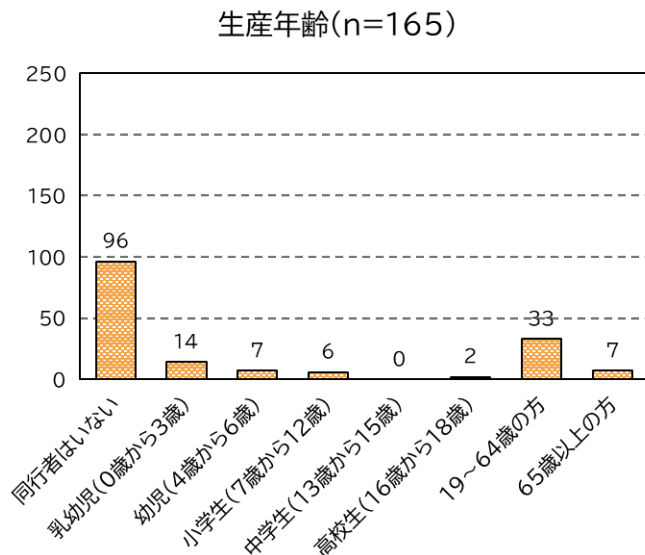
• 2-1-⑩同行者の方の、外出に関する身体的な困難さ（最もよく出かけた行き先）



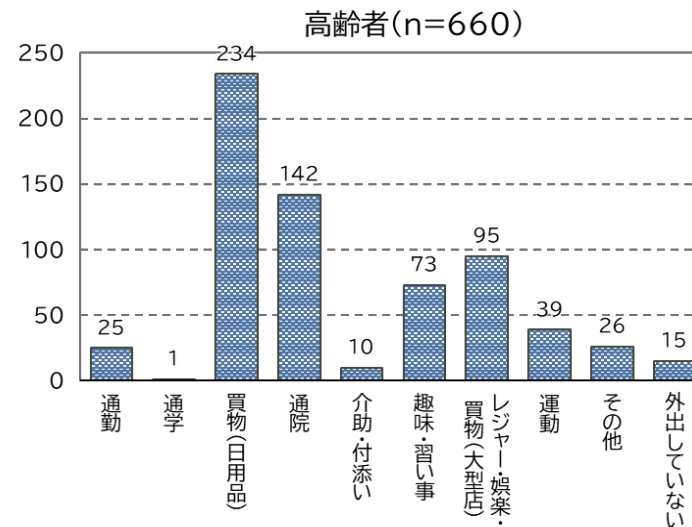
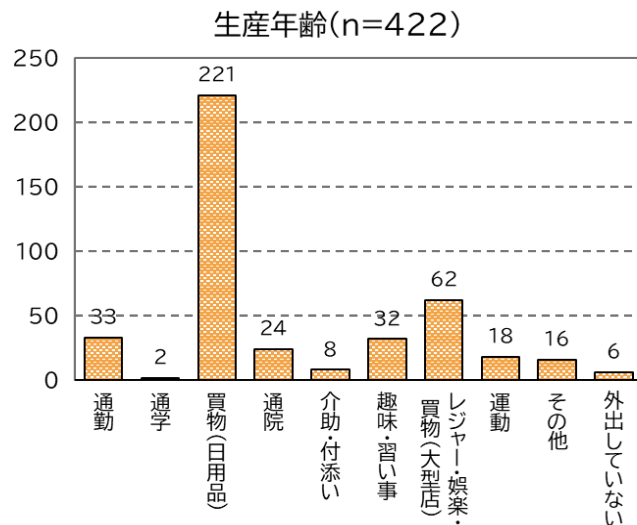
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

- 2-1-⑨同行者の方の年代（最もよく出かけた行き先）（複数回答可）



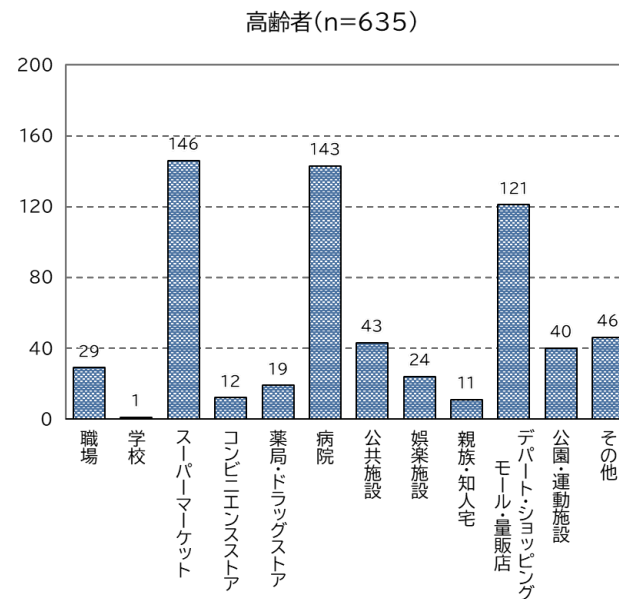
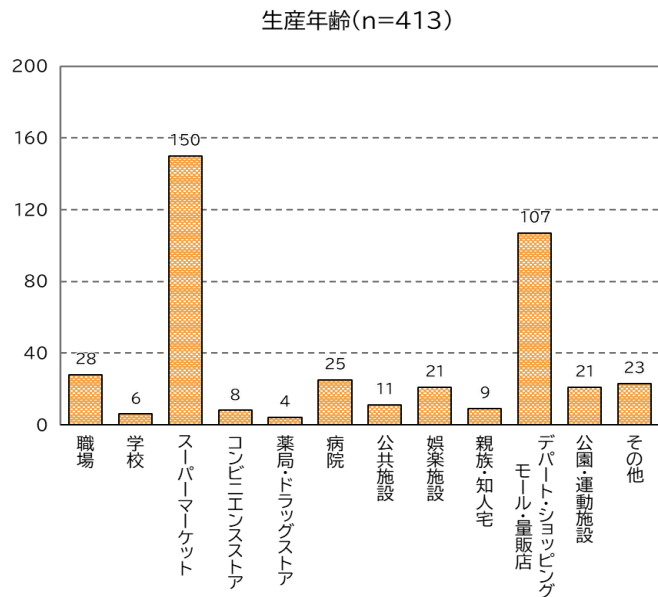
- 2-2-① 2番目によく出かけた目的



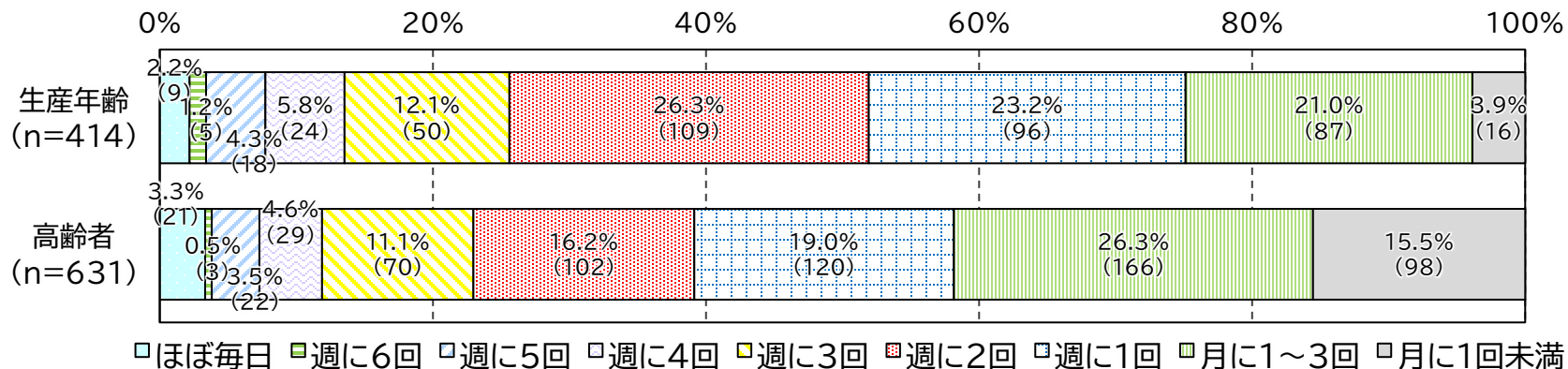
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

・ 2-2-② 【2番目によく出かけた目的】 行先の施設区分



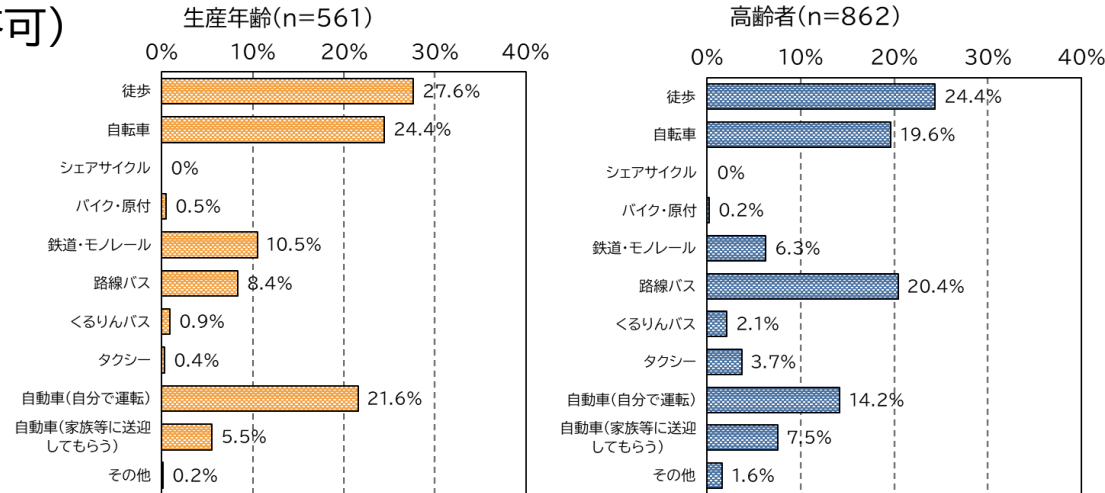
・ 2-2-③ 2番目によく出かけた行き先への頻度



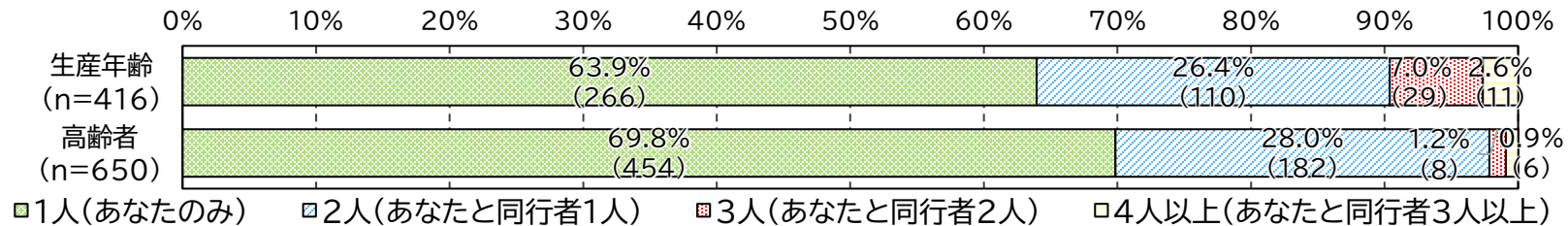
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

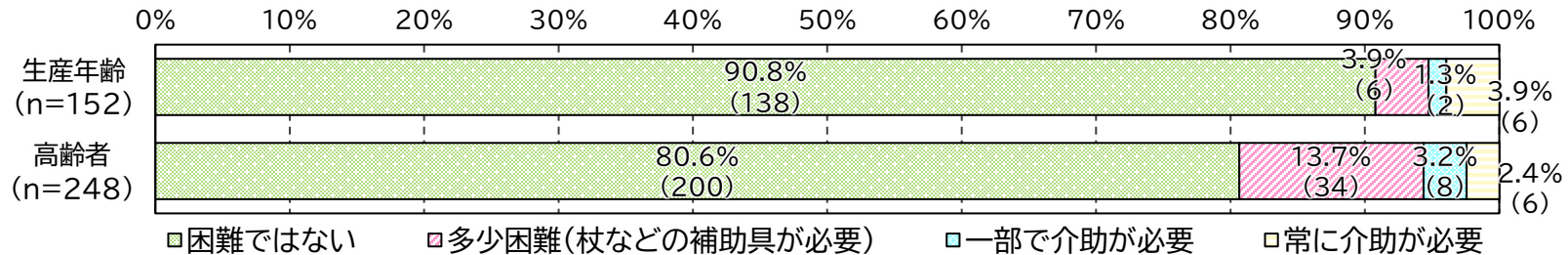
- 2-2-④行き帰りに使う、立川市内での交通手段（2番目によく出かけた行き先）
（複数回答可）



- 2-2-⑧主な外出人数（2番目によく出かけた行き先）



- 2-2-⑩同行者の方の、外出に関する身体的な困難さ（2番目によく出かけた行き先）

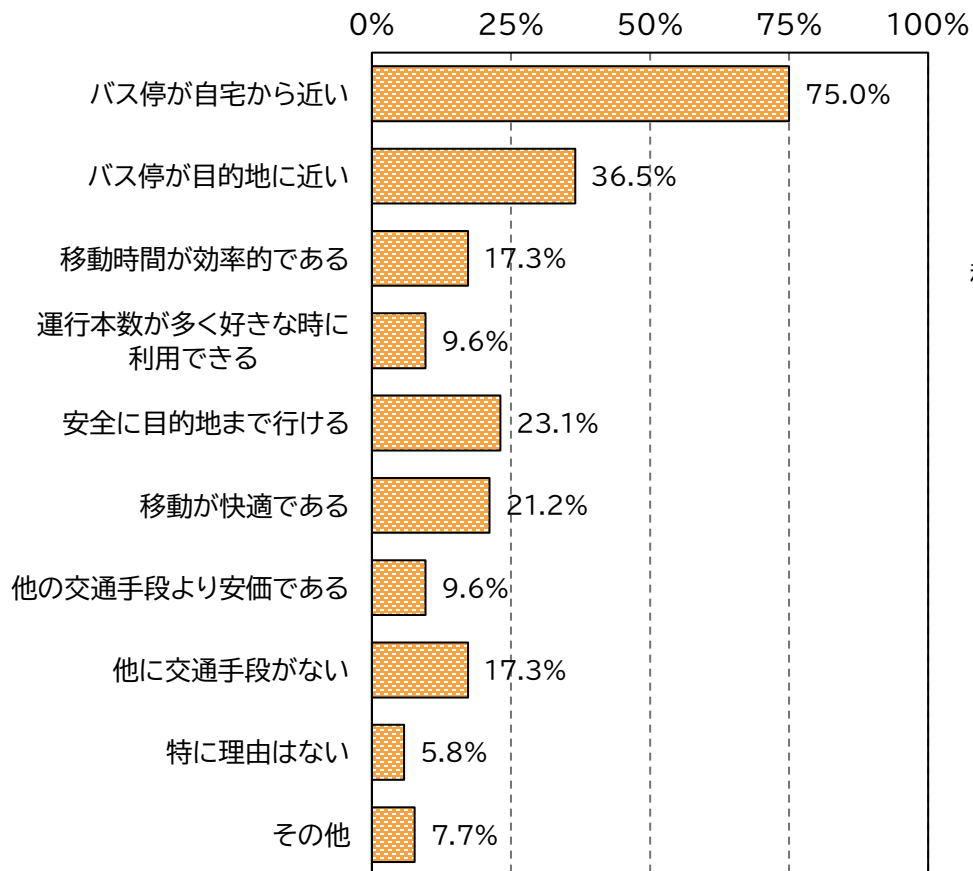


(2)市民アンケート（単純集計結果）

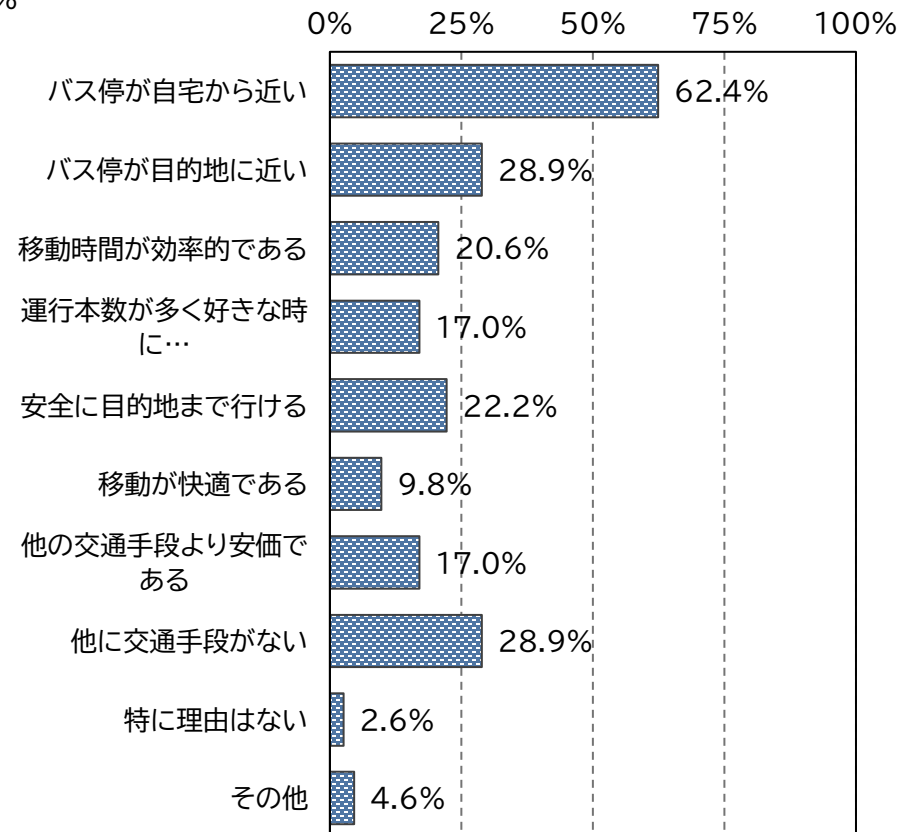
■ 大問2

- 2-2-⑥「6.路線バス」「7.くるりんバス」を選んだ人のうち交通手段としてバスを選択した理由（2番目によく出かけた行き先）（複数回答可）

生産年齢(n=52)



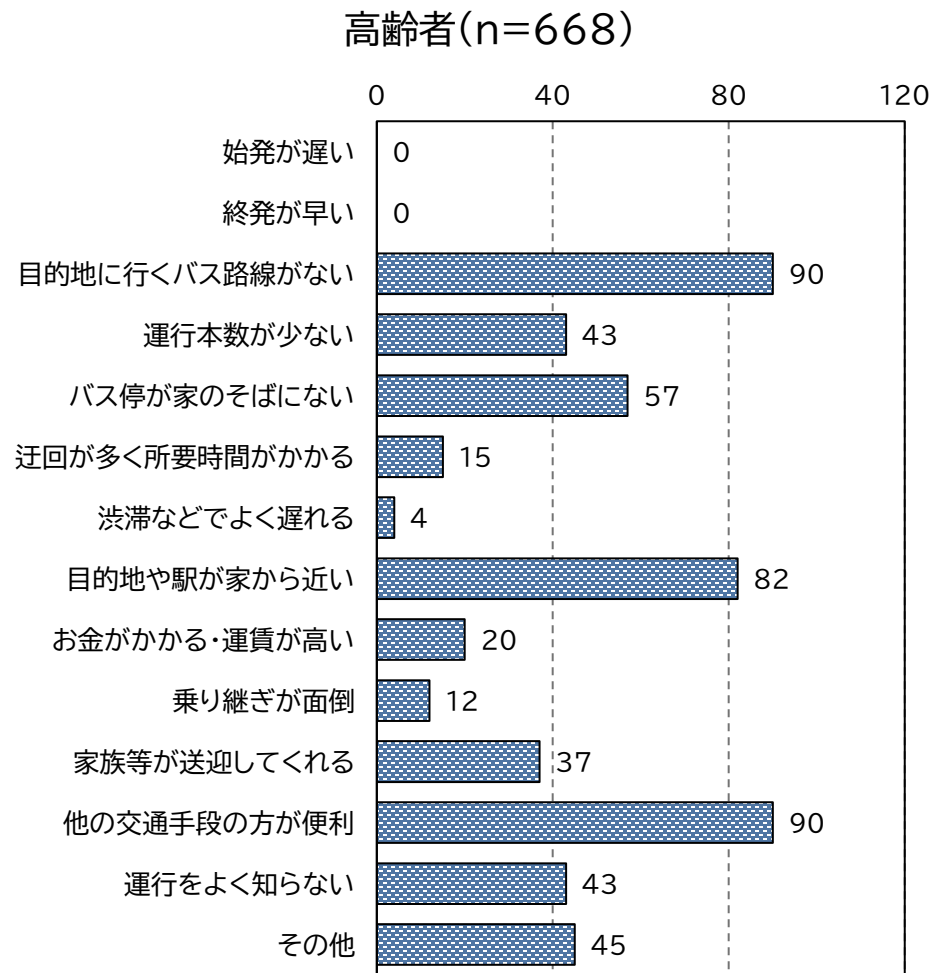
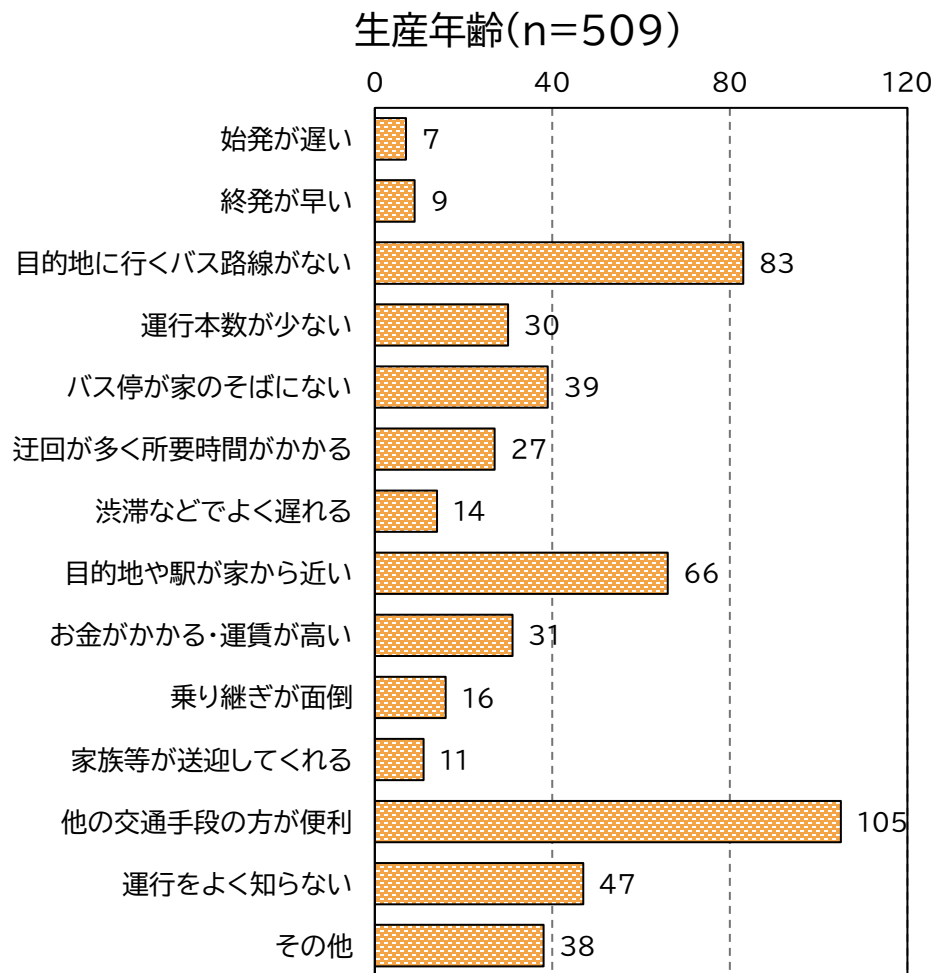
高齢者(n=194)



(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

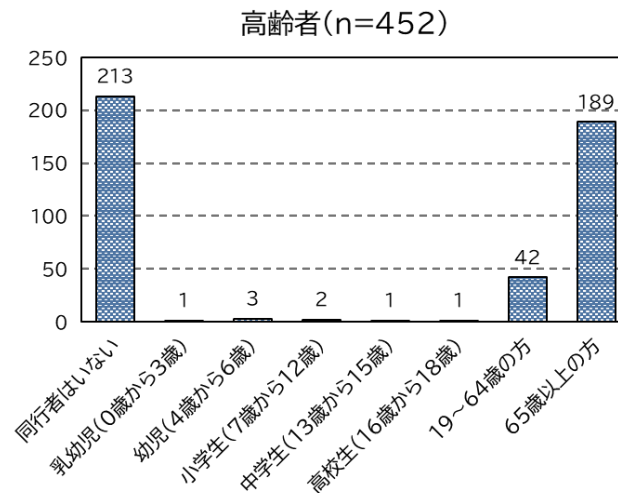
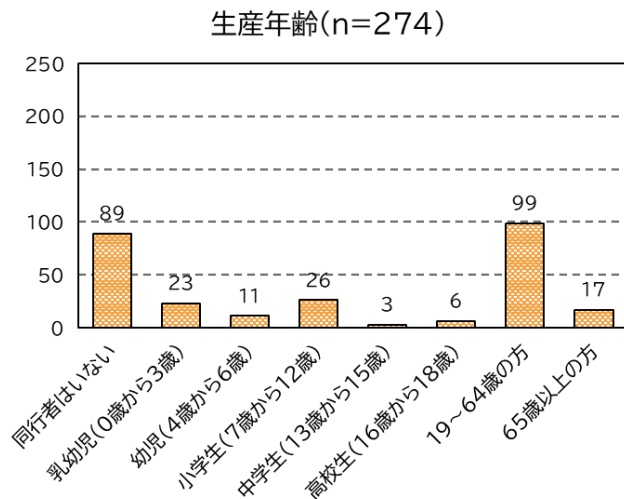
- 2-2-⑦「6.路線バス」「7.くるりんバス」を選ばなかった人のうちバスを利用しなかった理由（2番目によく出かけた行き先）（複数回答可）



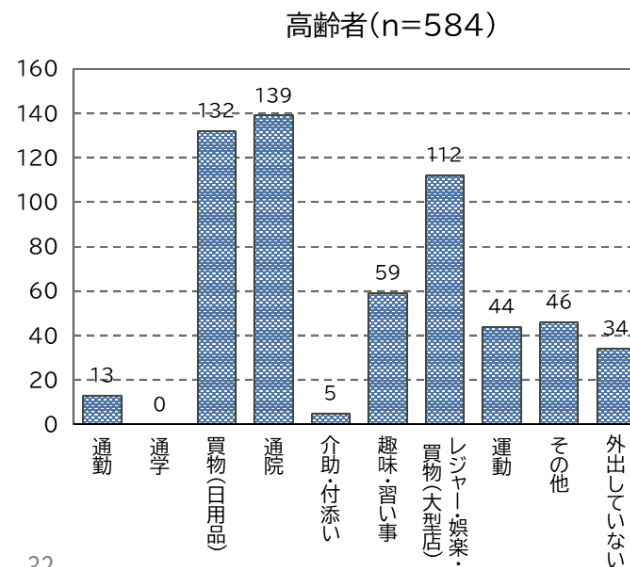
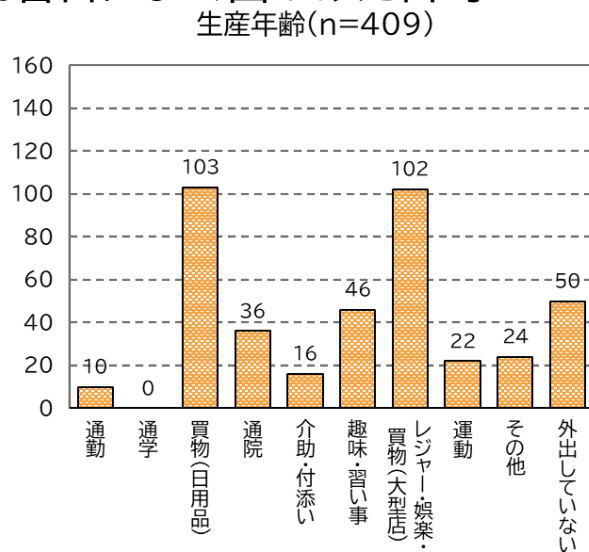
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

- 2-2-⑨同行者の方の年代（2番目によく出かけた行き先）（複数回答可）



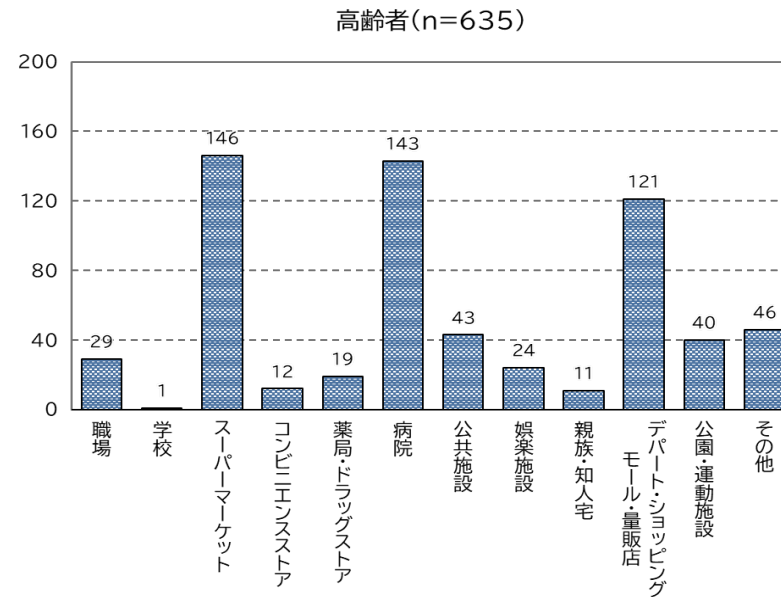
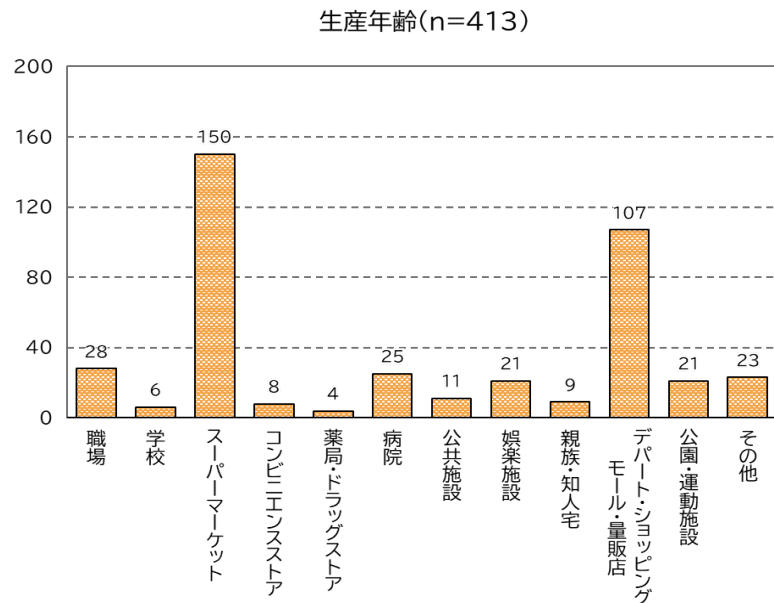
- 2-3-① 3番目によく出かけた目的



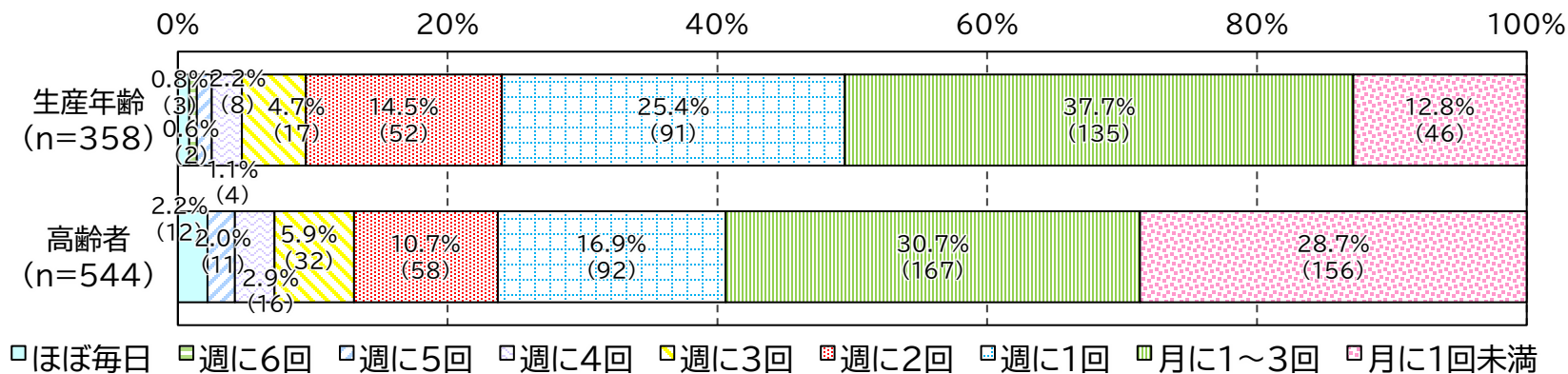
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

- 2-3-② 【3番目によく出かけた目的】 行先の施設区分と施設名



- 2-3-③ 3番目によく出かけた行き先への頻度

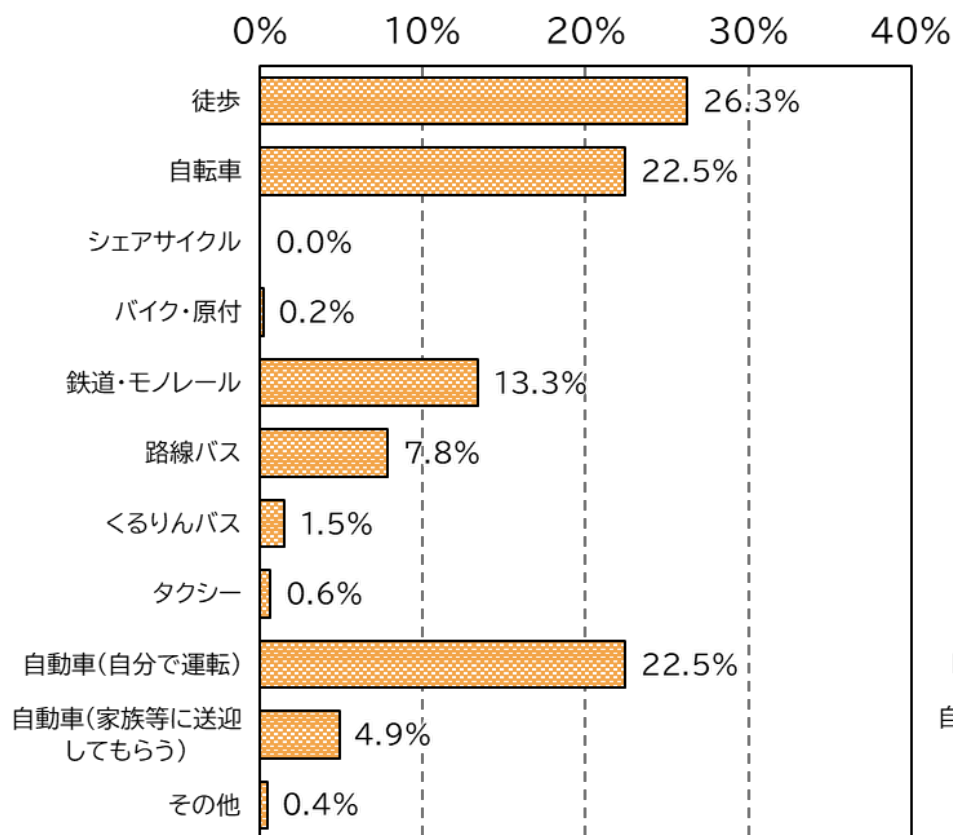


(2)市民アンケート（単純集計結果）

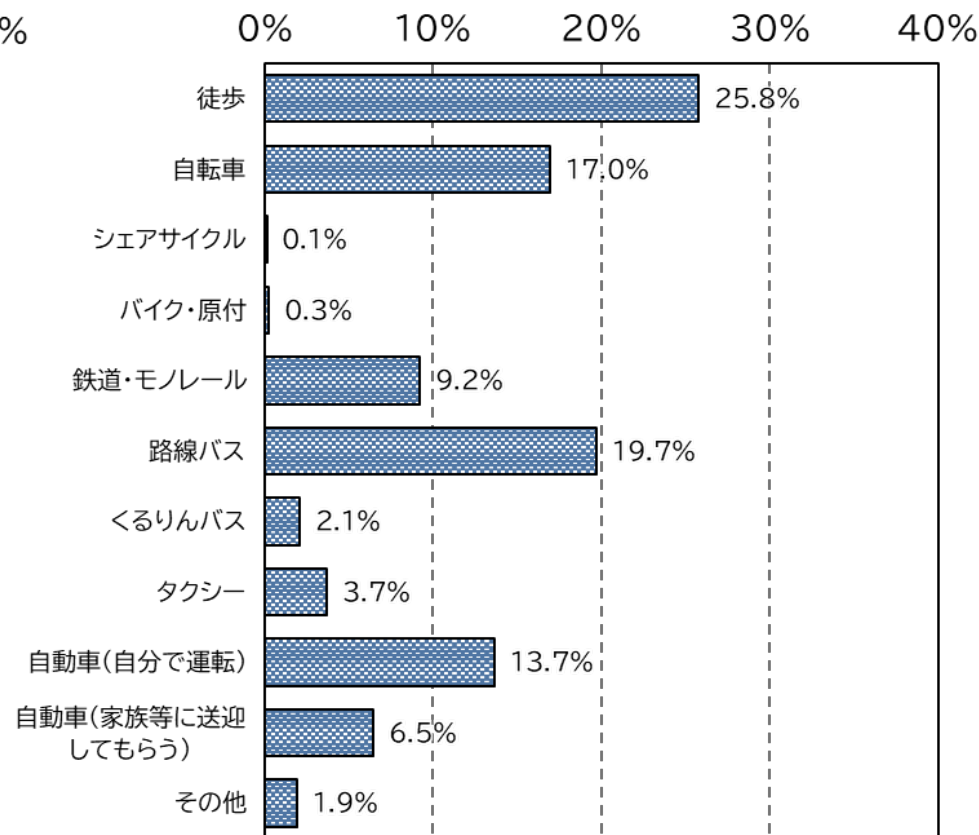
■ 大問2

- 2-3-④行き帰りに使う、立川市内での交通手段（3番目によく出かけた行き先）
（複数回答可）

生産年齢(n=472)



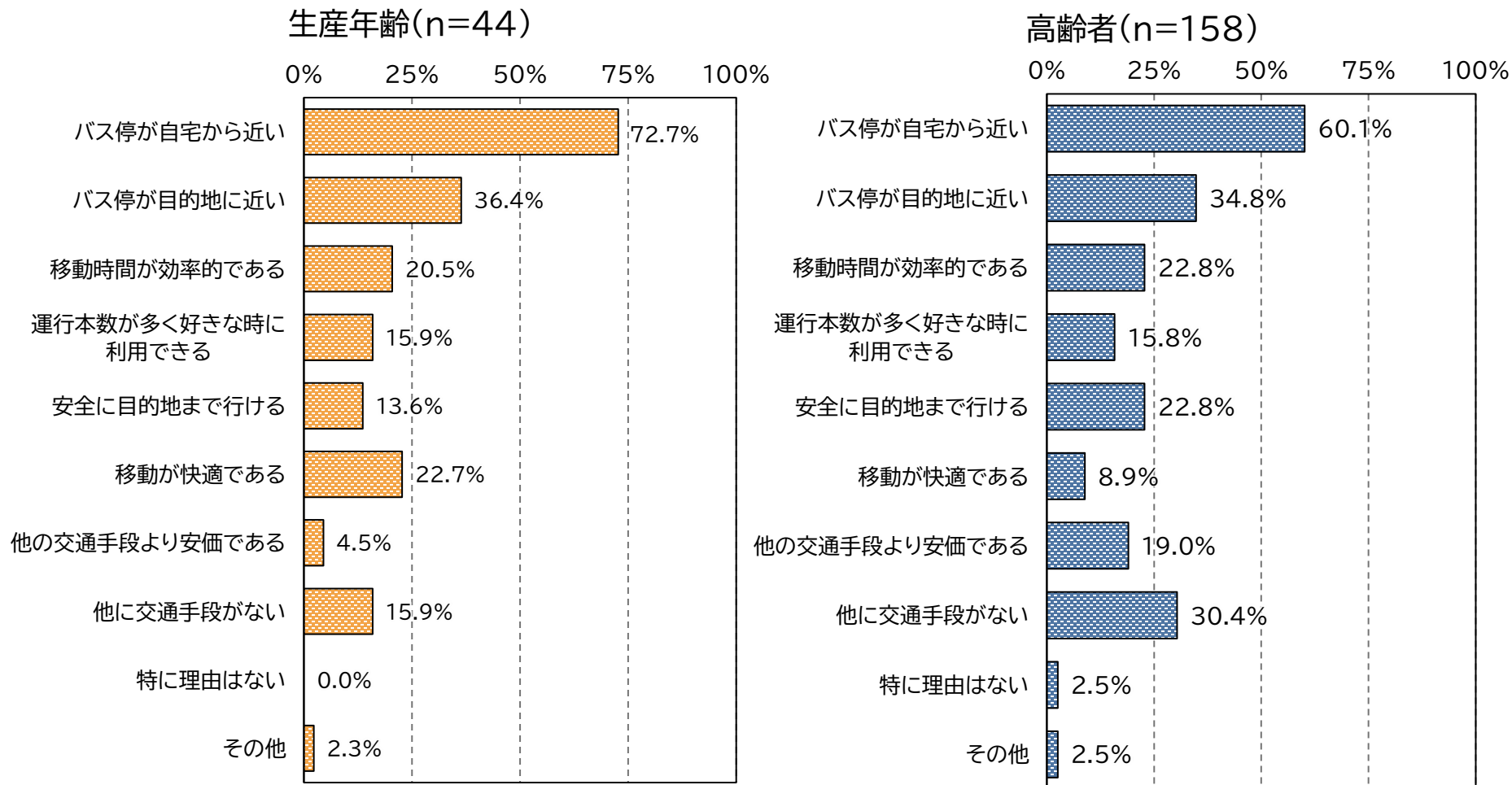
高齢者(n=725)



(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

- 2-3-⑥「6.路線バス」「7.くるりんバス」を選んだ人のうち交通手段としてバスを選択した理由（3番目によく出かけた行き先）（複数回答可）

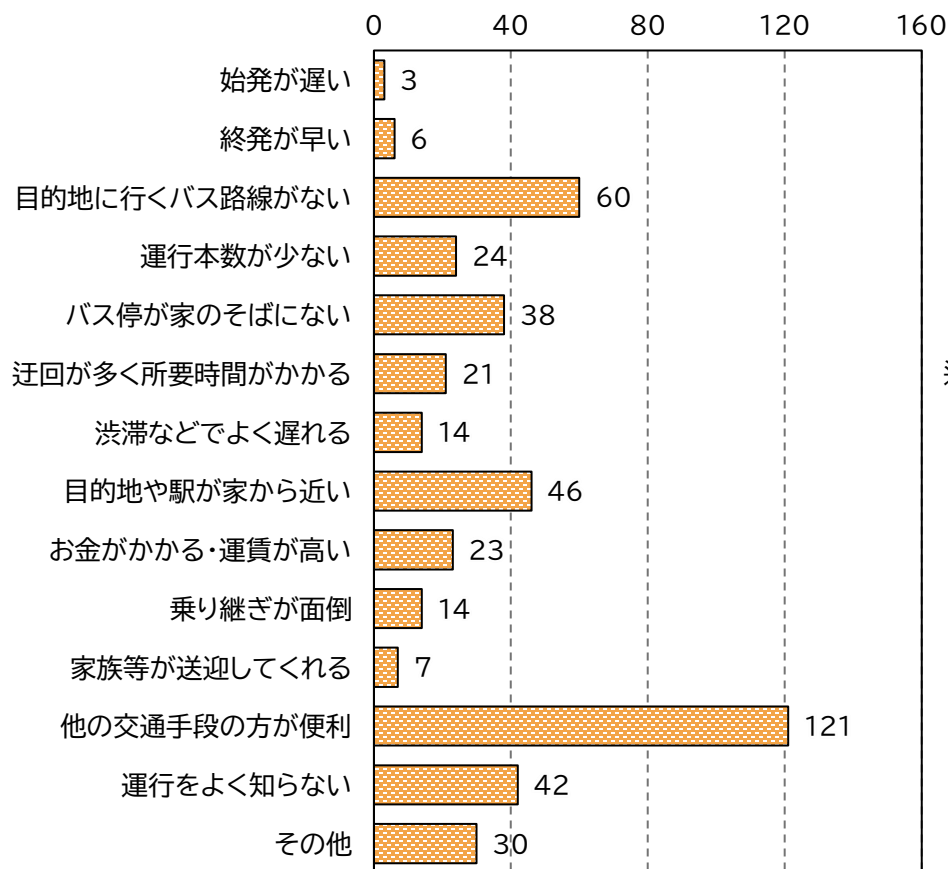


(2)市民アンケート（単純集計結果）

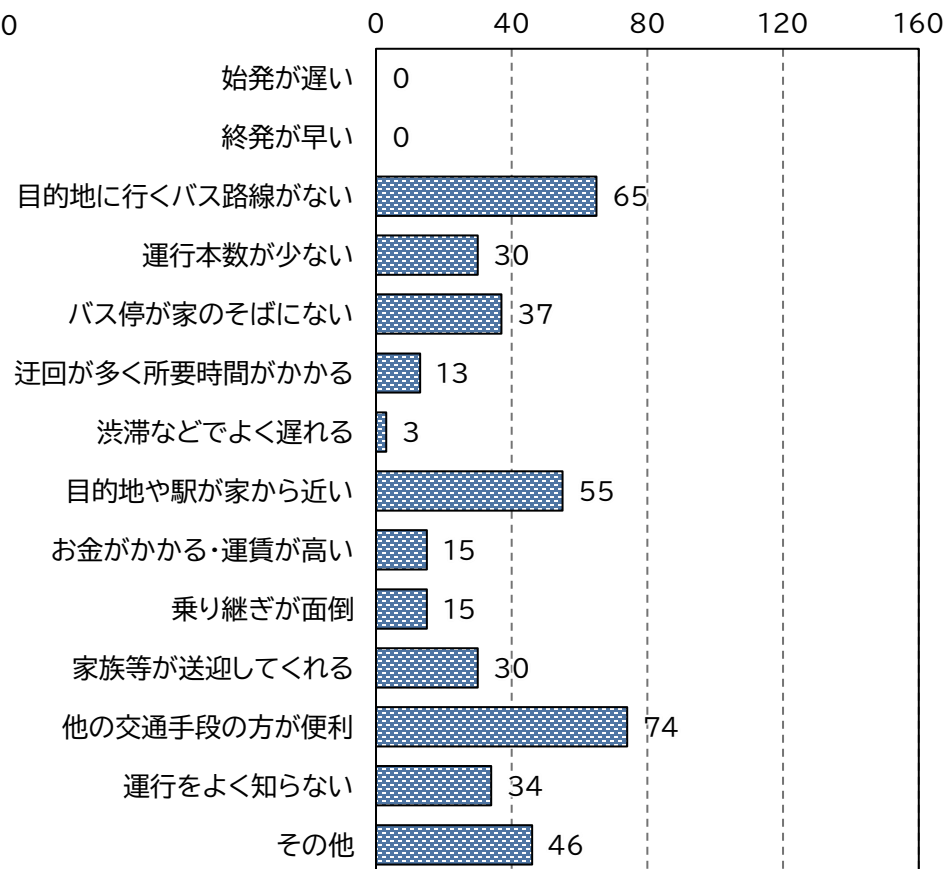
■ 大問2

- 2-3-⑦「6.路線バス」「7.くるりんバス」を選ばなかった人のうちバスを利用しなかった理由（3番目によく出かけた行き先）（複数回答可）

生産年齢(n=428)



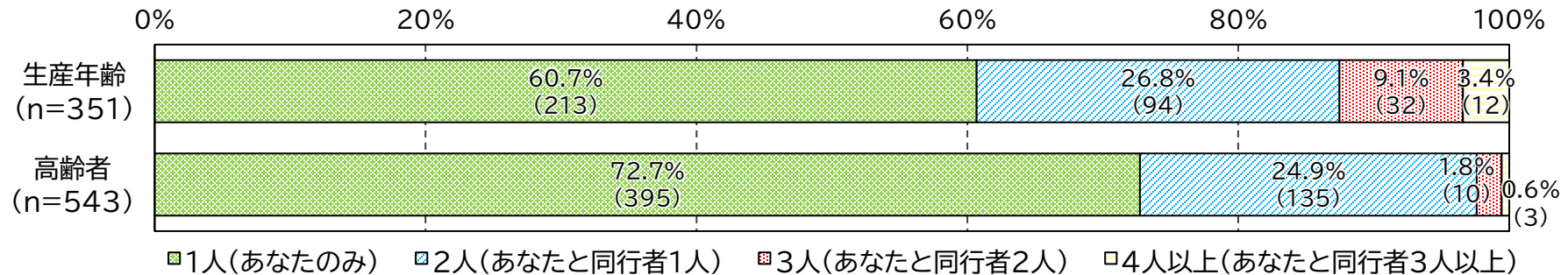
高齢者(n=567)



(2)市民アンケート（単純集計結果）

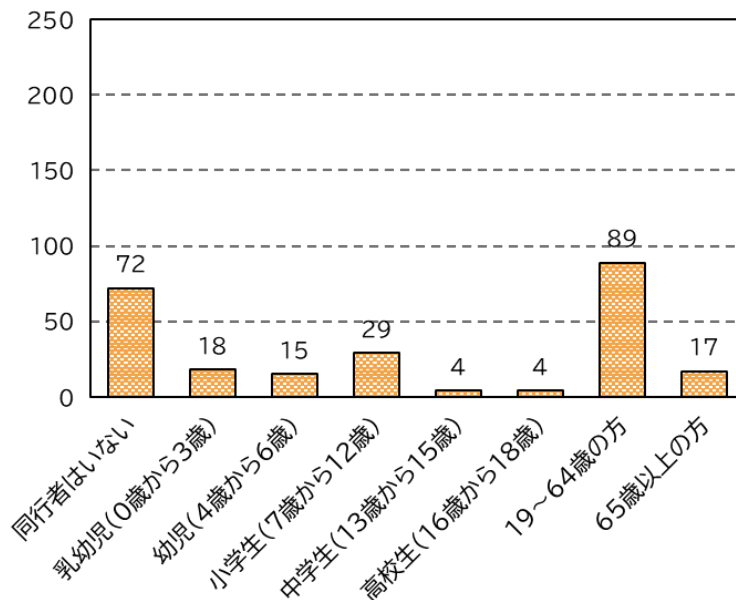
■ 大問2

- 2-3-⑧主な外出人数（3番目によく出かけた行き先）

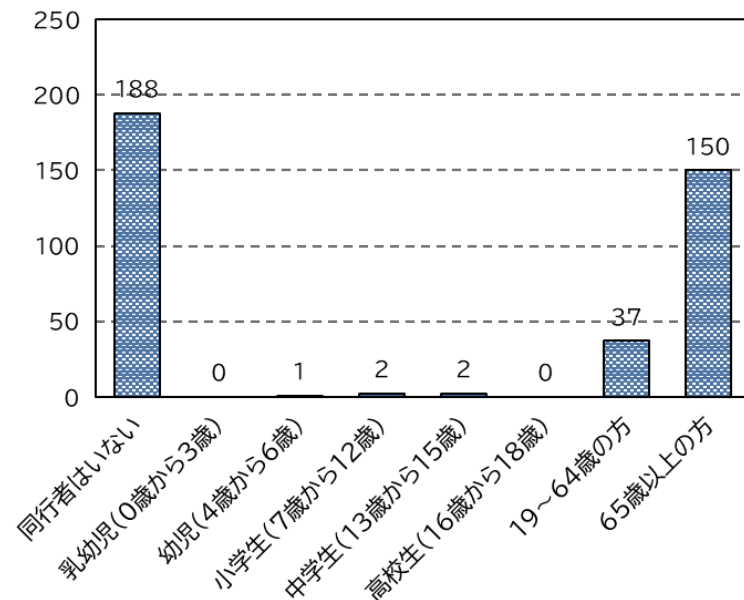


- 2-3-⑨同行者の方の年代（3番目によく出かけた行き先）（複数回答可）

生産年齢(n=248)



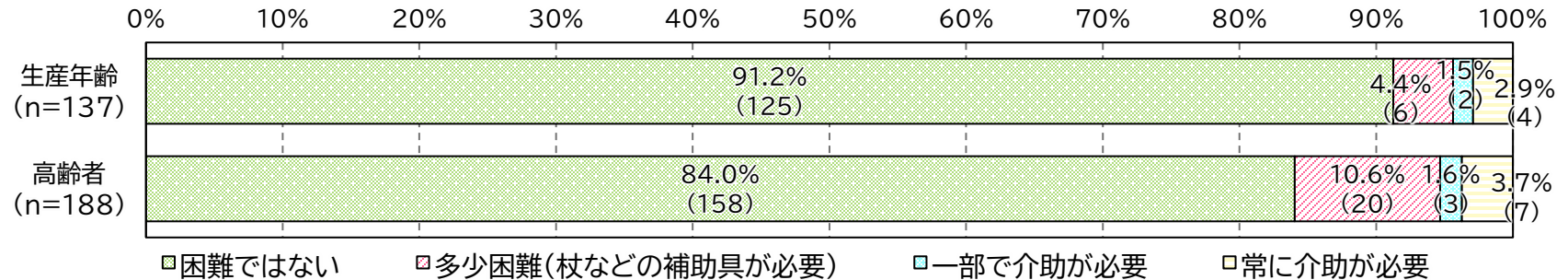
高齢者(n=380)



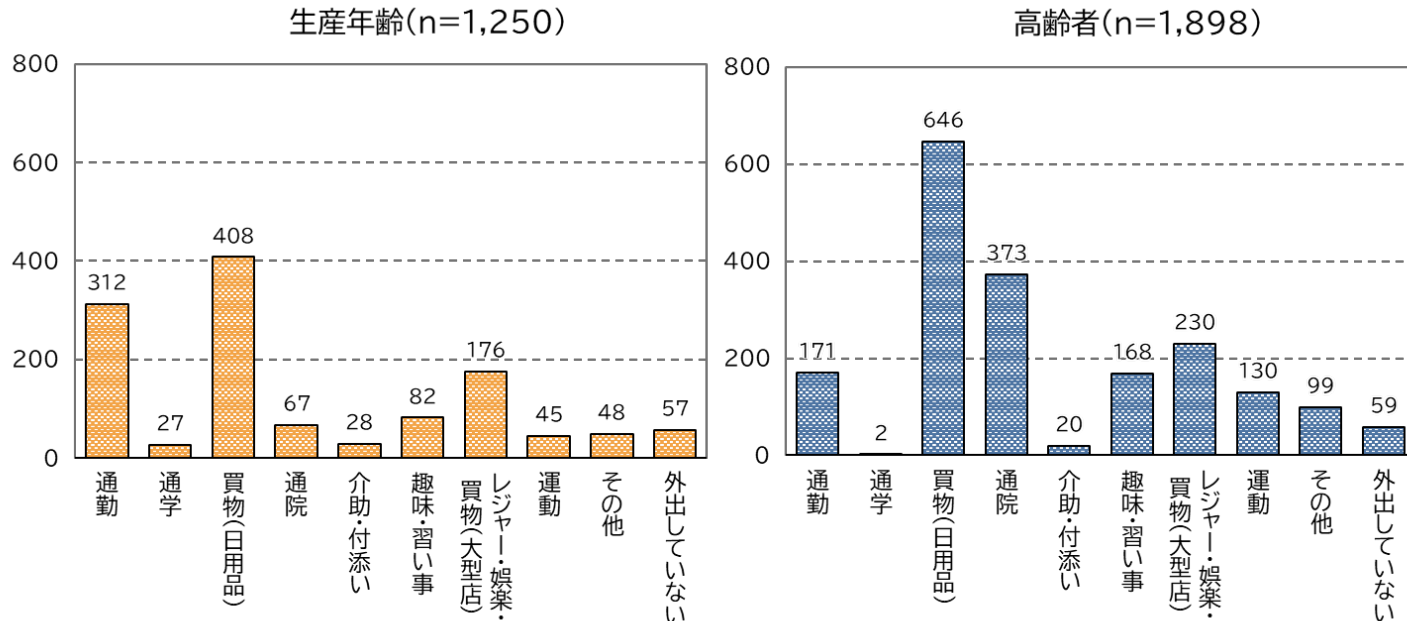
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

- 2-3-⑩同行者の方の、外出に関する身体的な困難さ（3番目によく出かけた行き先）



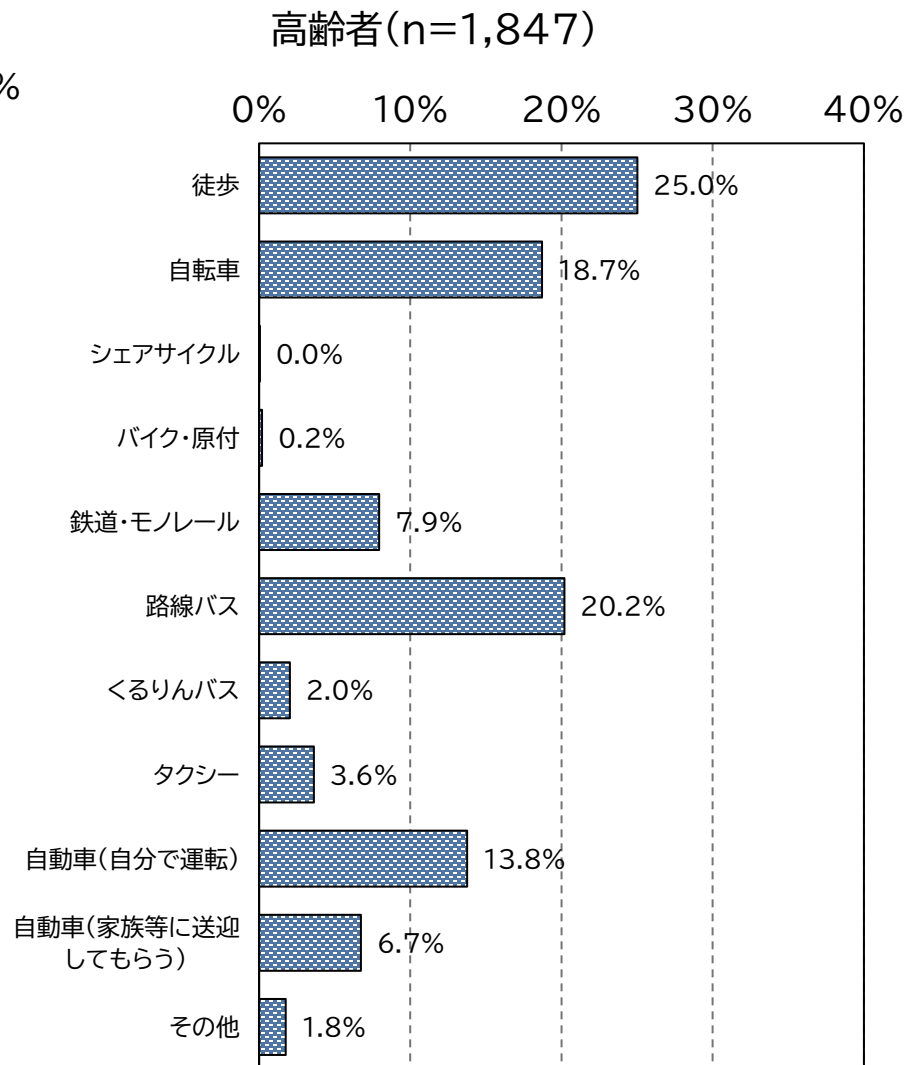
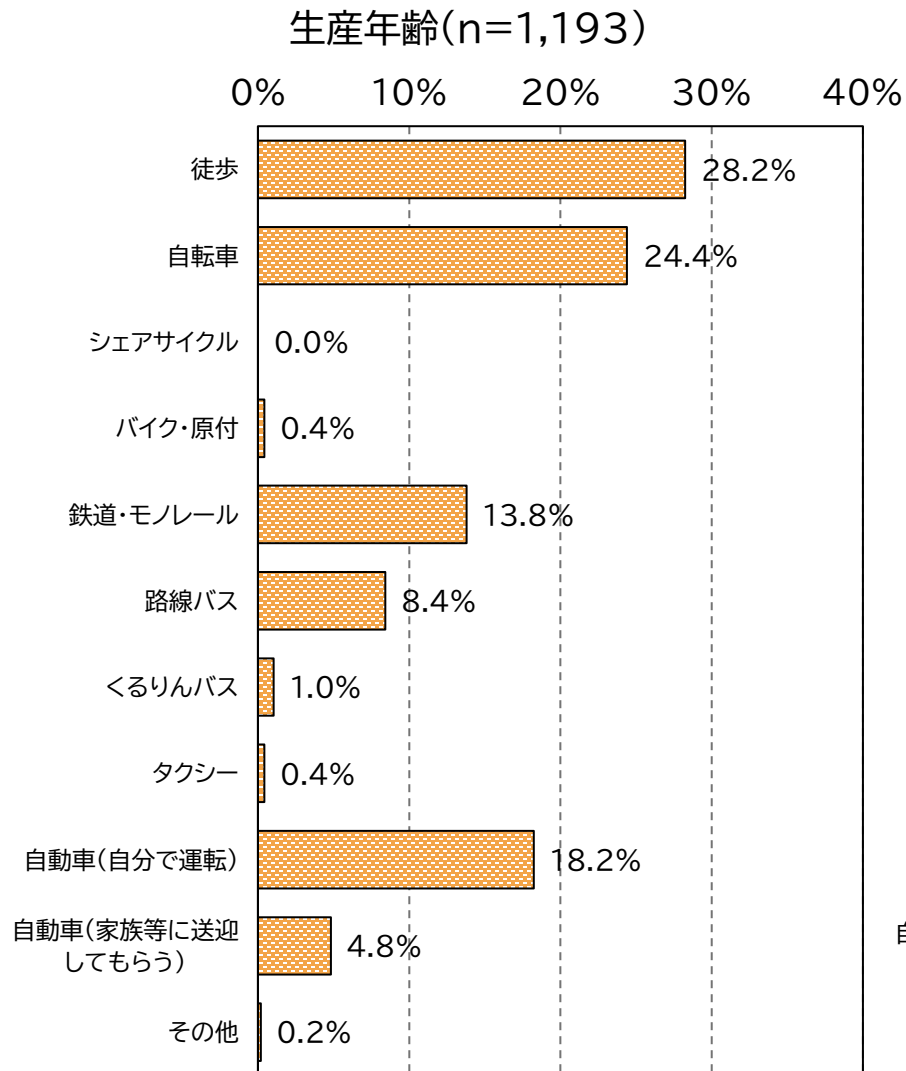
- 参考：1～3番目によく出かけた目的（1～3番目合算）



(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問2

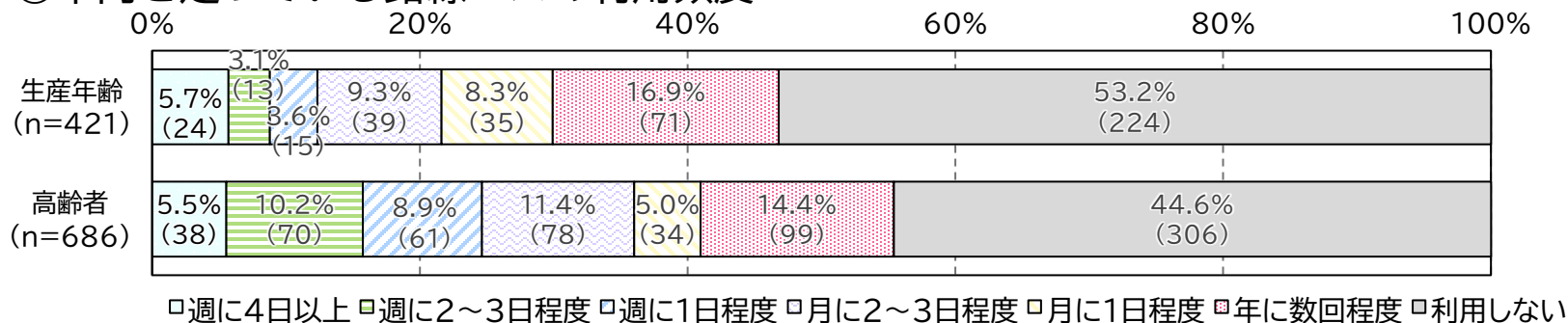
- 参考：行き帰りに使う、立川市内での交通手段（1～3番目合算）



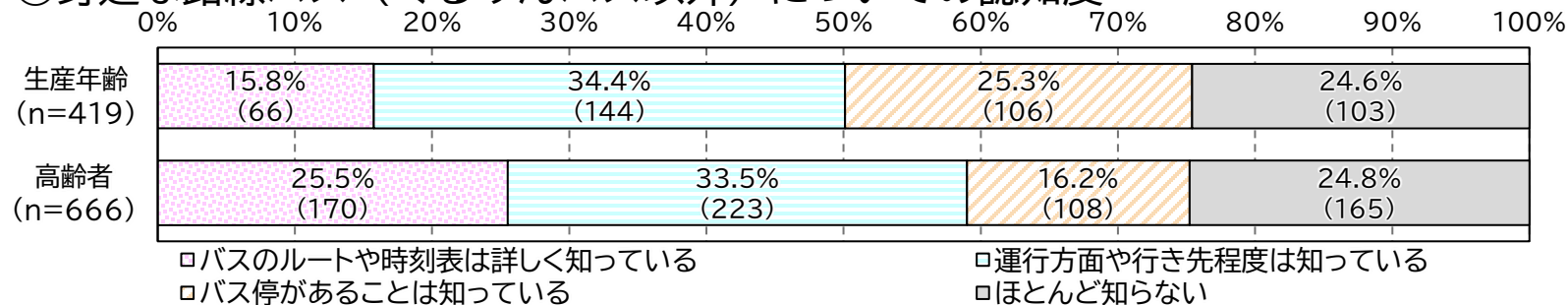
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問3

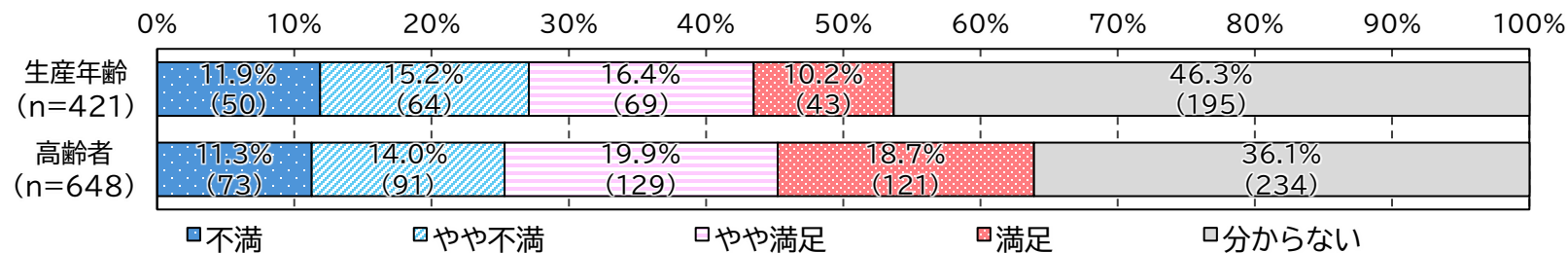
①市内を走っている路線バスの利用頻度



②身近な路線バス（くるりんバス以外）についての認知度



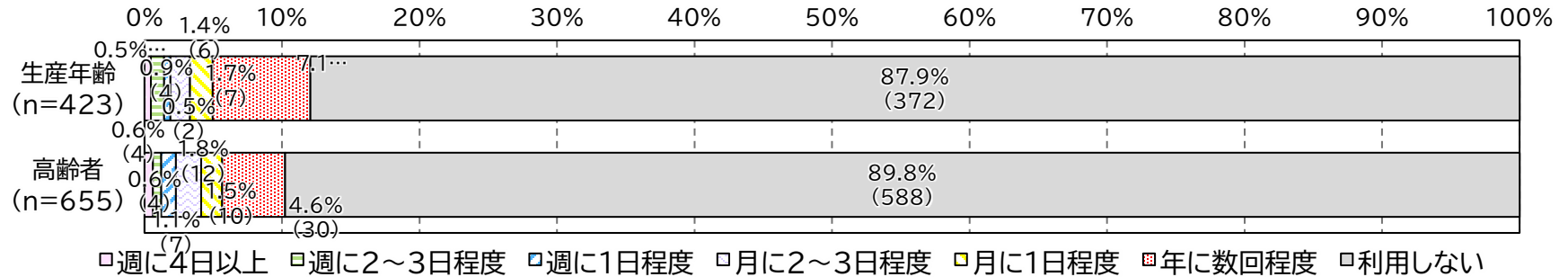
③身近な路線バス（くるりんバス以外）についての総合的な満足度



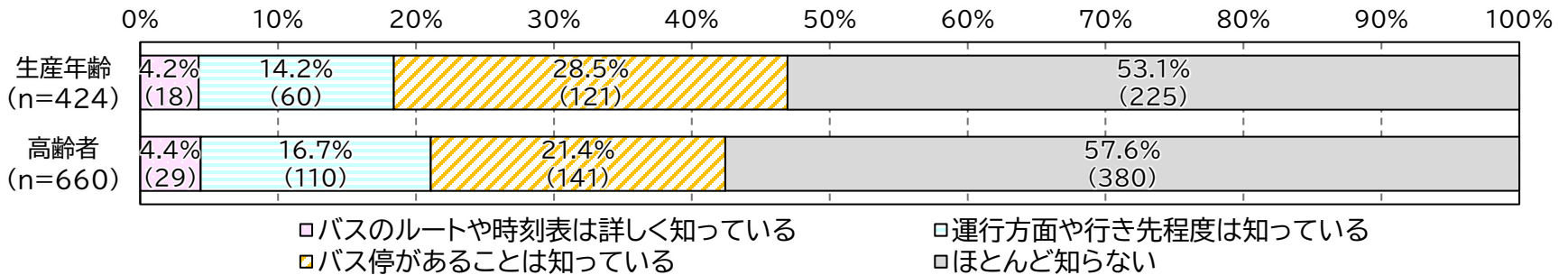
(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問3

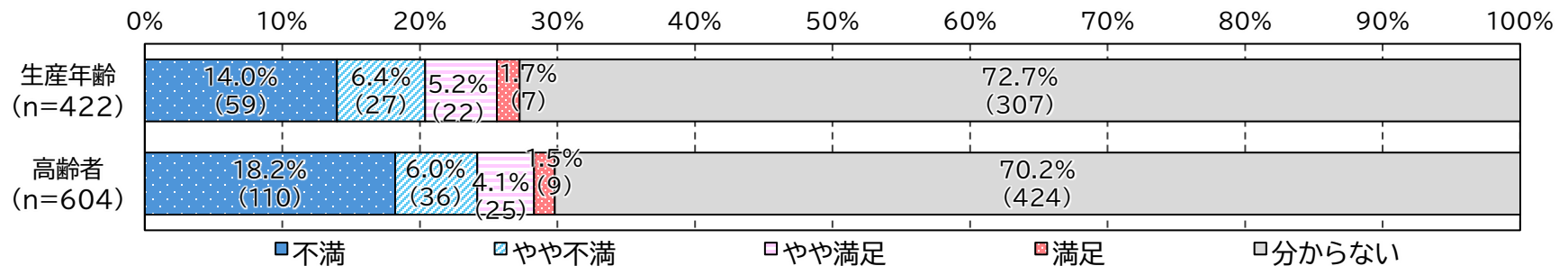
④くるりんバスの利用頻度



⑤くるりんバスについての認知度



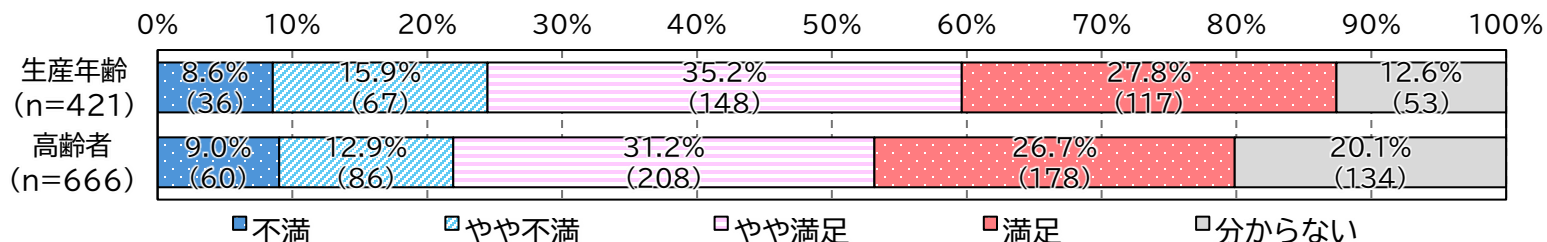
⑥くるりんバスについての総合的な満足度



(2)市民アンケート（単純集計結果）

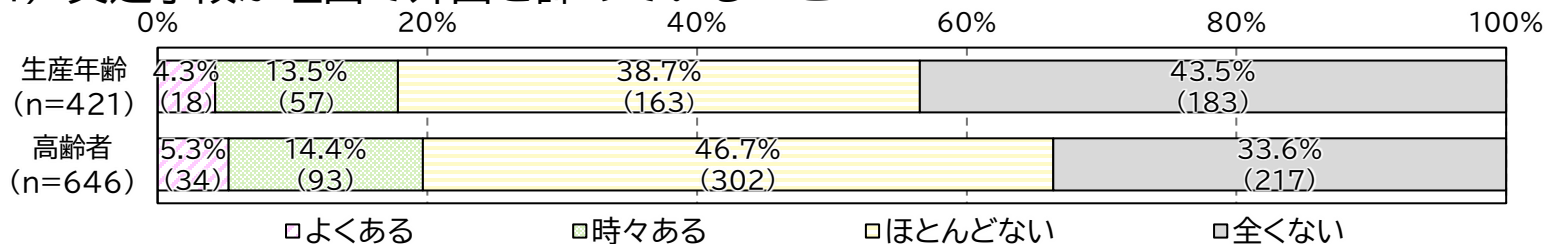
■ 大問3

- ⑦立川市内の公共交通についての総合的な満足度

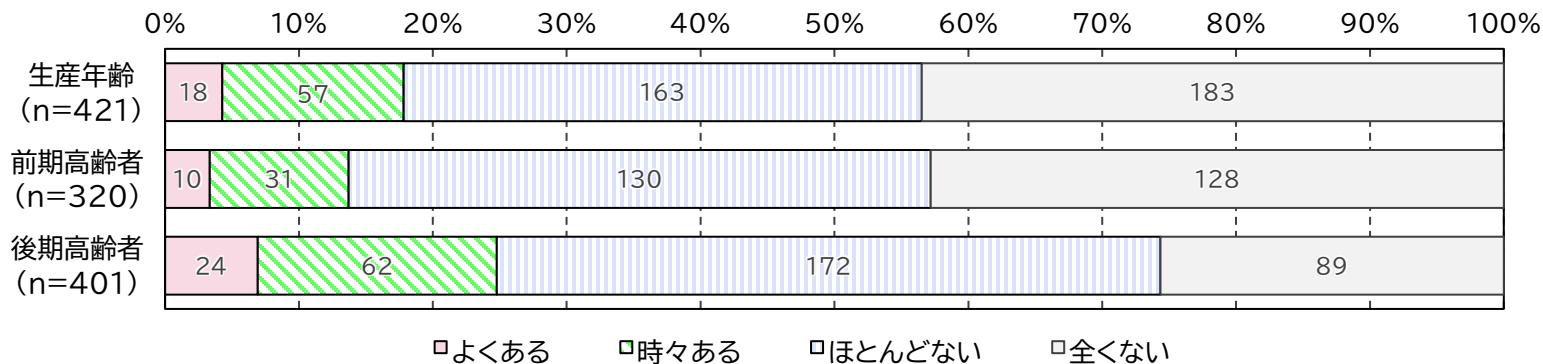


■ 大問4

- ①-1) 交通手段が理由で外出を諦めていること



- 年齢（3区分）×交通手段が理由で外出をあきらめた有無（クロス集計）

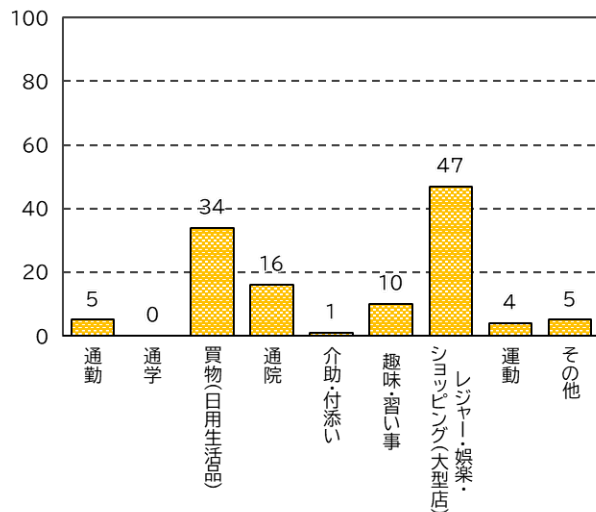


(2)市民アンケート（単純集計結果）

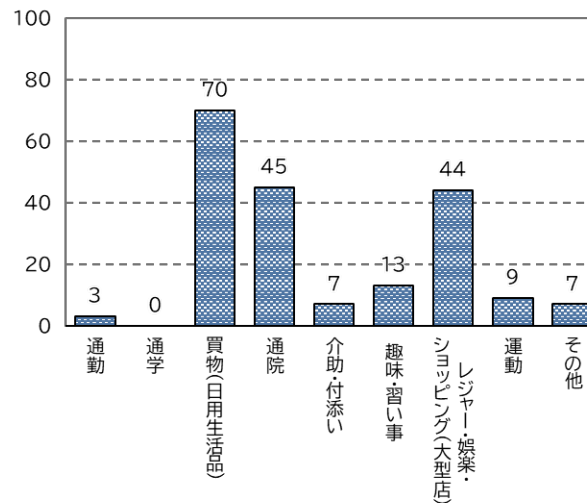
■ 大問4

- ①-2) あきらめている場合、諦めた外出の目的（複数回答可）

生産年齢(n=122)

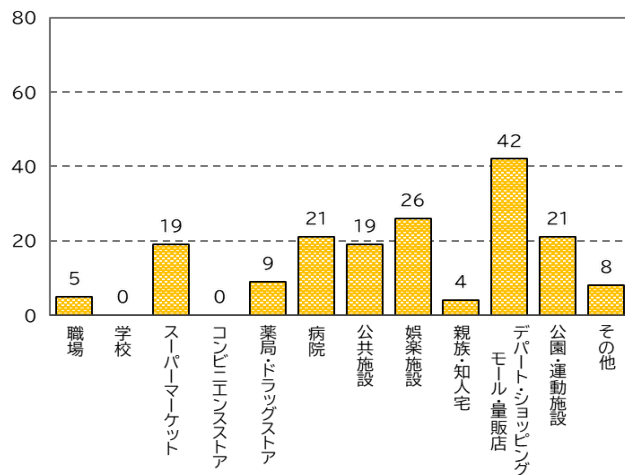


高齢者(n=198)

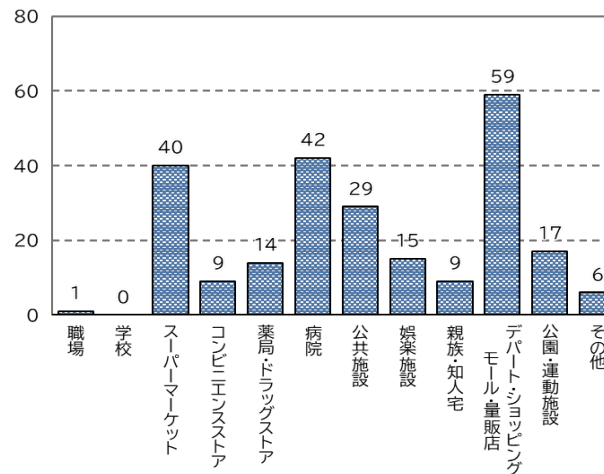


- ①-3) 本当は行きたい外出先（複数回答可）

生産年齢(n=174)



高齢者(n=241)

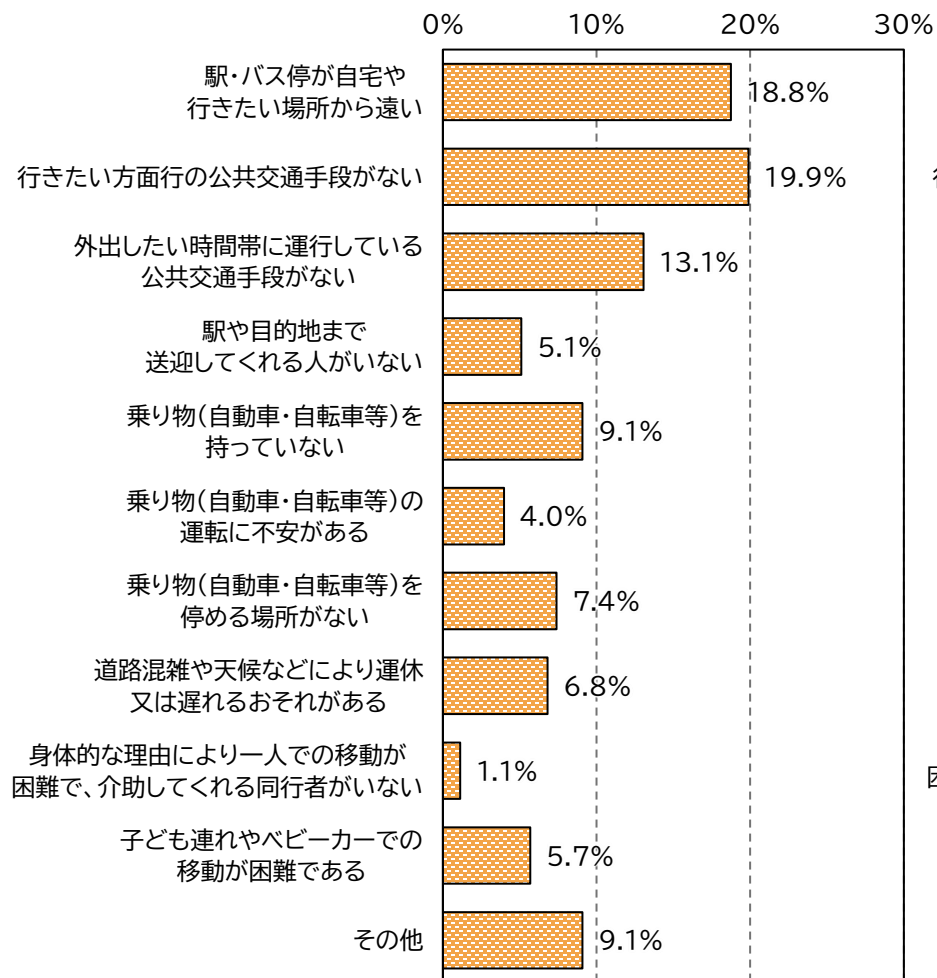


(2)市民アンケート（単純集計結果）

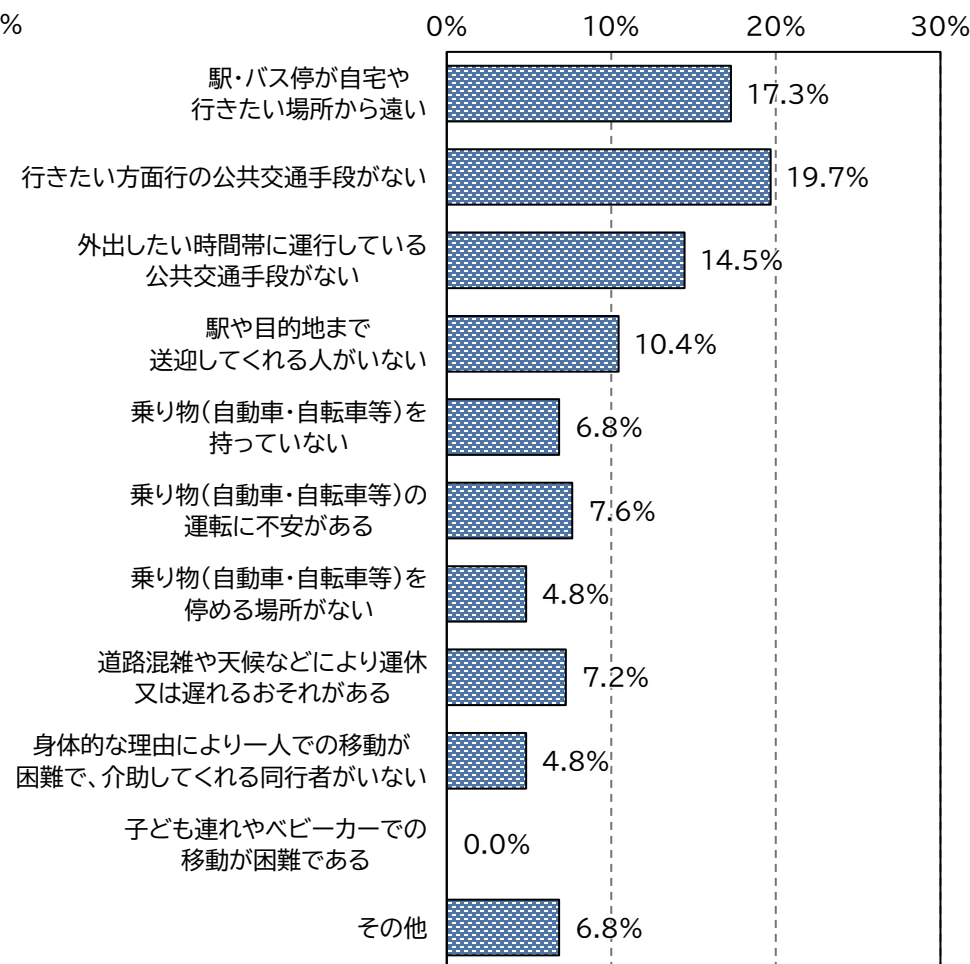
■ 大問4

- ①-4) 外出をあきらめている詳しい理由（複数回答可）

生産年齢(n=176)



高齢者(n=249)

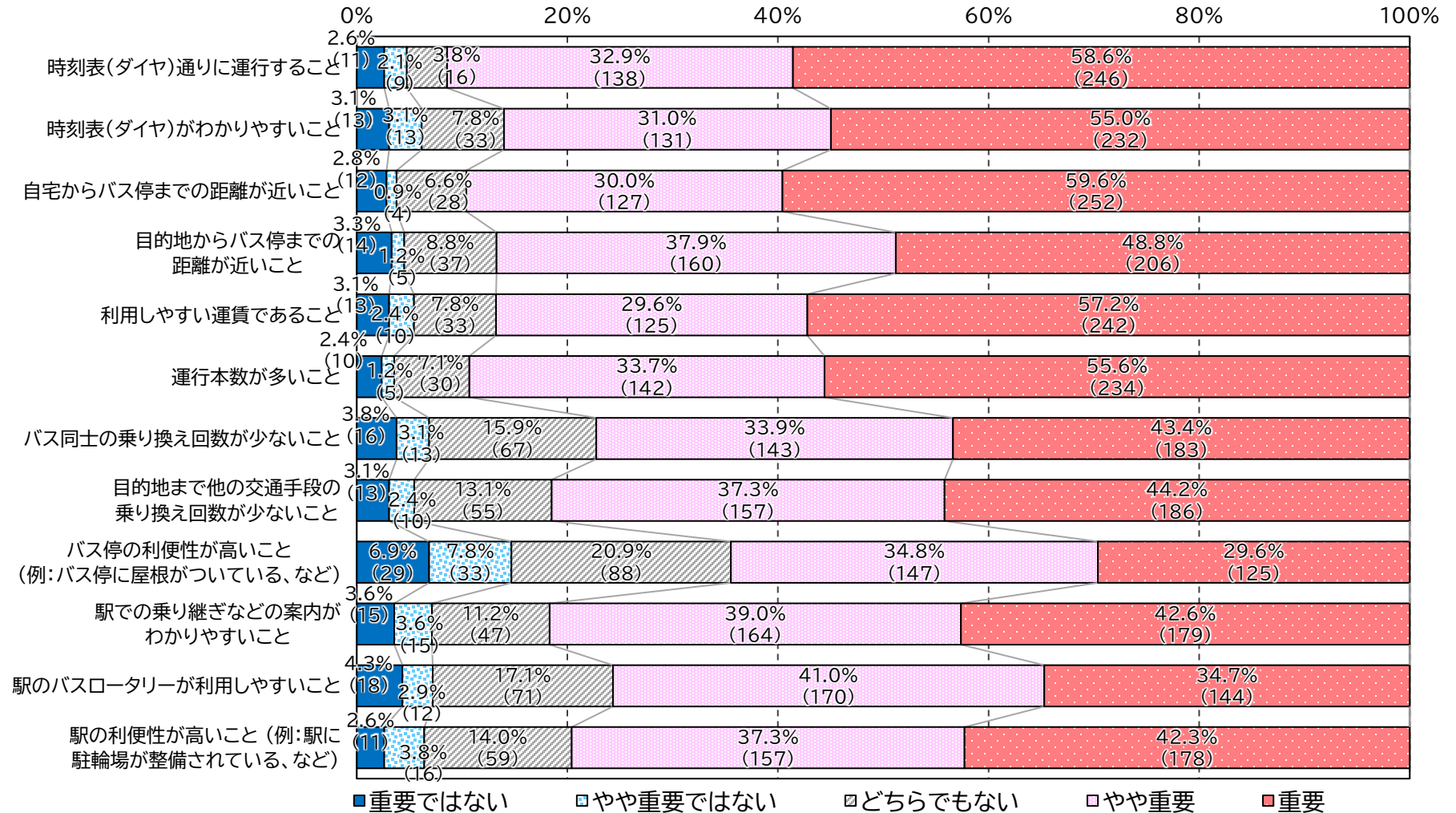


(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問4

- ③立川市内でバスや駅を利用するにあたり、各項目の重要度

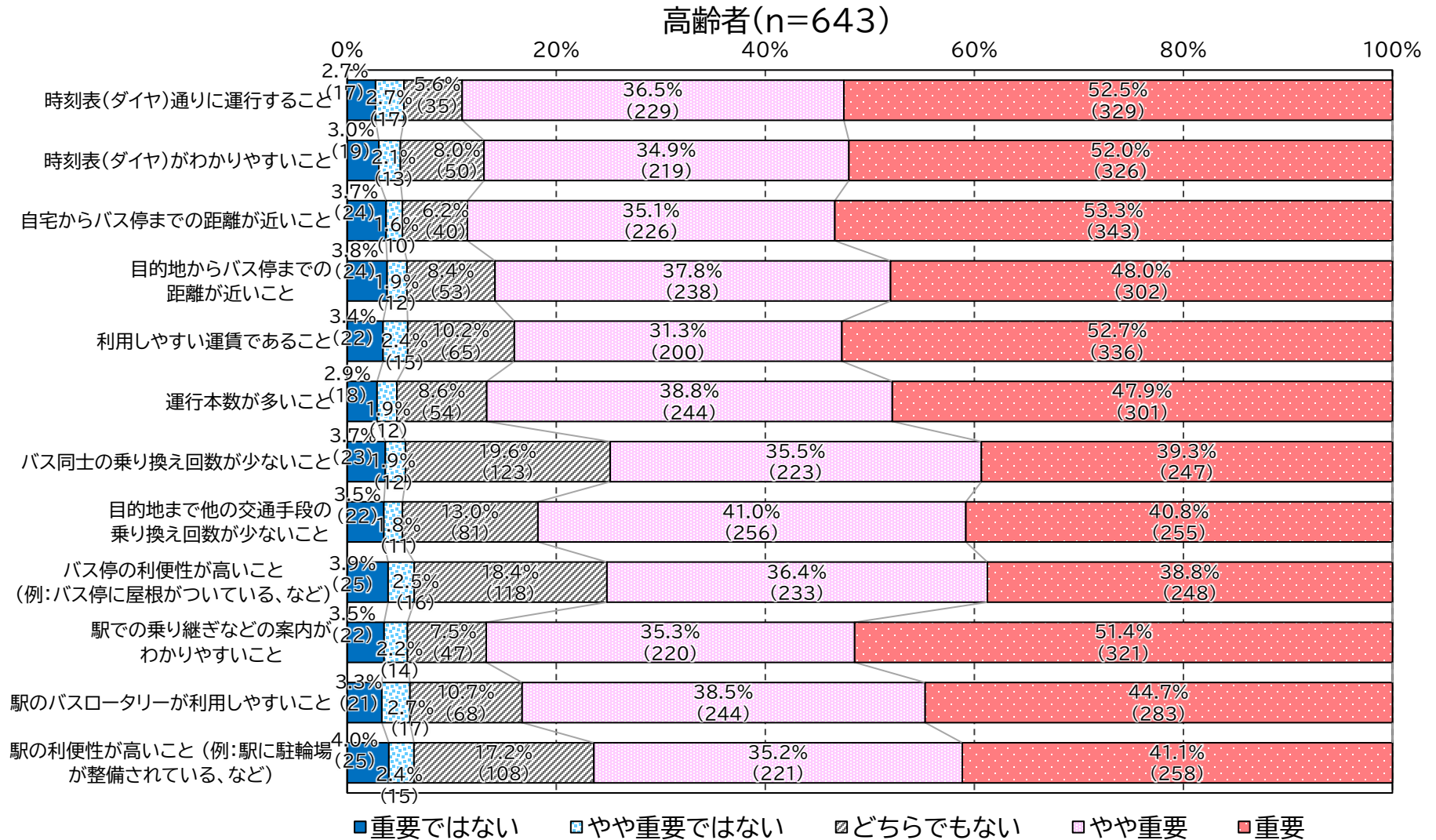
生産年齢(n=423)



(2)市民アンケート（単純集計結果）

■ 大問4

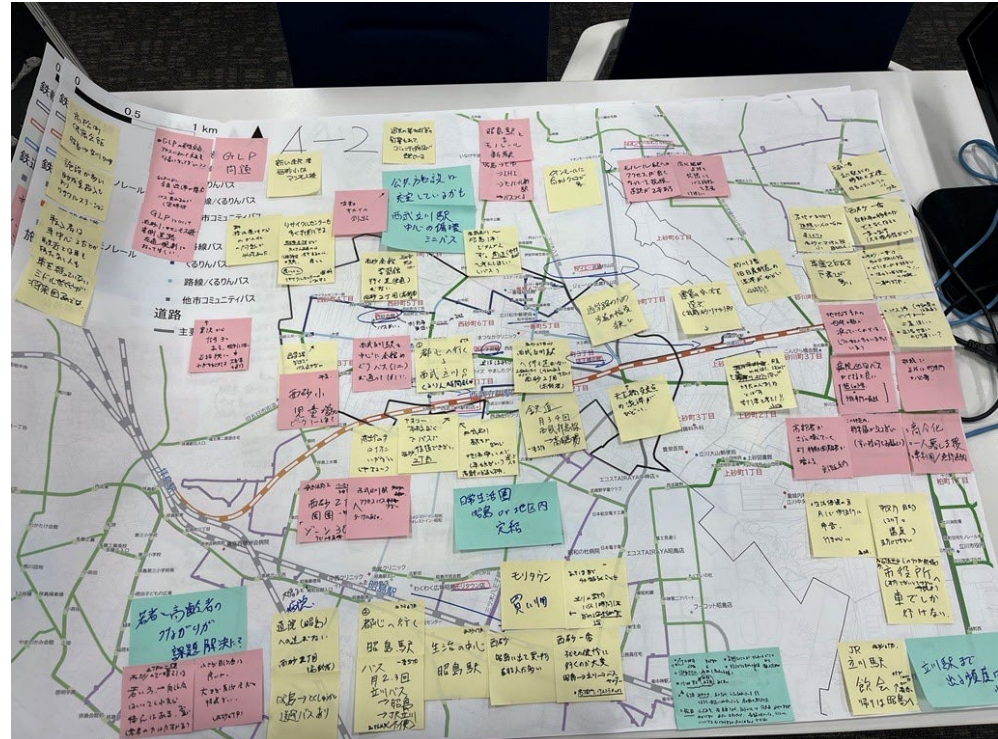
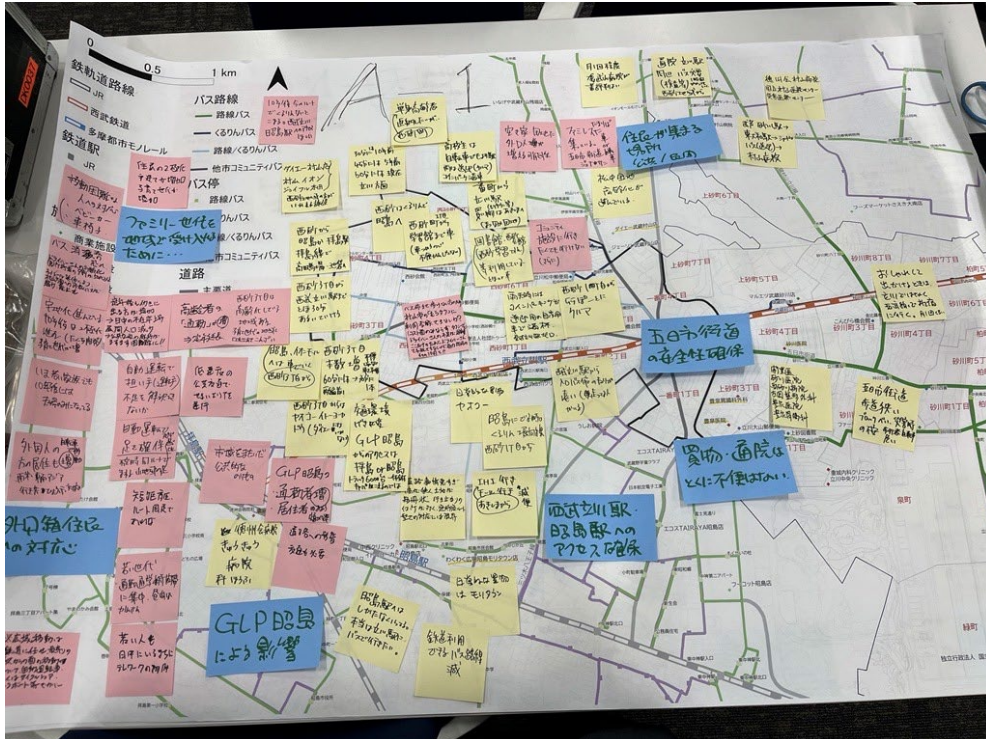
- ③立川市内でバスや駅を利用するにあたり、各項目の重要度



(3)ワークショップ いただいたご意見

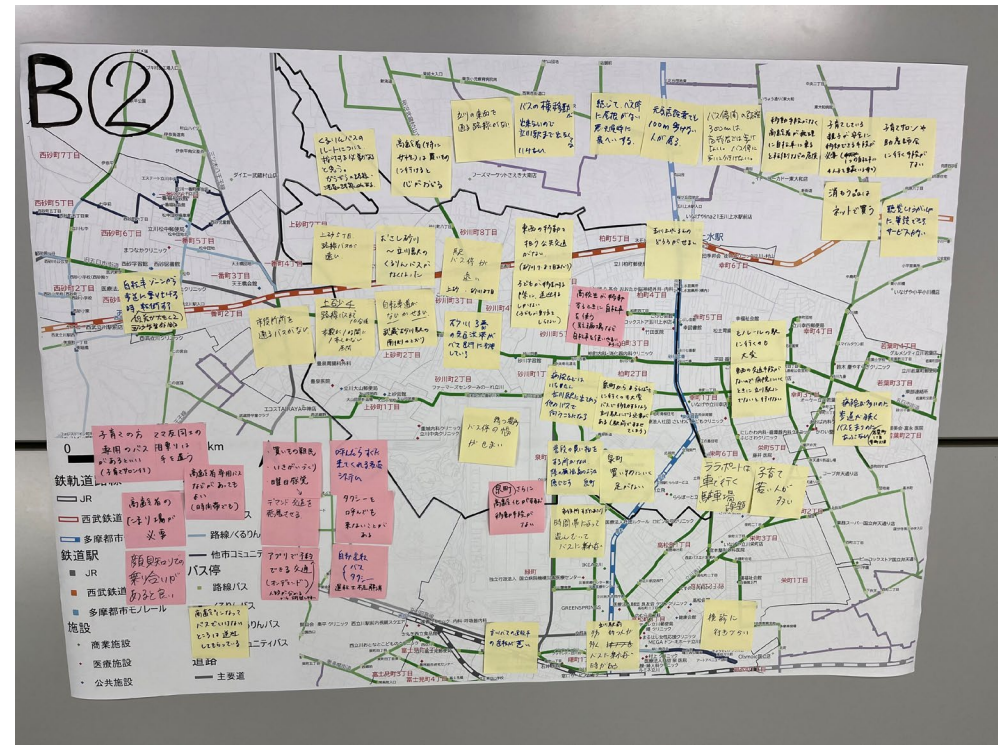
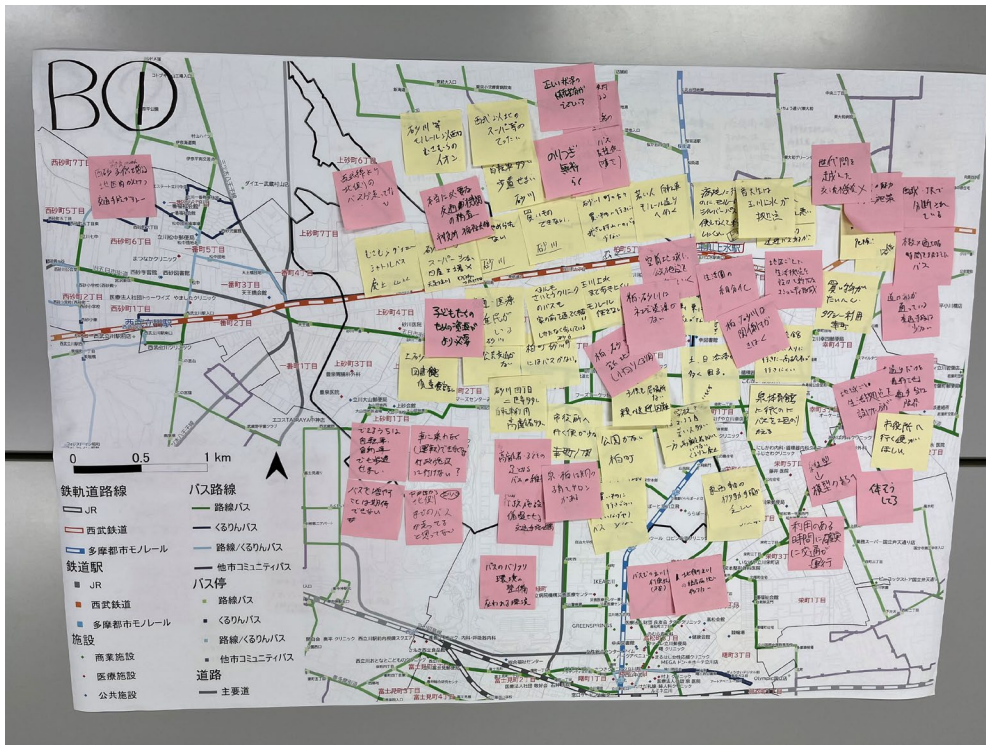
- 公共交通ワークショップにおいて、意見を取りまとめるために作成した模造紙を以下に掲載する。貼られている付箋の一つ一つに、ご参加いただいた市民の方の意見が記載されている。

■ワークショップ 第1回 A地域



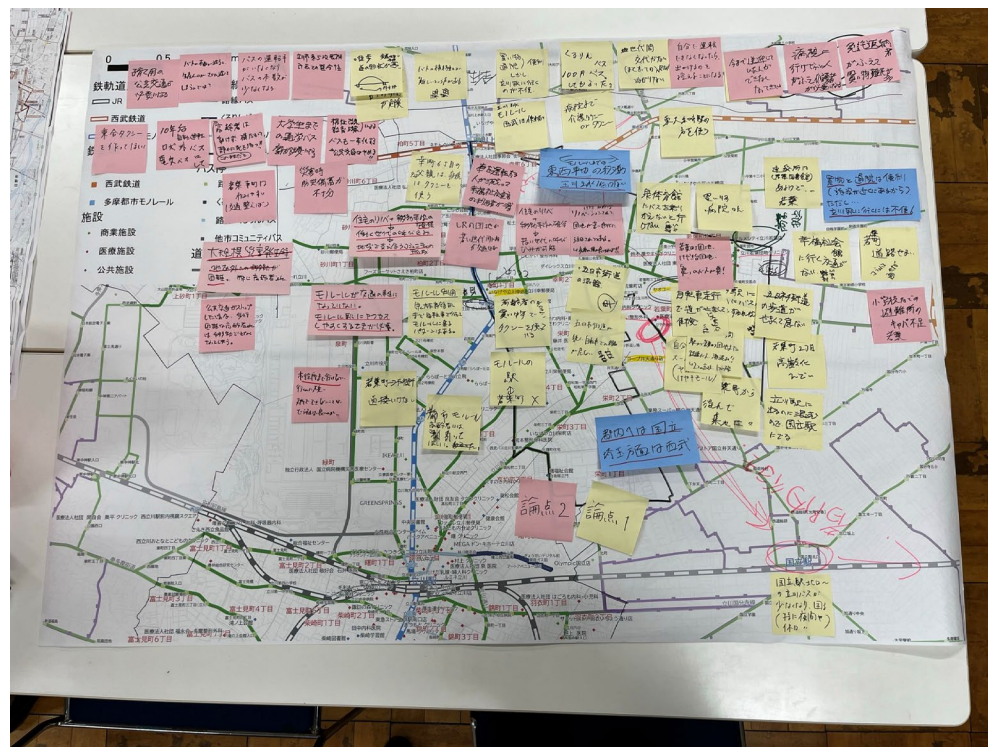
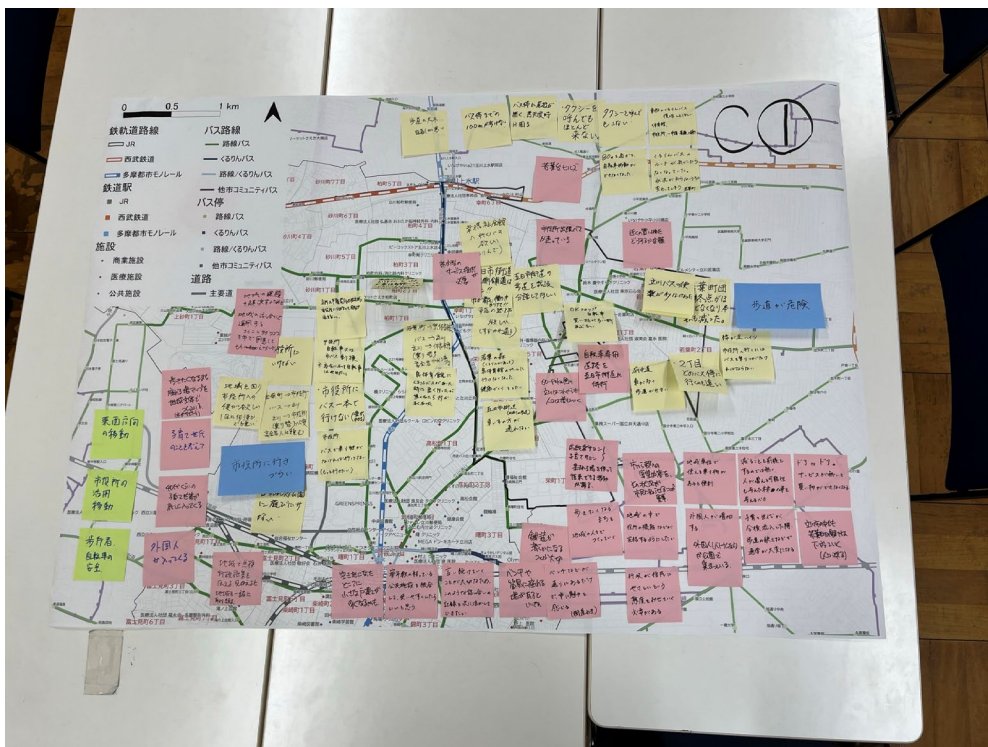
(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第1回 B地域



(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第1回 C地域



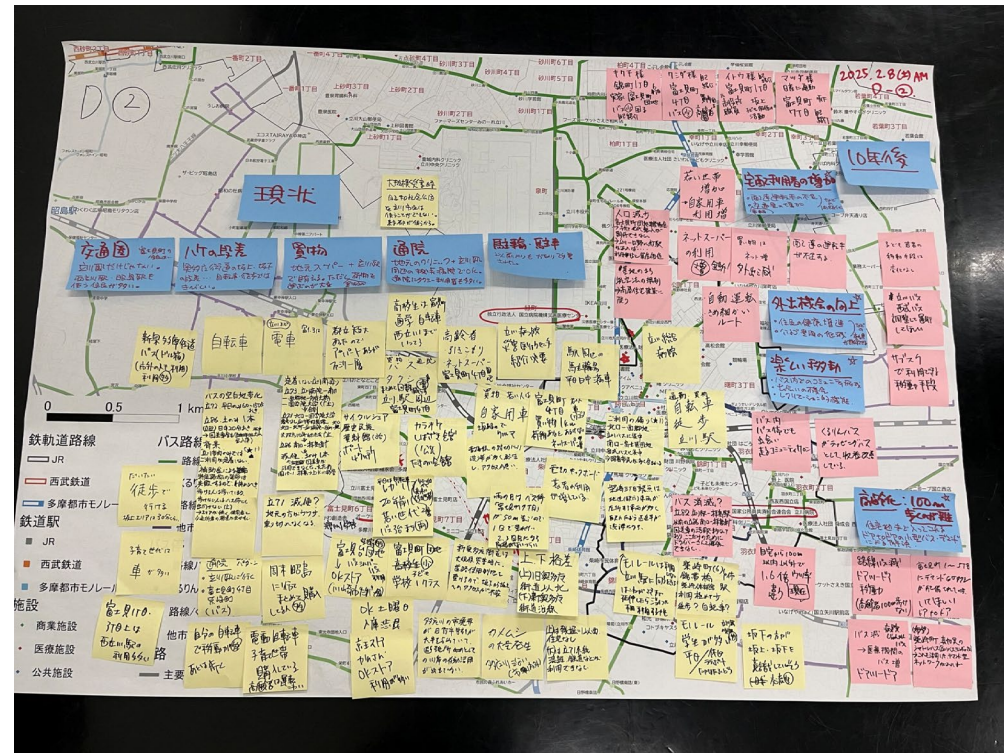
(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第1回 C地域



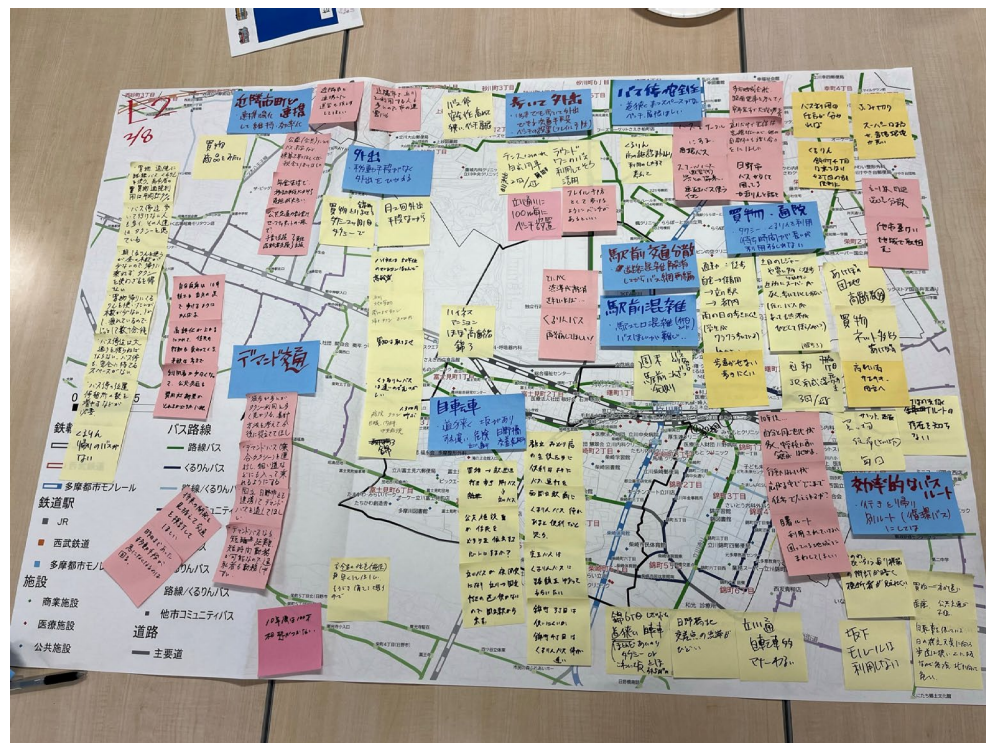
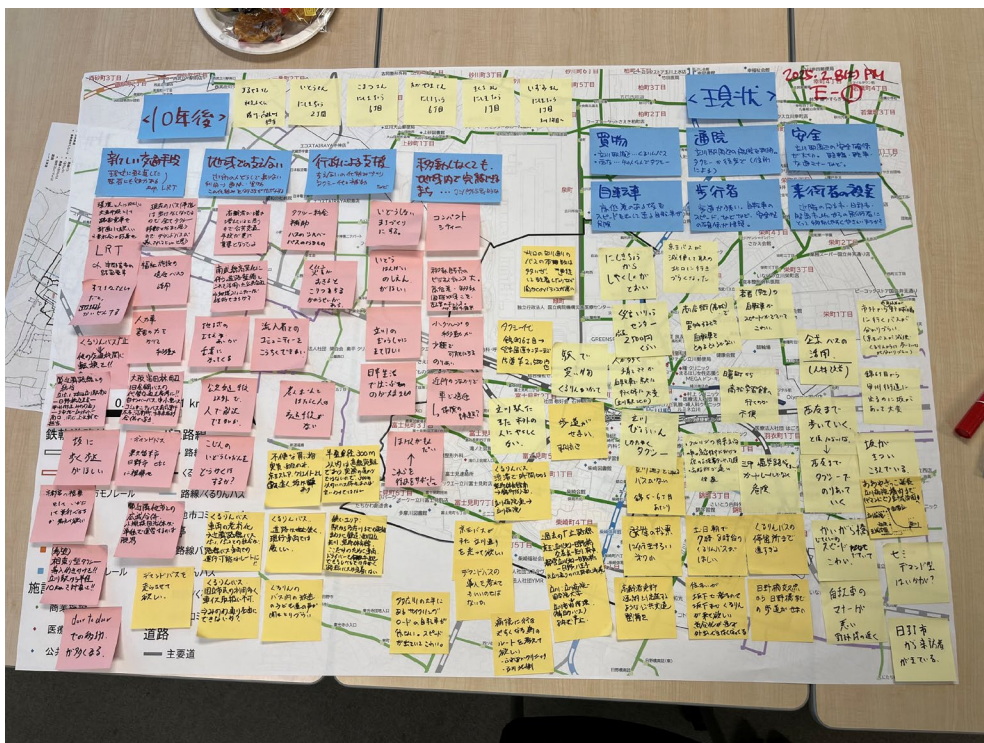
(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第1回 D地域



(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第1回 E地域



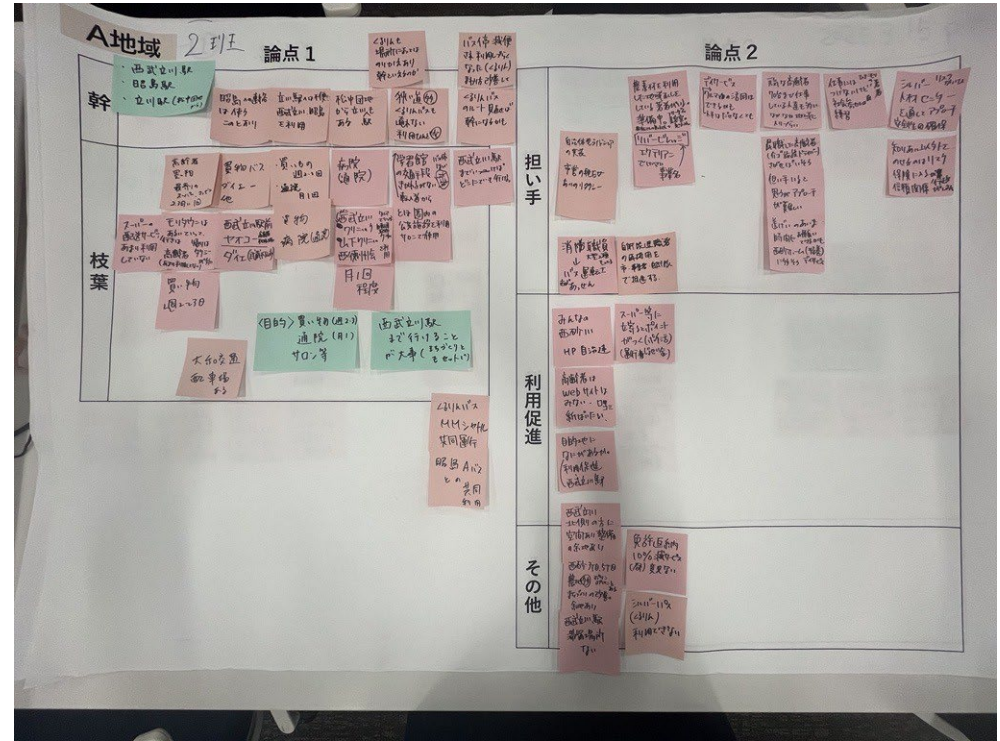
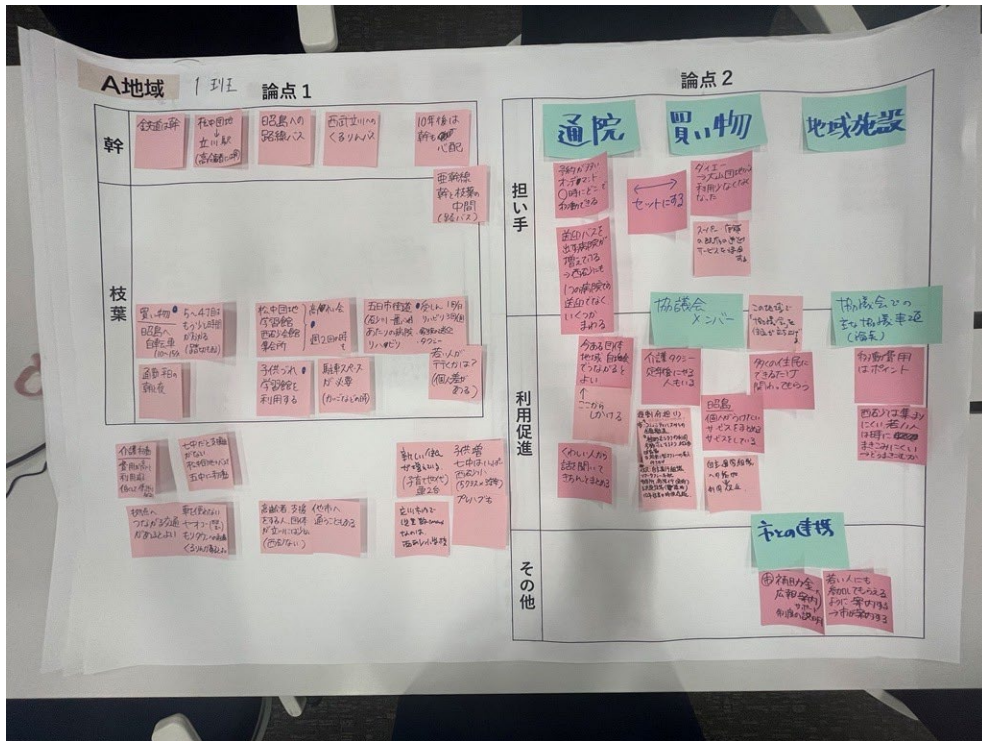
(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第1回 E地域



(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第2回 A地域



(3) ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第2回 B地域

B地域 論点1

幹

校葉

論点2

病院

買い物

公共施設

市民団体

広報

促進

利用促進

行政連携

補償・保険

セーフティ

行政連携

その他

Handwritten notes and diagrams on a large sheet of paper, organized into a grid with columns for '幹' (Main) and '校葉' (Branches), and rows for '論点1' (Point 1) and '論点2' (Point 2). The notes are written in various colors (pink, green, blue) and include terms like '病院' (Hospital), '買い物' (Shopping), '公共施設' (Public facilities), '市民団体' (Citizens' groups), '広報' (Public relations), '促進' (Promotion), '利用促進' (Utilization promotion), '行政連携' (Administrative cooperation), '補償・保険' (Compensation/Insurance), 'セーフティ' (Safety), and '行政連携' (Administrative cooperation). There are also some diagrams and arrows connecting different points.

B地域 論点1

幹

校葉

論点2

2025. 3.23 (日)

7年B地区 OOPP

高齢者・障害者への対応

子育て・高齢者への対応

行政連携

補償・保険

セーフティ

行政連携

その他

Handwritten notes and diagrams on a large sheet of paper, organized into a grid with columns for '幹' (Main) and '校葉' (Branches), and rows for '論点1' (Point 1) and '論点2' (Point 2). The notes are written in various colors (yellow, green, blue) and include terms like '7年B地区 OOPP', '高齢者・障害者への対応' (Response to elderly/disabled), '子育て・高齢者への対応' (Response to childcare/elderly), '行政連携' (Administrative cooperation), '補償・保険' (Compensation/Insurance), 'セーフティ' (Safety), and '行政連携' (Administrative cooperation). There are also some diagrams and arrows connecting different points.

(3) ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第2回 C地域

C地域 論点1

幹
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

枝葉
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

論点2

担い手
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

利用促進
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

その他
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

C地域 論点1

幹
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

枝葉
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

論点2

担い手
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

利用促進
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

その他
 ① 立川駅
 ② 国立駅
 ③ 通勤
 ④ 病院
 ⑤ 立川駅
 ⑥ 通勤
 ⑦ 病院
 ⑧ 立川駅
 ⑨ 通勤
 ⑩ 病院

(3)ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第2回 C地域

C地域

論点1

論点2

幹

枝葉

担い手

利用促進

その他

The workshop map for 'C地域' is divided into two main points, '論点1' and '論点2'. '論点1' is further divided into '幹' (Trunk) and '枝葉' (Branches). '論点2' is divided into '担い手' (Stakeholders), '利用促進' (Utilization Promotion), and 'その他' (Others). The map is populated with numerous sticky notes containing handwritten notes and diagrams. A detailed street map of the area is shown at the bottom left of the grid.

論点1 幹

- 行政関係
- 民間企業
- 市民団体
- 大学・研究機関
- 地域自治体
- NPO・NGO
- 企業・商店街
- 学校・保育園
- 医療機関
- 福祉施設
- 文化施設
- スポーツ施設
- 観光施設
- 交通機関
- 金融機関
- 不動産会社
- 建設会社
- 環境団体
- 労働組合
- 宗教団体
- ボランティア
- 市民

論点2 担い手

- 行政関係
- 民間企業
- 市民団体
- 大学・研究機関
- 地域自治体
- NPO・NGO
- 企業・商店街
- 学校・保育園
- 医療機関
- 福祉施設
- 文化施設
- スポーツ施設
- 観光施設
- 交通機関
- 金融機関
- 不動産会社
- 建設会社
- 環境団体
- 労働組合
- 宗教団体
- ボランティア
- 市民

論点2 利用促進

- 行政関係
- 民間企業
- 市民団体
- 大学・研究機関
- 地域自治体
- NPO・NGO
- 企業・商店街
- 学校・保育園
- 医療機関
- 福祉施設
- 文化施設
- スポーツ施設
- 観光施設
- 交通機関
- 金融機関
- 不動産会社
- 建設会社
- 環境団体
- 労働組合
- 宗教団体
- ボランティア
- 市民

その他

- 行政関係
- 民間企業
- 市民団体
- 大学・研究機関
- 地域自治体
- NPO・NGO
- 企業・商店街
- 学校・保育園
- 医療機関
- 福祉施設
- 文化施設
- スポーツ施設
- 観光施設
- 交通機関
- 金融機関
- 不動産会社
- 建設会社
- 環境団体
- 労働組合
- 宗教団体
- ボランティア
- 市民

(3) ワークショップ いただいたご意見

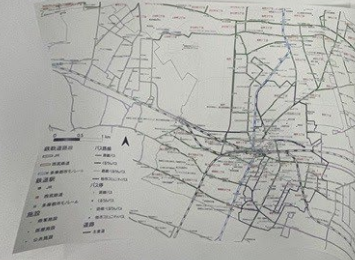
■ワークショップ 第2回 E地域

E地域 ① 論点1 2025.3.15 PM

幹	<p>病院^① 買物^② 施設^③ 若者^④</p>	論点2
枝葉	<p>担い手</p> <p>利用促進</p> <p>その他</p>	<p>住居あり抱えてとくにフイアビ止</p> <p>住居あり抱えてとくにフイアビ止</p> <p>住居自主的な相談(何卒)</p>

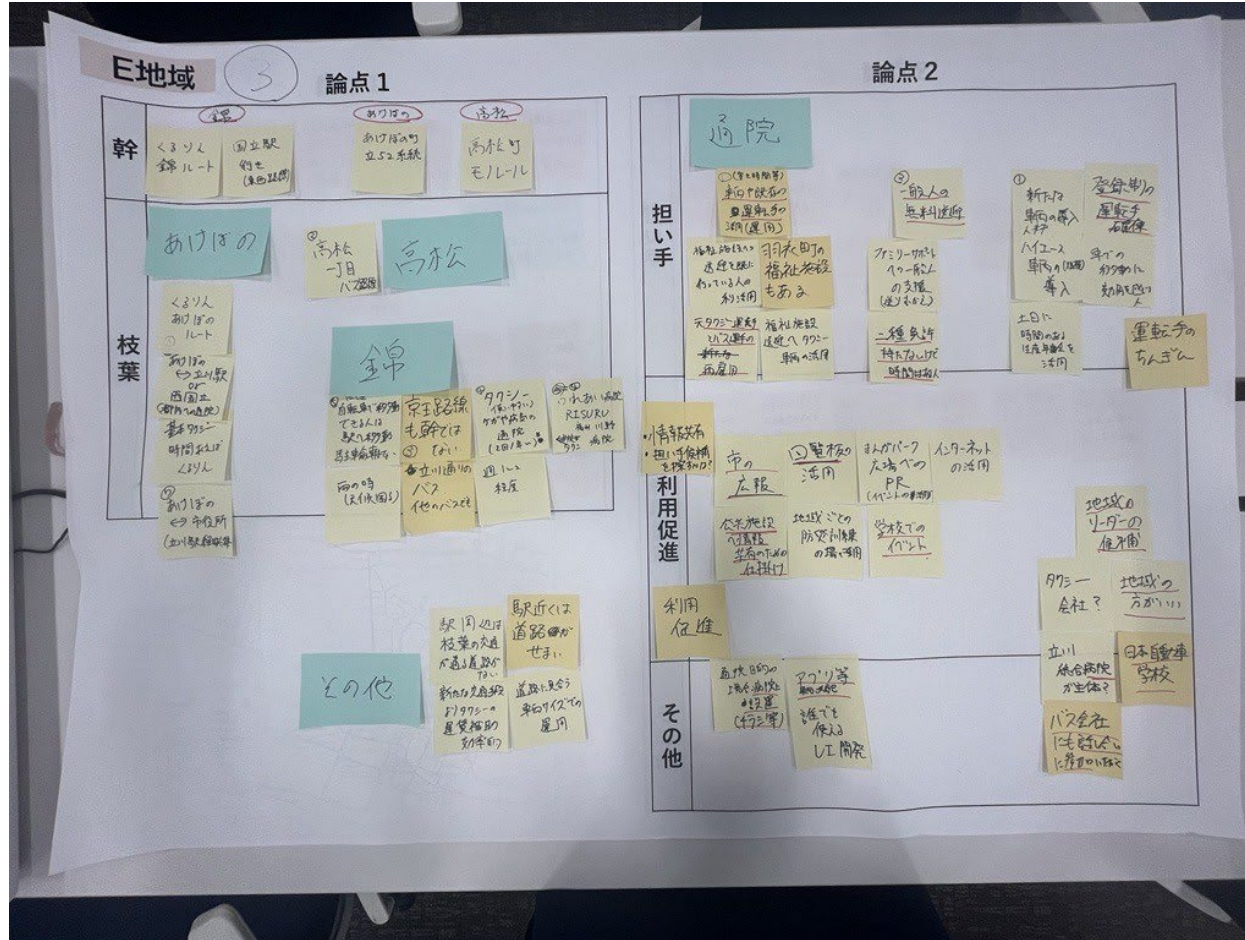
E地域 2班 論点1 論点2

幹	<p>南口駅前</p> <p>通院 買物</p> <p>通院 買物</p> <p>通院 買物</p> <p>通院 買物</p>	論点2
枝葉	<p>担い手</p> <p>利用促進</p> <p>その他</p>	<p>自活型 居住型</p> <p>運転手も NPO法人で作り</p> <p>福祉施設 のバスの活用</p> <p>福祉施設 が通院に 対応する 対応バス</p> <p>タクシー</p> <p>地域通学の活用</p> <p>安全確保 取り組む</p> <p>自活型 居住型</p> <p>自活型 居住型</p> <p>自活型 居住型</p> <p>自活型 居住型</p> <p>自活型 居住型</p>



(3) ワークショップ いただいたご意見

■ワークショップ 第2回 E地域



(4)バス利用者アンケート (①実施概要・調査票)

■ バス利用者アンケート調査の概要と調査票

- 以下の概要の調査を実施

調査名	
立川市 バス利用者に関するアンケート調査	
調査目的	・高齢者の路線バス利用実態の把握
調査対象者	・シルバーパス利用者を主としたバス利用高齢者
サンプル数	・336票(内、高齢者309票)
調査方法	・配布形式/web調査
調査場所	・高齢者のつどい ・LoGoフォーム ・バス窓口(シルバーパス更新所)
調査期間	・10/10~11(高齢者のつどい) ・11/1~11/22(LoGoフォーム、バス窓口)
調査項目	・ご年齢、お住まい ・東京都シルバーパスの利用有無 ・市内の路線バス利用頻度 ・普段利用する乗降車バス停名 ・路線バスを利用したもっともよく出かける目的 ・路線バス利用でのお困りごと、地域公共交通へのご意見

※本調査の目的は、高齢者の路線バス利用実態の把握であるため、高齢者を対象に以降分析を実施

立川市 路線バス利用に関するアンケート調査

市は、現在「立川市地域公共交通計画」の策定を進めており、市民の皆さまの路線バス（くるりんバス以外）の利用実態をお聞きするためアンケート調査を行っております。ぜひご協力をお願いします。

●本調査でお答えいただいた内容は全て統計的に処理するため、**個人が特定されることはありません。**

●回答項目は、本調査の目的以外に使用することはありません。

1 あなたご自身について教えてください。

ご年齢	1. 64歳以下 5. 80歳代	2. 65-69歳 6. 90歳以上	3. 70-74歳	4. 75-79歳
-----	---------------------	-----------------------	-----------	-----------

お住まい

①住所（1つに○）

1. 富士見町 2. 柴崎町 3. 錦町 4. 羽衣町 5. 曙町
 6. 高松町 7. 緑町 8. 泉町 9. 栄町 10. 若葉町
 11. 幸町 12. 柏町 13. 砂川町 14. 上砂町 15. 一番町
 16. 西砂町

②丁 () 丁目
 ③番・番地 () 番・番地

2 東京都シルバーパスの利用について教えてください。（1つに○）

1. 利用している 2. 利用していない

3 市内を走っている路線バス（くるりんバス以外）をどのくらいの頻度で利用しますか。（最もあてはまる1つに○）

1. 週に4日以上 2. 週に2~3日 3. 週に1日程度 4. 月に2~3日
 5. 月に1日程度 6. 年に数回程度 7. 利用しない

4 普段、自宅から出かけるときに最初に利用する乗車バス停・降車バス停を教えてください。

①自宅から出かけるときに最初に利用する乗車バス停（カッコ内に直接記入）

()バス停 ・ バスは利用しない

②目的地として最も利用する降車バス停（カッコ内に直接記入）

()バス停 ・ バスは利用しない

5 路線バスを利用する際の【最もよく出かける目的】を教えてください。（1つに○）

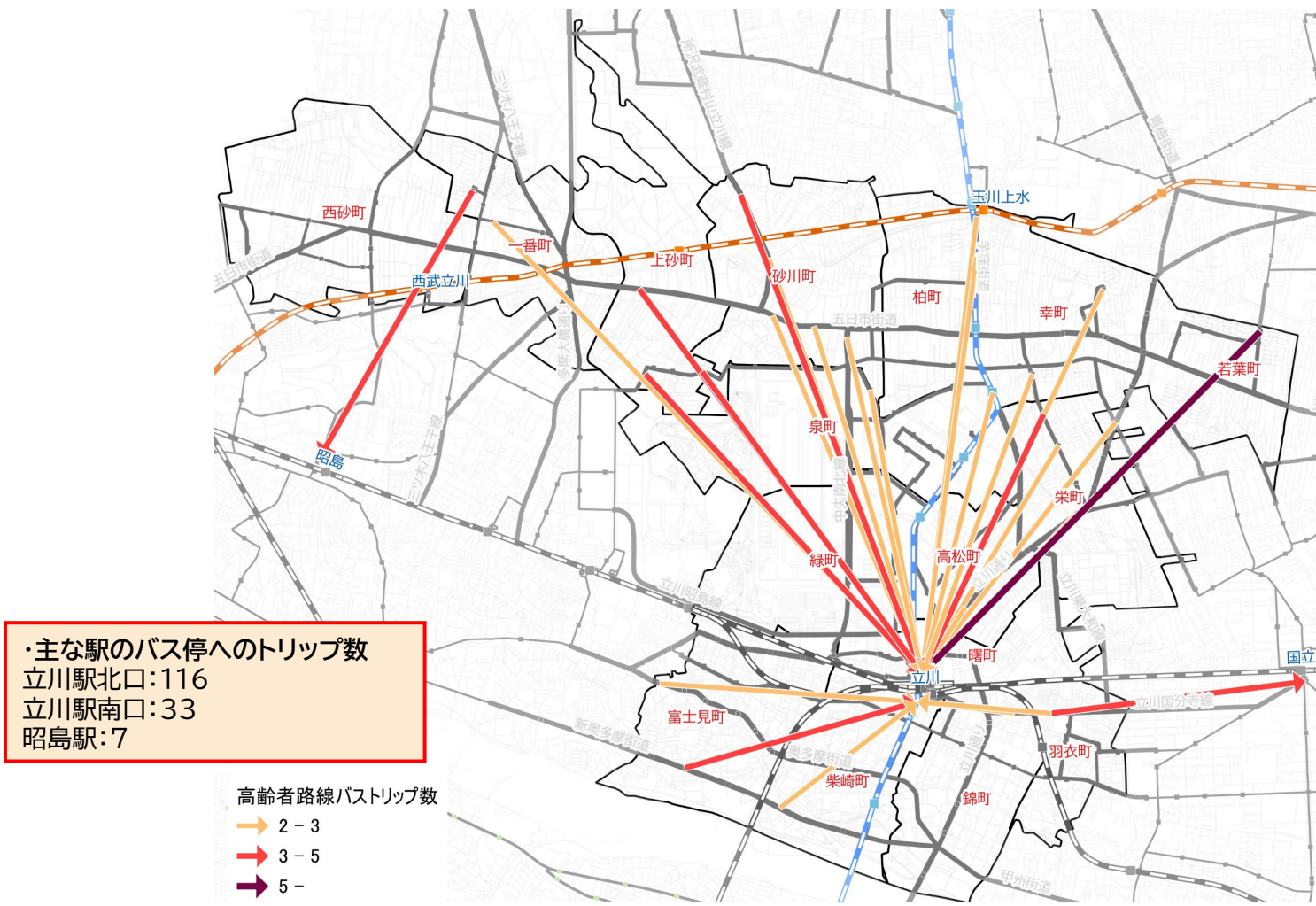
1. 買物（日常生活品） 2. 通院 3. 介助・付添い 4. 趣味・習い事
 5. レジャー・娯楽、ショッピング（大型店） 6. 運動
 7. その他 ()

6 その他、路線バスを利用する際のお困りごとや地域公共交通へのご意見があれば教えてください。

(4)バス利用者アンケート (②主な調査結果)

■ 主な調査結果①(路線バスOD)

- 高齢者が路線バス利用時、自宅から出かけるとき「最初に乗車するバス停」と目的地として最も利用する「降車バス停」のアンケート結果から、路線バストリップ数として集計。



※矢印の発地と着地は具体的バス停位置を指している、2サンプル未満OD非表示

出典:路線バス利用者に関するアンケート調査、国土地理院地図を加工して作成

(4)バス利用者アンケート (②主な調査結果)

■ バス利用者アンケート(自由記述まとめ)

- 以下のような意見がみられた。

分類	主な意見	回答数
定時性	・時間通りにバスが到着せず、立川駅から予定の電車に乗換不可の場合あり ・休日なららぽーと周辺の渋滞がひどく、時間通りにバスが到着しない	7
停留所位置 /運行経路	・自宅からバス停が遠い ・武蔵砂川駅にバス停がない ・立川～日野間などの過去に廃線となった路線を復旧してほしい	14
運行本数	・バスの運行本数が少ない(1本/時間) ・買物、通院目的での移動において、運行本数が少なくバスが利用できない ・減便を食い止めてほしい	26
乗換利便性	・待ち時間が長く乗換利便性が低い	2
運行時間 帯/日	・日中の時間帯の運行本数が少ない(買物目的利用) ・土日の運行本数が少ない	7
車体/バス 停環境	・車内の車いすスペースやノンステップの導入などバリアフリー環境の整備 ・雨風をしのげる設備や腰掛ける椅子の整備	10
コスト	・西武バスと立川バスの料金差の是正 ・運賃が高い	4
情報提供	・若葉町団地停留所における行き先案内が乏しい	1
車内混雑	・座りたいが座れない	2
安全性	・急ブレーキによる停止が不安	1
その他	・少人数車の導入を検討してほしい ・道路幅員を広く整備すべき ・停留所で待っていたが、停車することなく通過される場合がある ・地域の足として大変助かっています、ありがとうございます	16

(5)立川市来街者意向調査（既存調査結果のレビュー）

令和5年に実施された「立川市来街者意向調査」を活用し、立川市外から立川駅周辺に来訪する人の移動の特徴や立川に求めるものについて整理。

■令和5年「立川市来街者意向調査」の概要

- 立川市第5次長期総合計画の策定にあたって実施されたアンケート調査
- 本業務で実施した市民アンケートやバス利用者アンケートでは把握できない、市外からの来街者の主な移動実態や意向についてレビューする。

調査地点	JR立川駅周辺 北口・南口のペDESTリアンデッキ
調査実施日	令和5年3月14日(火)、15日(水)、16日(木)、18日(土)、19日(日)、21日(火・祝)、 令和5年5月19日(金)、20日(土) の計8日間(平日4日、休日4日)
調査対象者	立川への来街者のうち、概ね中高生以上の男女を対象
調査方法	街頭インタビュー形式によるアンケート
回収数	775
調査項目	①あなた御自身について 居住地、性別、未既婚、年代、職業、同行者数、同行者との関係 ②来街状況について 交通手段、所要時間、来街目的、滞在時間、支出金額、来街頻度 ③立川に対する評価について イメージ、ブランドメッセージの認知度、印象、まちのおすすめ度、情報収集手段、 居住希望、良いところ、良くないところ、求めるもの ※赤字部分を次頁以降で整理

(5)立川市来街者意向調査（既存調査結果のレビュー）

■令和5年「立川市来街者意向調査」の主な結果

- 来街者の特徴を以下のように整理。

調査項目	主な結果
居住地	<ul style="list-style-type: none">居住地は多摩地区が最も多く7割以上を占める
年代	<ul style="list-style-type: none">10歳代が24%程度と最も多く、次いで20歳代・30歳代・40歳代が15%弱で同程度である
来街交通手段	<ul style="list-style-type: none">全体の約85%が鉄道・モノレールで来訪している <p>【居住地別】</p> <ul style="list-style-type: none">多摩地区以外は中央線が5割以上となっている。多摩地区でも最も多いのは中央線で、路線バス、青梅線・五日市線、多摩都市モノレールと続く。 <p>【年代別】</p> <ul style="list-style-type: none">70歳代及び80歳以上では、路線バスの割合が他の年代に比べ多く1割を超えている。
来街目的	<ul style="list-style-type: none">来街目的としては「買い物」と「友人・知人と会う」が多く、いずれも30%強となっている。

(5)立川市来街者意向調査（既存調査結果のレビュー）

■令和5年「立川市来街者意向調査」の主な結果

・ 立川に求めるもの

表 立川に求めるもの

項目名	集計値	構成比(%)
交通面での整備や拡充	22	6.4%
治安、安全対策	16	4.6%
設備の整備や拡充	16	4.6%
環境整備	15	4.3%
案内表示	8	2.3%
今のままでよい、十分	18	5.2%
その他	111	32.1%
わからない	14	4.0%
特になし	126	36.4%
全体	346	100.0%

・ 立川の良いところ・良くないところ

表 立川の良いところ

項目名	集計値	構成比(%)
お店、商業施設、買物	173	30.8%
交通アクセス	77	13.7%
自然、緑、公園	42	7.5%
イメージの良さ	29	5.2%
景観	27	4.8%
娯楽、遊び	27	4.8%
公共施設	16	2.9%
その他	129	23.0%
わからない	12	2.1%
特になし	29	5.2%
全体	561	100.0%

表 立川の良くないところ

項目名	集計値	構成比(%)
治安、雰囲気悪さ	104	25.6%
混雑	39	9.6%
景観	16	3.9%
アクセスの悪さ	13	3.2%
設備面	10	2.5%
案内不足	9	2.2%
車での来街の不便さ	8	2.0%
その他	61	15.0%
わからない	21	5.2%
特になし	126	31.0%
全体	407	100.0%

(6)ヒアリング調査 (①実施概要)

■ヒアリング概要

- 交通事業者及び福祉関係者に対して、調査票を事前送付の上、ヒアリングを実施した。

● 交通事業者等

■主なヒアリング項目

- サービスの利用状況
- 利用者からの要望
- サービス運営上の課題
- 新技術の導入
- 他の交通手段や行政との連携 等

■活用方針

- 現状のサービス利用状況を移動像、運営上の課題等今後の見通しを将来予測の整理に活用
- 今後の施策検討に活用

● 福祉関係者

■主なヒアリング項目

- 相談者やサービス利用者の移動の特徴・移動に関するお困りごとなど(高齢者・子育て世帯・障害者)

■活用方針

- 移動実態について生活像の整理に活用
- 今後の施策検討に活用(地域との連携等)

対象	ヒアリング先	実施日
バス事業者	立川バス	1月7日(金)
	西武バス	12月19日(木)
	京王バス	
タクシー事業者	日本交通立川株式会社	12月26日(木)
	大和自動車交通立川株式会社	
	立川観光自動車株式会社	1月8日(水)
	新立川交通株式会社	
シェアリング モビリティ事業者	OpenStreet株式会社	1月9日(木)
	BRJ株式会社	12月5日(木)
その他輸送資源	立川市社会福祉協議会	12月3日(火)
	立川中央病院	12月16日(月)

対象	ヒアリング先	実施日
高齢者	地域福祉コーディネーター	1月16日(木)
子育て世代	子育てひろば(子ども家庭部子育て推進課)	12月16日(月)
障害者	地域活動支援センターたあふく	12月3日(火)

(6)ヒアリング調査 (②交通事業者へのヒアリング結果)

■主なヒアリング結果

・ 交通事業者

内容	バス事業者
利用状況	・ 利用者数は、生活様式の変化や運行本数の減少などを背景に、コロナ前の8～9割程。
運営・経営上の課題	・ 深刻な運転手不足によって、利用者の多い路線においても減便せざるを得ない状況。
新技術の導入	・ 電気・水素バス等の導入および検討している一方で、費用面や設備面で課題を感じている。 ・ 自動運転は実証実験等を実施しているものの、実用化レベルではないとの認識。
他の交通手段との連携	・ 路線バスに満たない需要量の路線は、他の交通手段を検討した方が効率的。 ・ デマンド交通等新たな交通手段を導入する場合、路線バスと競合しないエリア設定が必要。
行政との連携等	・ 行政、バス事業者間で情報共有できる機会が定期的にあるとよい。

内容	タクシー事業者	シェアリングモビリティ	その他輸送資源 (立川市社会福祉協議会・立川中央病院)
利用状況	・ 朝晩の通勤、日中の高齢者の通院目的の利用が多い。 ・ 立川駅周辺では平日日中のビジネス利用が多い。	・ 通勤時間帯の利用が多い。 ・ 高齢者の利用は少ない。	(社会福祉協議会)高齢者が多く、朝の時間帯の利用が多い。 (立川中央病院)通院目的の高齢者がほとんど。
運営・経営上の課題	・ 運転手の不足や運転手の高齢化といった運転手の確保に課題を感じている事業者が多い。 ・ 立川駅北口タクシー乗り場の車椅子乗降スペースに課題。	・ 土地活用の交渉等が障壁となり、交通結節点へのポート設置が進んでいない。	・ 将来の担い手不足に懸念を感じている(立川中央病院)。 ・ 立川駅南口における停留所の確保(立川中央病院)。
行政との連携等	・ タクシー車両を利活用した新たな交通手段の検討の可能性。	・ 駅等の交通拠点へのポート設置を官民連携で進めていきたい意向。	・ デイサービス用車両の昼間時間帯の利活用については可能性がある(社会福祉協議会)。

(6)ヒアリング調査 (③福祉関係者へのヒアリング結果)

■主なヒアリング結果

・福祉関係者

内容	子育て世代(子育てひろば)	障害者(地域活動支援センターたあふく)
移動の特徴・傾向	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には、子育て世帯の移動は徒歩や自転車が多い傾向。西砂や一番町では自家用車での移動が多い傾向。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体的に自転車を利用できる人は、バスよりも自転車で利用する方が多い。 重度な身体的な障害がある人は、高齢の親が自家用車で送迎。
移動・公共交通に関する相談や困りごと	<ul style="list-style-type: none"> 安全な歩行空間が整備されていない(五日市街道など)。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの乗車方法が分からず、利用ためらう場合がある(知的・精神的な障害等)。
公共交通等の課題	<ul style="list-style-type: none"> 立川駅のペDESTリアンデッキへアクセスするエレベーターが不足しており、ベビーカーを持つ子育て世帯にとって不便。 	<ul style="list-style-type: none"> 立川駅等のバス路線を複数もつ駅において、バス路線の案内図の視認性が低い(知的・視覚的な障害等)。 福祉作業所では人手不足等から、施設への送迎の継続が困難。

内容	高齢者(地域福祉コーディネーター)					
	富士見・柴崎	錦・羽衣	高松・曙・緑	栄・若葉	幸・柏・泉・砂川	上砂・一番・西砂
移動・公共交通に関する困りごと	<ul style="list-style-type: none"> 富士見町の坂上地域はバスの本数が少なく、自転車に乗れなくなると外出が減る。 	<ul style="list-style-type: none"> 京王バス減便により、立川駅までのアクセスが困難になった高齢者も。 	<ul style="list-style-type: none"> 立川駅へのアクセスが良く、非常に利便性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 若葉町は自転車利用者が多く、自転車に乗れなくなると、移動が難しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 立川駅よりも東西方向の移動ニーズが多く、砂川町や柏町の一部には買い物に不便な地域がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 主な移動手段である自動車が使えなくなると、行動範囲が限定される。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 富士見町は坂上と坂下で生活圏が分かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 錦町の坂下エリアに交流拠点(公共施設)が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流の機会は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設(市役所等)へのアクセスが良くない(一度立川駅に出る) 	<ul style="list-style-type: none"> 砂川町から包括支援センターが遠いため、相談機関が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> GLPによる交通状況の変化(交通渋滞や安全面)。

(7)位置情報ビッグデータ

■分析データの概要

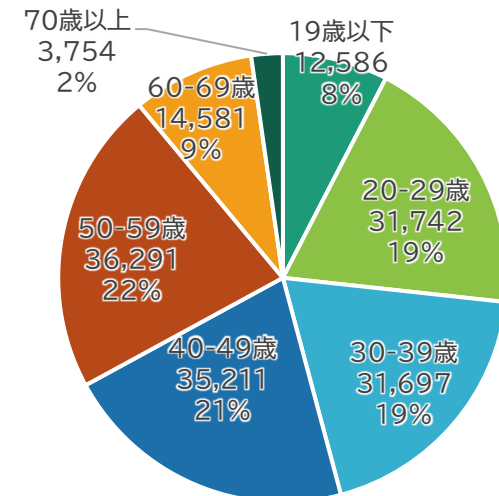
- 分析に使用したデータは以下のとおり。

データ概要	・スマートフォンの特定のアプリのユーザのGPS位置情報を取得し、秘匿化処理を行ったデータ(株式会社Agoopの流動人口データを予定)
使用するデータの期間	・令和6年6月～7月(2か月間)
エリア範囲	・立川市全域
データ抽出方法	・立川市内流入／流出／滞在したユーザーの1日のログを抽出 ※例:1日の中で立川市→昭島市→立川市という動きをしたユーザーの場合、立川市外の昭島市等の移動・滞在ログも抽出可能
属性情報	・性別 ・年代 ・推定居住地 ・推定勤務地
分析項目	・滞在場所(平休別・時間帯別・年代別等) ⇒生活像の整理に活用 ・OD(市内外の動き、市内々の動き) ⇒移動像の整理に活用

【参考】

- 立川市内の日平均ログ件数
⇒約41万ログ(市外居住者も含む)
- 立川市内居住者の日平均ユーザー数
⇒3,707(立川市の人口の約2%)
- 年代を把握できているユーザー
⇒全体の約76%
※市内居住者のユーザーの年代構成比は以下

年代を把握したユーザーの年代構成比
(市内居住者のみ、2か月合計)



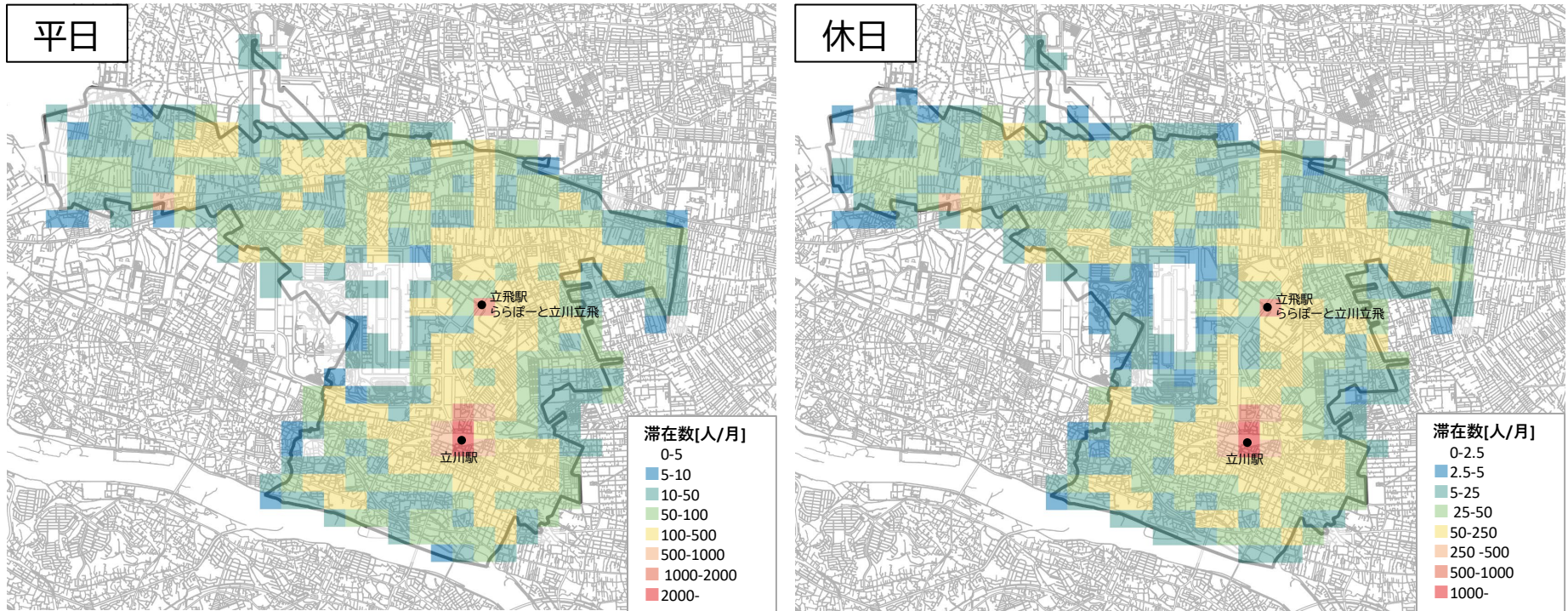
※同一地点(250mメッシュ)に15分以上滞在した人を集計したもの。ただし、居住地と推定された場所(100メッシュ単位)の位置情報は秘匿化処理により削除されており、推定居住地における滞在は含まない。

(7)位置情報ビッグデータ

■ 位置情報ビッグデータ(滞在場所)

- 同一地点(250mメッシュ)に15分以上滞在した人を集計したもの。ただし、居住地と推定された場所(100mメッシュ単位)の位置情報は秘匿化処理により削除されており、推定居住地における滞在は含まない。

市内居住者



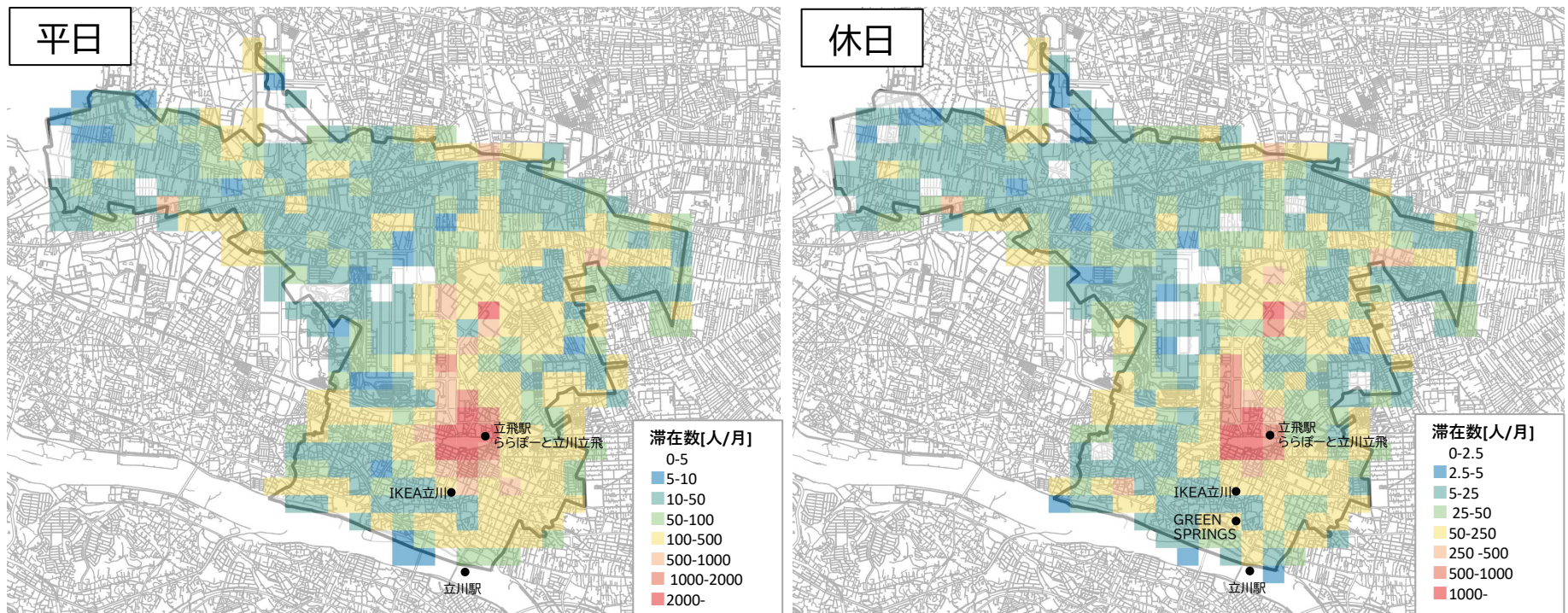
データ出典：株式会社agoop「ポイント型流動人口データ」
出典：国土地理院地図を加工して作成

(7)位置情報ビッグデータ

■ 位置情報ビッグデータ(滞在場所)

- 同一地点(250mメッシュ)に15分以上滞在した人を集計したもの。ただし、居住地と推定された場所(100mメッシュ単位)の位置情報は秘匿化処理により削除されており、推定地における滞在は含まない。

市外居住者



データ出典:株式会社agoop「ポイント型流動人口データ」
出典:国土地理院地図を加工して作成